

令和 6 年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書【時系列比較】

令和 7 (2025) 年 3 月

神奈川県立スポーツセンター

令和 6 年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書【時系列比較】

令和 7 (2025) 年 3 月

神奈川県立スポーツセンター

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	2
2	調査実施概要	2
(1)	調査地域	2
(2)	調査対象	2
(3)	調査方法	2
(4)	標本数	2
(5)	調査期間	3
(6)	調査委託機関	3
3	回答者の属性	4
(1)	居住地区別	4
(2)	性別	5
(3)	年代別	6
II	調査結果の詳細	7
1	健康・体力観	8
(1)	自身の健康観	8
(2)	自身の体力観	9
(3)	肉体的な疲労	10
(4)	精神的な疲労・ストレス	11
(5)	体力の衰え	12
(6)	運動不足	13
(7)	自身の肥満度	14
(8)	健康や体力の維持増進への注意	15
(9)	健康・体力維持への留意点	16
2	運動・スポーツの実施状況及び今後の意向	18
(1)	1年間に行った運動・スポーツ種目	18
	ア 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として 行っているスポーツ	18
	イ 野外活動として行っているスポーツ	21
	ウ 競技として行っているスポーツ	24
(2)	1年間に行った運動・スポーツの日数	27
(3)	運動・スポーツを行った理由	29
(4)	運動・スポーツを行った効果	30
(5)	運動・スポーツを行わなかった理由	31
(6)	運動・スポーツ活動の満足度	33
(7)	今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツ	34
	ア 気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として 行いたいスポーツ	34
	イ 野外活動として行いたいスポーツ	37
	ウ 競技として行いたいスポーツ	40

3	スポーツ施設	43
(1)	公立スポーツ施設設置状況	43
(2)	公立スポーツ施設への要望	44
(3)	学校の体育施設利用状況	46
(4)	学校の体育施設を利用しなかった理由	47
(5)	今後設置を希望するスポーツ施設	49
4	県・市町村のスポーツ施策	51
(1)	「総合型地域スポーツクラブ」の認知	51
(2)	「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況	52
(3)	「3033（サンマルサンサン）運動」の認知	53
(4)	「3033（サンマルサンサン）運動」の実践	54
(5)	「県民スポーツ月間」の認知	55
(6)	運動・スポーツ行事・教室について	56
	ア 県・市町村主催のスポーツ行事参加状況	56
	イ 県・市町村主催のスポーツ教室参加状況	57
	ウ 県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向	58
(7)	神奈川県スポーツ推進にかかる取組について	59
	ア「神奈川県スポーツ推進条例」の認知	59
	イ「神奈川県スポーツ推進計画」の認知	60
	ウ「かながわパラスポーツ」の認知	60
5	スポーツ全般についての意見	61
(1)	運動・スポーツ関連情報ニーズ	61
(2)	運動やスポーツのクラブ・同好会・サークルなどについて	63
	ア クラブなどへの加入状況	63
	イ 加入しているクラブなどの種類	64
	ウ クラブなどが行っているスポーツ（種目）	66
	エ クラブなどへの加入動機及び目的	67
	オ 現非加入者の今後の加入意向	69
	カ 加入したいクラブなど	70
(3)	スポーツ観戦について	71
	ア スポーツ観戦への関心	71
	イ スポーツ観戦経験	72
	ウ 会場で直接観戦をしたいスポーツの規模	73
	エ 会場で直接観戦をしたいスポーツの競技	75
	オ テレビやインターネットなどでのスポーツ観戦経験	77
	カ テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模	77
	キ テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技	78
(4)	スポーツに関するボランティア活動について	80
	ア スポーツに関するボランティア活動への関心	80
	イ スポーツに関するボランティア活動経験	80
	ウ スポーツに関するボランティア活動の内容	81
	エ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向	82

(5) 地域のスポーツ振興について	83
ア 地域のスポーツ振興に期待する効果	83
イ 県の実施への要望	85
6 スポーツがもたらす価値	87

注)「しょうがい」という言葉には、「障がい」「障碍」など様々な表記があります。
本調査では、法令等における表記である「障害」を使用しています。

I 調査の概要

1 調査目的

県民の体力・スポーツの意識や実態の推移及び、スポーツに対する県民の意識等を把握するとともに、県のスポーツ推進計画の改定の参考資料及び今後の県のスポーツ施策の基礎資料とする。

2 調査実施概要

(1) 調査地域

神奈川県全域

(2) 調査対象

令和6(2024)年度調査：令和5年4月1日現在で満18歳以上の男女個人
令和4(2022)年度調査：令和3年4月1日現在で満20歳以上の男女個人
平成27(2015)年度調査：平成27年4月1日現在で満20歳以上の男女個人
平成22(2010)年度調査：平成22年4月1日現在で満20歳以上の男女個人
平成18(2006)年度調査：平成18年4月1日現在で満20歳以上の男女個人
平成13(2001)年度調査：平成13年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

(3) 調査方法

「楽天インサイト」パネル登録モニター（約220万人）を対象としたWEBアンケート調査
※ 平成27年度までは、アンケート調査票を用いた往復郵送調査法

(4) 標本数

回収標本数3,000サンプル（人口構成比に応じて、各市町村の男女及び年齢毎にサンプル数を設定）

調査年度	設定標本数	有効回収 標本数	有効回収率	調査方法
令和6(2023)年度調査	3,000	3,000	100.0 %	WEB
令和4(2022)年度調査	3,000	3,000	100.0 %	
平成27(2015)年度調査	3,000	1,268	42.3 %	質問紙
平成22(2010)年度調査	3,000	1,359	45.3 %	
平成18(2006)年度調査	3,000	1,185	39.5 %	
平成13(2001)年度調査	3,000	1,209	40.3 %	

※ 令和6年度から18歳以上を調査対象とした

(5) 調査期間

	調査期間
令和6(2024)年度調査	令和6年5月20日（月）～ 6月20日（木）
令和4(2022)年度調査	令和4年6月3日（金）～ 6月17日（金）
平成27(2015)年度調査	平成27年8月14日（金）～ 9月14日（月）
平成22(2010)年度調査	平成22年7月16日（金）～ 8月10日（火）
平成18(2006)年度調査	平成18年7月6日（木）～ 8月1日（火）
平成13(2001)年度調査	平成13年8月27日（月）～ 9月28日（金）

(6) 調査委託機関

令和6（2024）年度調査：株式会社サーベイリサーチセンター

令和4（2022）年度調査：株式会社サーベイリサーチセンター

平成27（2015）年度調査：株式会社日本能率協会総合研究所

平成22（2010）年度調査：株式会社R J Cリサーチ

平成18（2006）年度調査：株式会社R J Cリサーチ

平成13（2001）年度調査：株式会社流通情報センター

本報告書は、アンケート調査票のうち、「問2（1）」から「問17」についての結果を過去の調査結果とともに図表化のうえ、特徴点を記述したものである。

1 これまでの調査年度

- (1) 令和6（2024）年度
- (2) 令和4（2022）年度
- (3) 平成27（2015）年度
- (4) 平成22（2010）年度
- (5) 平成18（2006）年度
- (6) 平成13（2001）年度

2 集計（図表の数値）は、小数点第2位を四捨五入しており、単一回答結果の、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

3 図表の「全体（3,000）」などは、該当する回答者数を表す。同様に小数点付き数値は該当選択肢への回答率を表す。

※ 選択肢の増減などの修正により、過去の結果と単純に比較できない質問項目もある。

※ これまでの調査結果との比較（単年度間の比較）において±3ポイント以内の場合は、“同様”または“大きな差はない”と記述した。

3 回答者の属性

数値の単位：実数＝回答人数、％＝項目ごとの比率

(1) 居住地区別

令和6年度調査	横浜地区	川崎地区	※相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	
実数	3,000	1,073	439	214	223	407	197	276	171
%	100.0	35.8	14.6	7.1	7.4	13.6	6.6	9.2	5.7

令和4年度調査	横浜地区	川崎地区	※相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	
実数	3,000	1,099	442	210	224	400	184	272	169
%	100.0	36.6	14.7	7.0	7.5	13.3	6.1	9.1	5.6

平成27年度調査	横浜地区	川崎地区	※相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	無回答	
実数	1,268	471	153	82	121	157	87	113	84	0
%	100.0	37.1	12.1	6.5	9.5	12.4	6.9	8.9	6.6	0.0

平成22年度調査	横浜地区	川崎地区	※相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	無回答	
実数	1,359	490	149	108	109	193	86	115	103	6
%	100.0	36.1	11.0	7.9	8.0	14.2	6.3	8.5	7.6	0.4

平成18年度調査	横浜地区	川崎地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	※ 県北地区	その他	無回答
実数	1,185	425	141	79	141	83	109	85	1	11
%	100.0	35.9	11.9	6.7	11.9	7.0	9.2	7.2	0.1	0.9

平成13年度調査	横浜地区	川崎地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	津久井地区	無回答
実数	1,209	412	127	96	136	82	159	98	83
%	100.0	34.1	10.5	7.9	11.2	6.8	13.2	8.1	1.3

※ 平成22年度の相模原地区：相模原市（平成18年度は県北地区）

※ 平成18年度の県北地区：相模原市（平成13年度は県央地区）城山町、津久井町、相模湖町、藤野町（平成13年度は津久井地区）

(2) 性別

令和6年度調査	男性	女性
実数 3,000	1,500	1,500
% 100.0	50.0	50.0

令和4年度調査	男性	女性
実数 3,000	1,500	1,500
% 100.0	50.0	50.0

平成27年度調査	男性	女性	無回答
実数 1,268	611	657	0
% 100.0	48.2	51.8	0.0

平成22年度調査	男性	女性	無回答
実数 1,359	594	762	3
% 100.0	43.7	56.1	0.2

平成18年度調査	男性	女性	無回答
実数 1,185	518	663	4
% 100.0	43.7	55.9	0.3

平成13年度調査	男性	女性	無回答
実数 1,209	552	648	9
% 100.0	45.7	53.6	0.7

※ 集計（図表の数値）は、小数点第2位を四捨五入しており、単数回答結果の数値の合計が100.0%にならない場合がある

(3) 年代別

令和6年度調査	18～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
実数 3,000	62	389	401	521	557	384	686
% 100.0	2.1	13.0	13.4	17.4	18.6	12.8	22.9

令和4年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
実数 3,000	387	422	564	534	401	692
% 100.0	12.9	14.1	18.8	17.8	13.4	23.1

平成27年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
実数 1,268	73	157	236	237	294	271	0
% 100.0	5.8	12.4	18.6	18.7	23.2	21.4	0.0

平成22年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
実数 1,359	151	257	290	280	341	35	5
% 100.0	11.1	18.9	21.3	20.6	25.1	2.6	0.4

平成18年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
実数 1,185	89	176	228	283	269	133	7
% 100.0	7.5	14.9	19.2	23.9	22.7	11.2	0.6

平成13年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
実数 1,209	119	200	250	280	229	122	9
% 100.0	9.8	16.5	20.7	23.2	18.9	10.1	0.7

※ 集計（図表の数値）は、小数点第2位を四捨五入しており、単数回答結果の数値の合計が100.0%にならない場合がある

Ⅱ 調査結果の詳細

1 健康・体力観

(1) 自身の健康観

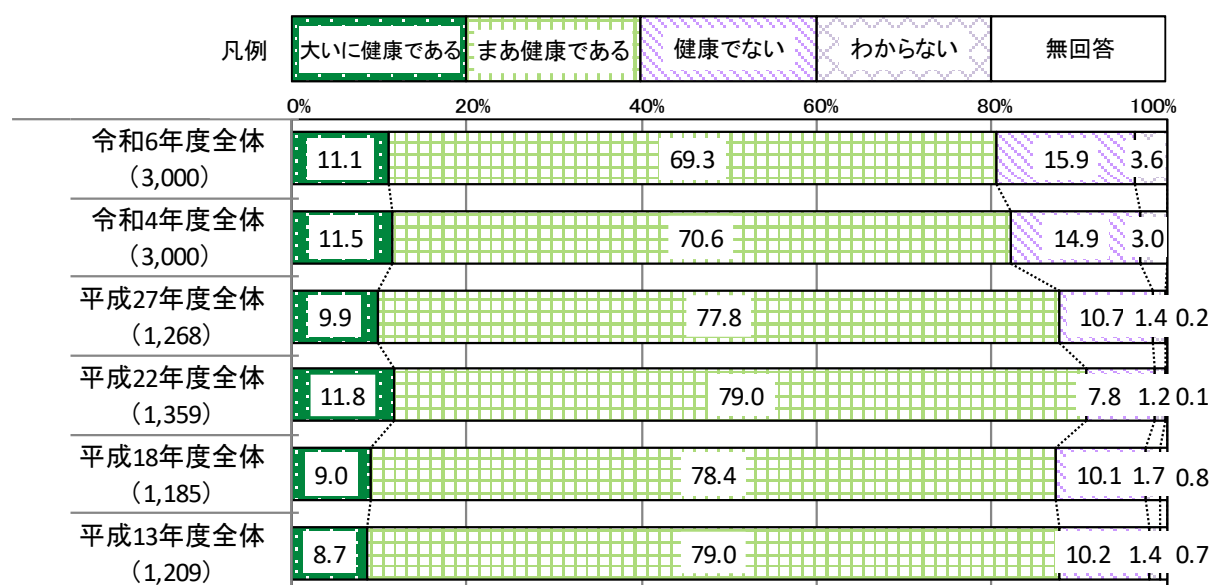
問2 (1) ご自身の健康についてどう思いますか。1つだけ選んでください。

ア 大いに健康である イ まあ健康である ウ 健康でない エ わからない

全員に、自身の健康についてたずねたところ、「まあ健康である」が69.3%、「大いに健康である」が11.1%であった。

《健康である群（「大いに健康である」＋「まあ健康である」）》は80.4%で、令和4年度の82.1%から1.7ポイント低下し、平成22年度以降低下が続いている。

【図表1－1：自身の健康観（全体比較）／単一回答】



※ 令和4年度調査から「無回答」を削除

（２）自身の体力観

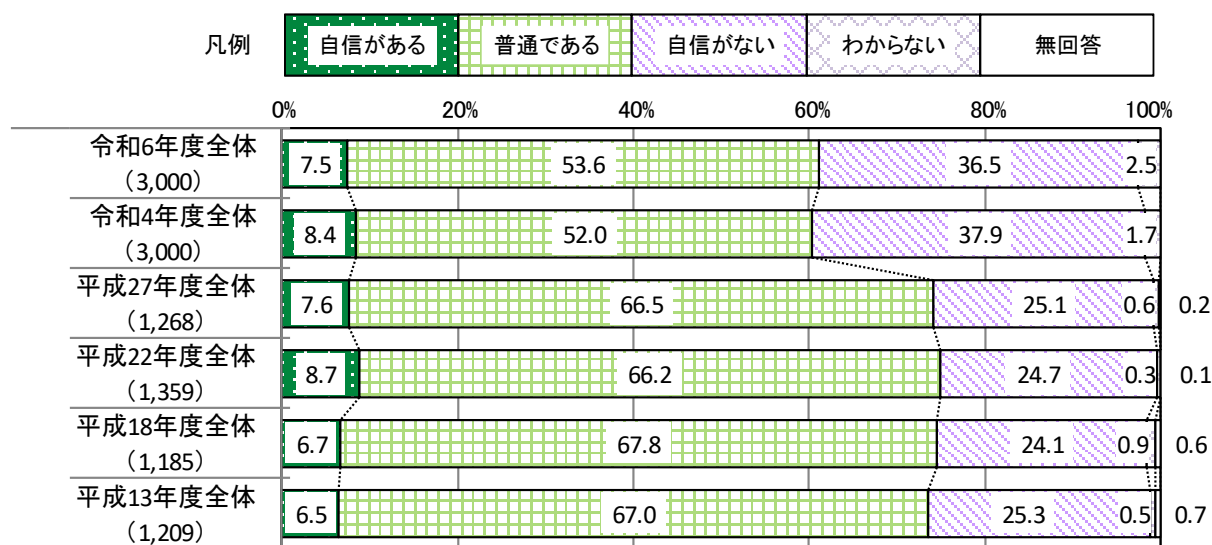
問２（２） ご自身の体力についてどう思いますか。 1つだけ選んでください。

ア 自信がある イ 普通である ウ 自信がない エ わからない

全員に、自身の体力についてたずねたところ、53.6%が「普通である」と回答した。また、「自信がある」の7.5%に対し、「自信がない」は36.5%であった。

「自信がある」は、令和４年度の8.4%と大きな差はなかった。

【図表１－２：自身の体力観（全体比較／単一回答）】



※ 令和４年度調査から「無回答」を削除

（３）肉体的な疲労

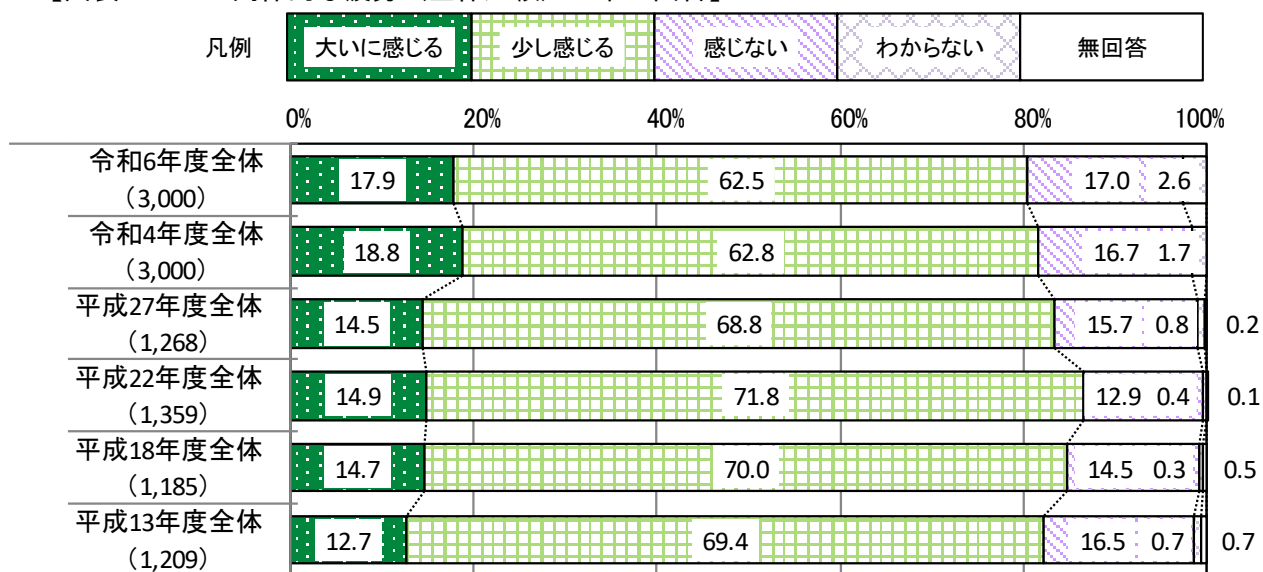
問２（３） 日頃、肉体的な疲労を感じますか。 1つだけ選んでください。

ア 大いに感じる イ 少し感じる ウ 感じない エ わからない

全員に、日頃の肉体的な疲労についてたずねたところ、「少し感じる」が62.5%、「大いに感じる」が17.9%であった。

《感じる群（「大いに感じる」＋「少し感じる」）》は80.4%で、令和４年度の81.6%と大きな差はなかったが、平成22年度以降低下が続いている。

【図表１－３：肉体的な疲労（全体比較）／単一回答】



※ 令和４年度調査から「無回答」を削除

（４）精神的な疲労・ストレス

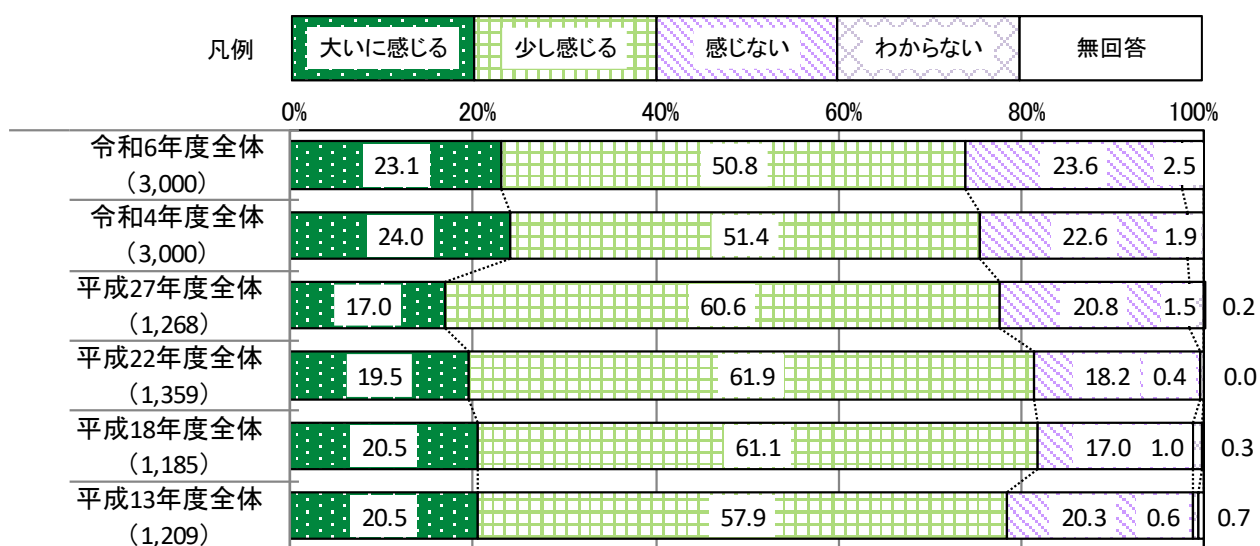
問２（４） 日頃、精神的な疲労、ストレスを感じますか。 1つだけ選んでください。

ア 大いに感じる イ 少し感じる ウ 感じない エ わからない

全員に、日頃の精神的な疲労・ストレスについてたずねたところ、「少し感じる」が50.8%、「大いに感じる」が23.1%であった。

《感じる群（「大いに感じる」＋「少し感じる」）》は73.9%で、令和４年度の75.4%から1.5ポイント低下し、平成22年度以降低下が続いている。

【図表１－４：精神的な疲労・ストレス（全体比較）／単一回答】



※ 令和４年度調査から「無回答」を削除

（５）体力の衰え

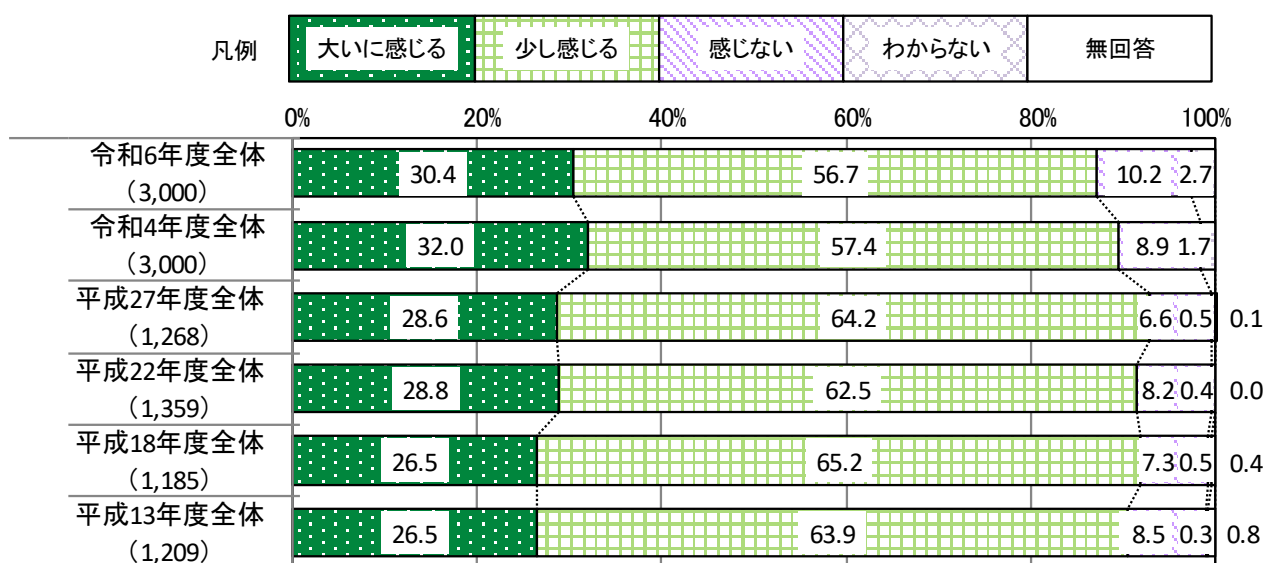
問２（５） 日頃、体力の衰えを感じますか。１つだけ選んでください。

ア 大いに感じる イ 少し感じる ウ 感じない エ わからない

全員に、日頃の体力の衰えについてたずねたところ、「少し感じる」が56.7%、「大いに感じる」が30.4%であった。

《感じる群（「大いに感じる」＋「少し感じる」）》は87.1%で、令和４年度の89.4%から2.3ポイント低下した。

【図表１－５：体力の衰え（全体比較）／単一回答】



※ 令和４年度調査から「無回答」を削除

（６）運動不足

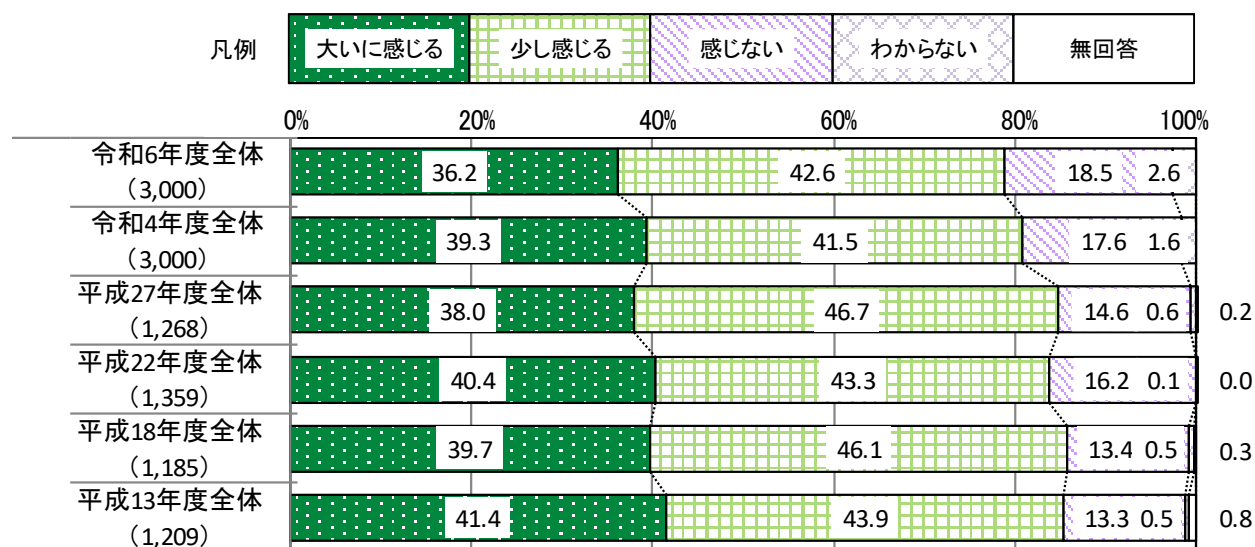
問２（６） 日頃、運動不足を感じますか。1つだけ選んでください。

ア 大いに感じる イ 少し感じる ウ 感じない エ わからない

全員に、日頃、運動不足を感じるかについてたずねたところ、「少し感じる」が42.6%、「大いに感じる」が36.2%であった。

「少し感じる」は、令和4年度の41.5%から1.1ポイント上昇したが、「大いに感じる」は、令和4年度の39.3%から3.1ポイント低下した。

【図表１－６：運動不足（全体比較）／単一回答】



※ 令和4年度調査から「無回答」を削除

（７）自身の肥満度

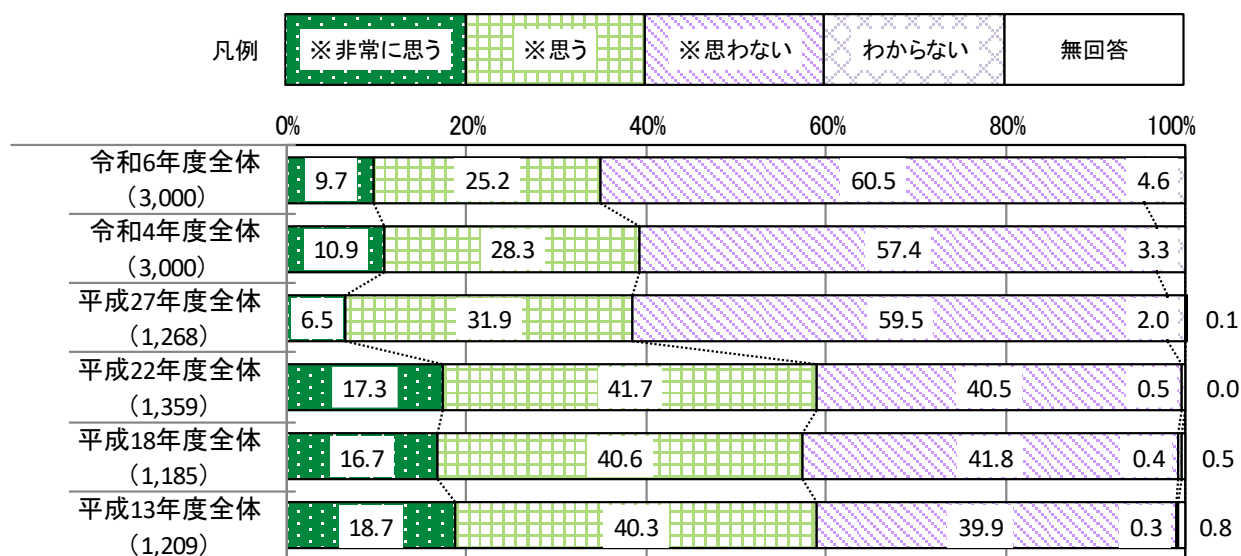
問２（７） ご自身は肥満であると思いますか。1つだけ選んでください。

ア 非常に思う イ 思う ウ 思わない エ わからない

全員に、自身が肥満であると思うかたずねたところ、「思う」が25.2%、「非常に思う」が9.7%であった。

《思う群（「非常に思う」＋「思う」）》は、34.9%で、令和４年度の39.2%から4.3ポイント低下した。

【図表１－７：自身の肥満度（全体比較）／単一回答】



※ 令和４年度調査から「無回答」を削除

※ 平成２２年度調査までは「大いに感じる」「感じる」「感じない」

（８）健康や体力の維持増進への注意

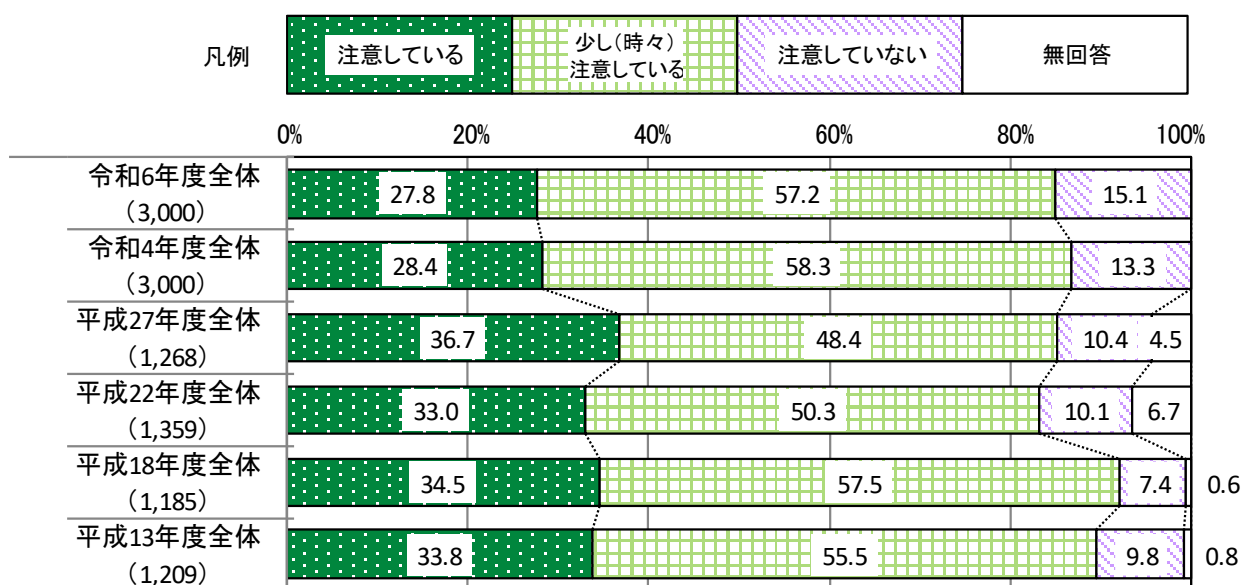
問２（８） 日頃、健康や体力の維持増進に注意していますか。 1つだけ選んでください。

- ア 注意している
 イ 少し（時々）注意している
 ウ 注意していない → 問３（１）へ進む

全員に、日頃の健康や体力の維持増進への注意の意識をたずねたところ、「少し（時々）注意している」が57.2%で、「注意している」が27.8%であった。

《注意している群（「注意している」＋「少し（時々）注意している」）》は85.0%で、令和４年度の86.7%から1.7ポイント低下した。

【図表１－８：健康や体力の維持増進への注意（全体比較）／単一回答】



※ 令和４年度調査から「無回答」を削除

（９）健康・体力維持への留意点

問 2 (9) 日頃、健康や体力の維持増進のために心掛けていることはありますか。 3つまで
選んでください。

- ア 食生活に気をつける
イ 睡眠や休養を十分にとる
ウ 運動やスポーツ（体操や散歩を含む）をする
エ 日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす
（積極的に階段を利用する、車の利用を控え徒歩で移動するなど）
オ 規則正しい生活をする
カ 酒、たばこを控える
キ 定期的に健康診断を受診する
ク その他（ ）
ケ 特になし
コ わからない

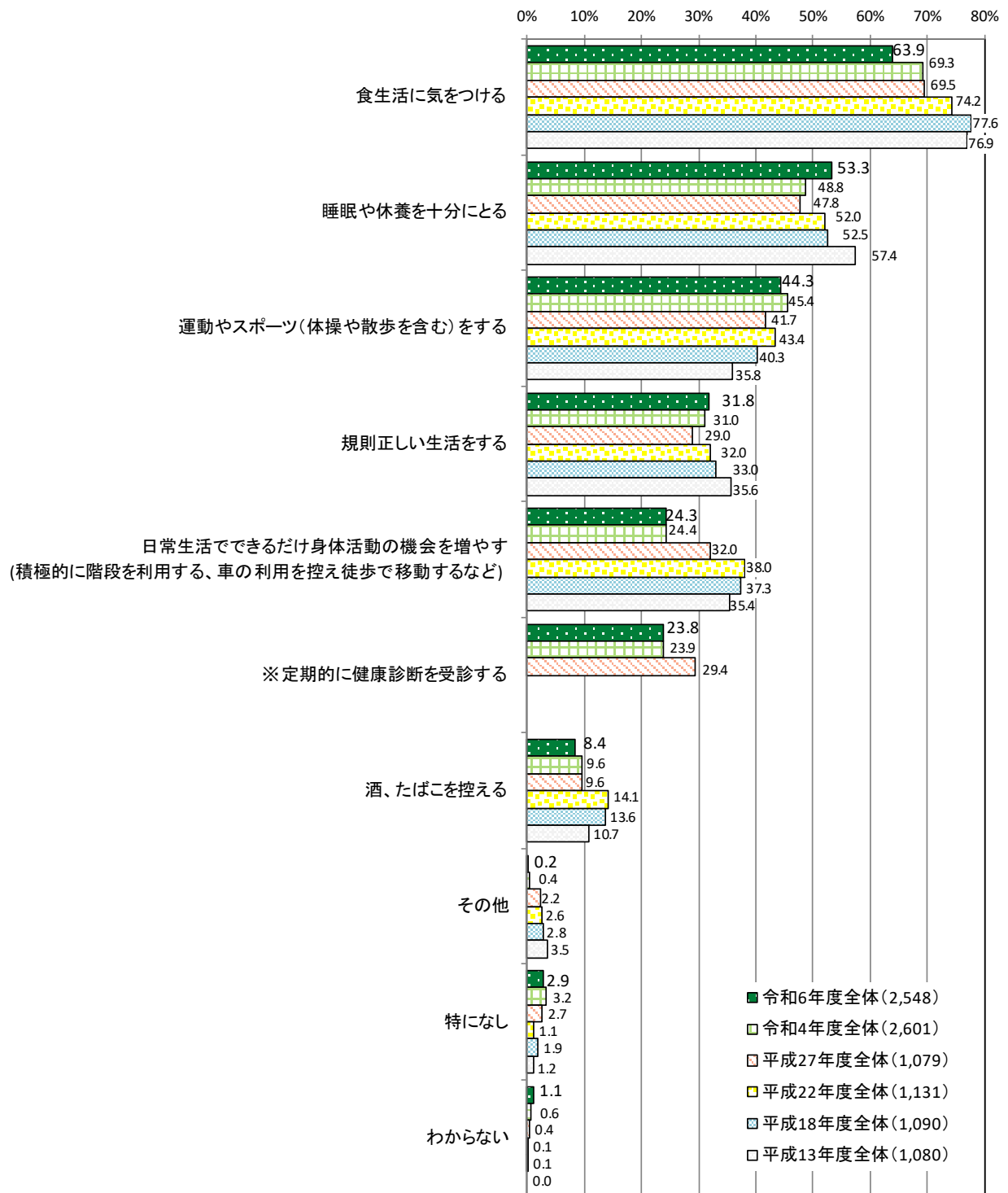
注) 「キ 定期的に健康診断を受診する」は平成27年度調査から追加

日頃、健康や体力の維持増進に「注意している」または「少し（時々）注意している」と答えた人（2,548人）に、日頃の健康や体力の維持増進のために心掛けていることについてたずねた（3つまで回答可）ところ、「食生活に気をつける」が63.9%で最も高かったが、平成18年度以降低下が続いている。

「睡眠や休養を十分にとる」は53.3%で、令和4年度の48.8%に比べ4.5ポイント上昇した。

図表、次ページ参照

【図表 1－9：健康・体力維持への留意点（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※ 平成 27 年度調査から追加

2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向

(1) 1年間に行った運動・スポーツ種目

ア 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ

この1年間で1日あたり30分*以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※ 1日あたり30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

問3 (1) 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～コの選択数とサ～スの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

- ア 軽い球技（キャッチボールなど）
- イ 体操（縄跳びを含む）
- ウ 軽いエアロビックダンス、ヨガ
- エ ウォーキング（散歩などを含む）
- オ フォークダンス（社交ダンス、民踊、車いすダンスなどを含む）
- カ ボウリング
- キ ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
- ク ジョギング
- ケ 軽い水泳（水中ウォーキングなどを含む）
- コ 室内運動器具（ダンベル、チューブなど）を使って行う軽い運動
- サ アーバンスポーツ*
(種目名)
- シ 障害者スポーツ（パラスポーツ）
(種目名)
- ス その他の運動やスポーツ
(種目名)
- セ 特になし

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツのうち【気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ】の実施状況についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「ウォーキング（散歩などを含む）」51.0%が最も高いものの、令和4年度の52.6%と比較すると1.6ポイント低下した。

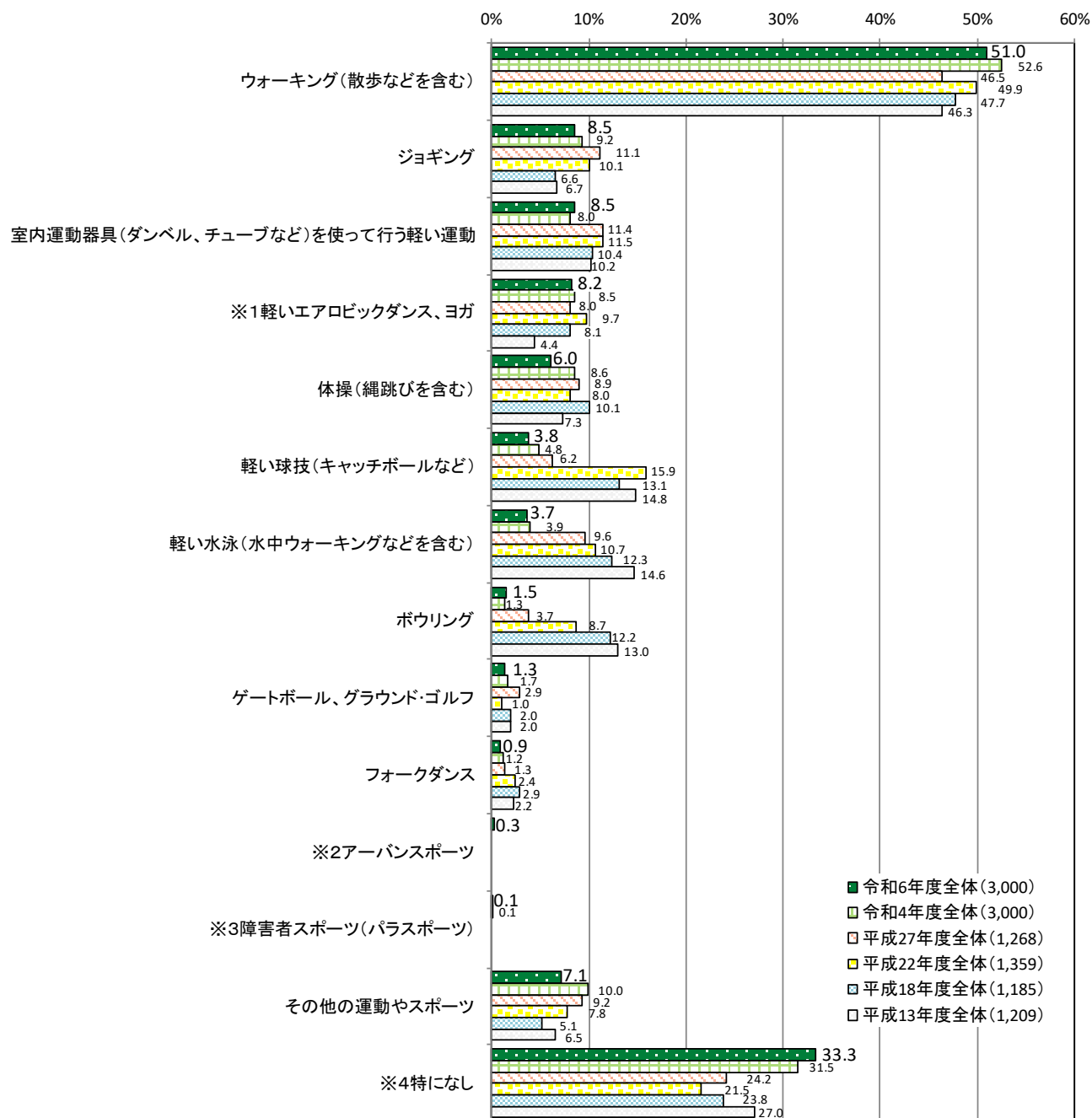
また、「ジョギング」8.5%は平成27年度より低下が続いている。

性別でみると、「ウォーキング（散歩などを含む）」の男性52.0%は、令和4年度の55.3%と比較すると3.3ポイント低下した。

年代別でみると、「ジョギング」の20代（9.8%）、30代（11.0%）は、令和4年度（20代16.5%、30代14.0%）と比較すると20代は6.7ポイント、30代は3.0ポイント低下した。

図表、19, 20ページ参照

【図表 2－1①：《気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ》の実施（全体比較）／複数回答（3つまで）】



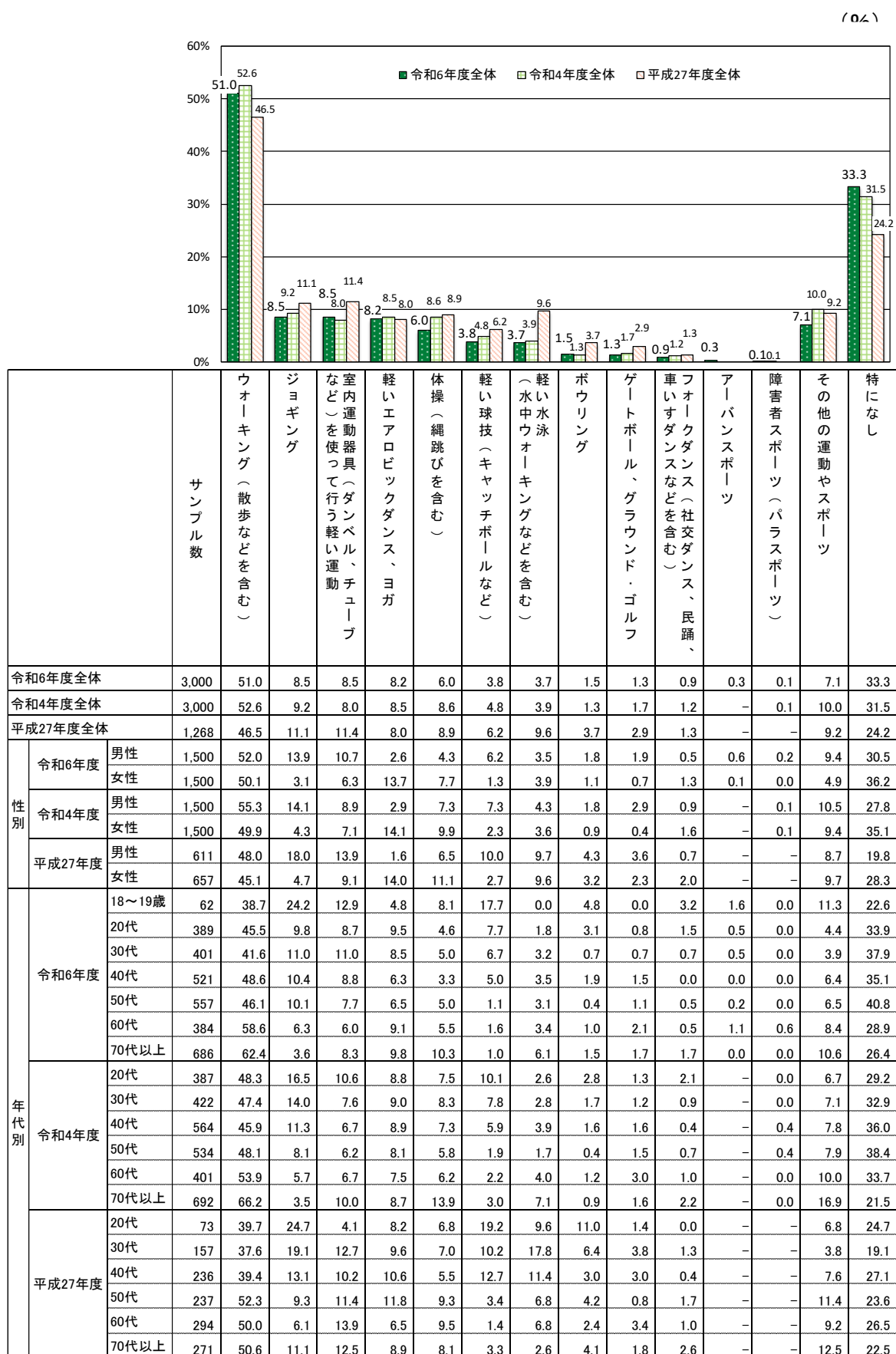
※1 平成13年度調査では「エアロビックダンス(エアロビクス体操)」
平成18～27年度調査では「エアロビックダンス、ヨガ」

※2 令和6年度調査から追加

※3 令和4年度調査から追加

※4 平成27年度調査までは「していない」と表記

【図表 2－1②：《気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ》の実施（令和6年度・令和4年度・平成27年度属性別比較）／複数回答（3つまで）】



イ 野外活動として行っているスポーツ

この１年間で１日あたり30分※以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※ １日あたり30分とは、１回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

問３（２） 野外活動として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。（ア～コの選択数とサ、シの種目名の合計が3つまでになるようにしてください）

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ア スキー、スノーボード | ク ハングライダーなどのスカイスports |
| イ 海水浴（遊泳） | ケ サイクリング |
| ウ スケート | コ 釣り |
| エ 登山、ハイキング | サ 障害者スポーツ（パラスports） |
| オ キャンプ | （種目名 ） |
| カ ヨット、サーフィンなどの
マリンスports | シ その他の野外活動 |
| | （種目名 ） |
| キ ゴルフ | ス 特になし |

注）「エ 登山、ハイキング」は平成22年度調査までは別の選択肢、「オリエンテーリング」は平成27年度調査から削除、
「サ 障害者スポーツ」は令和４年度調査から追加、「ス 特になし」は平成27年度調査まで「していない」

全員に、この１年間で１日あたり30分以上行った運動・スポーツのうち【野外活動として行っているスポーツ】の実施状況についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「特になし」72.1%が最も高く、令和４年度の69.0%から3.1ポイント上昇した。

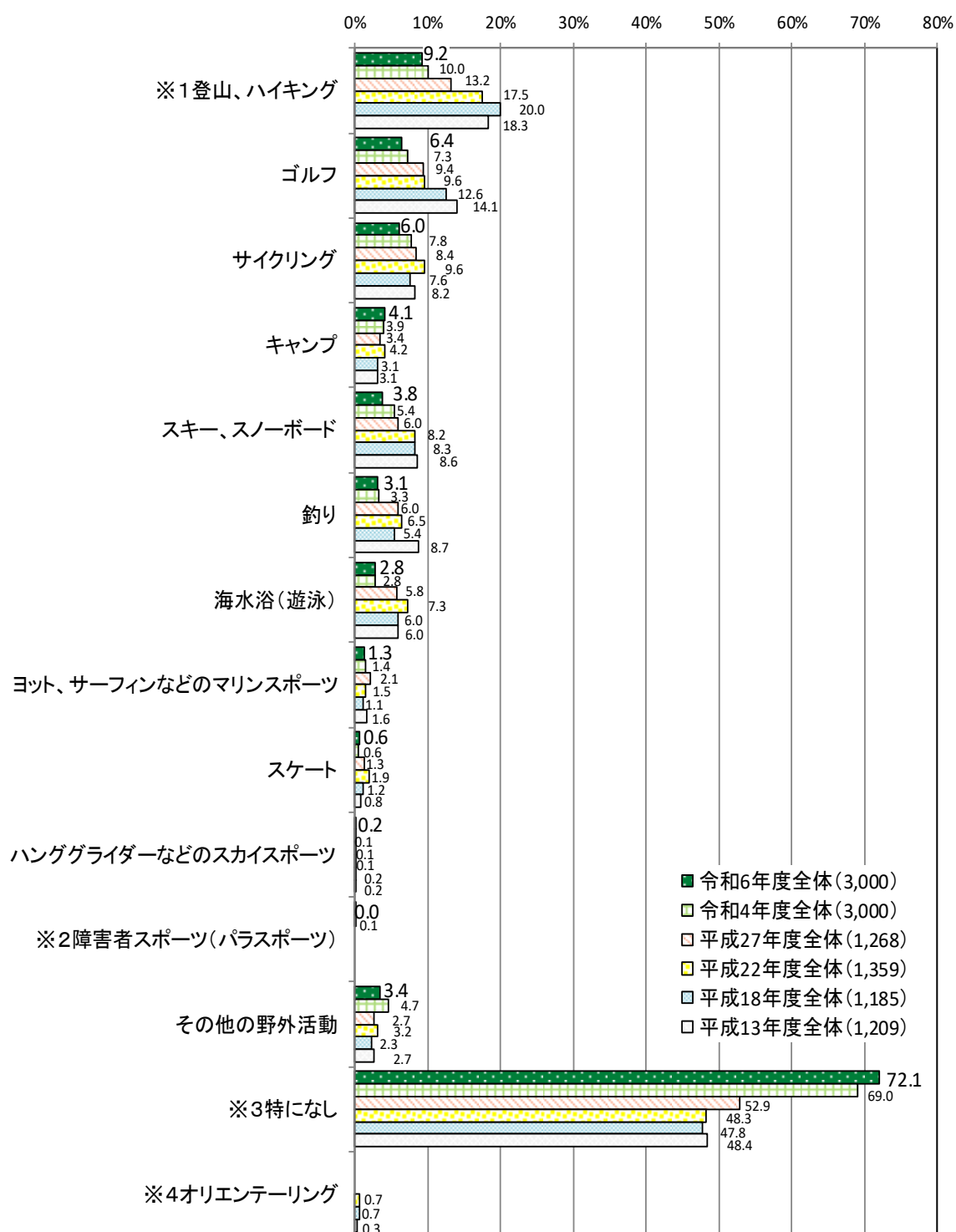
また、「スキー、スノーボード」3.8%は令和４年度の5.4%から1.6ポイント低下した。

性別でみると「スキー・スノーボード」の男性5.4%は、令和４年度の7.4%と比較すると2.0ポイント低下した。

年代別でみると、「サイクリング」の20代4.9%と30代5.5%は、令和４年度の20代9.6%、30代9.5%と比較すると20代4.7ポイント、30代4.0ポイント低下した。「スキー・スノーボード」の20代7.7%は、令和４年度の13.4%と比較すると5.7ポイント低下した。

図表、22, 23ページ参照

【図表 2-2①：《野外活動として行っているスポーツ》の実施（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成22年度調査までのデータは「登山」と「ハイキング」を合算

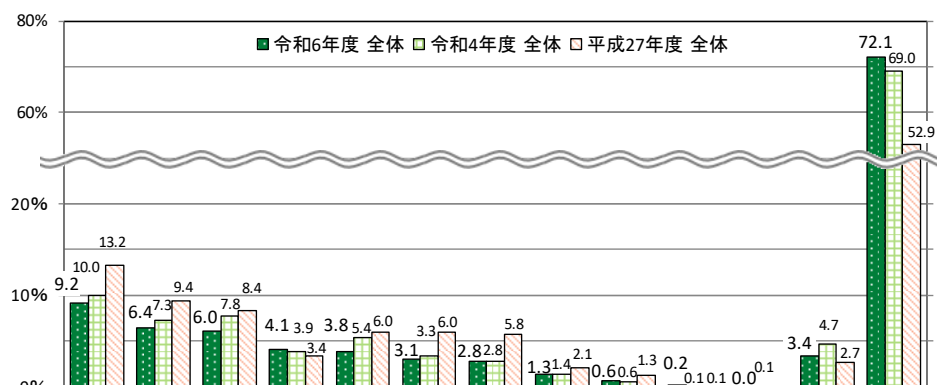
※2 令和4年度調査から追加

※3 平成27年度調査までは「していない」と表記

※4 平成27年度調査から削除

【図表 2－2②：《野外活動として行っているスポーツ》の実施（令和 6 年度・令和 4 年度・平成 27 年度属性別比較）／複数回答（3 つまで）】

(%)



			サンプル数	登山、ハイキング	ゴルフ	サイクリング	キャンプ	スキー、スノーボード	釣り	海水浴（遊泳）	ヨット、サーフィンなどのマリンスポーツ	スケート	ハングスライダーなどのスリースポーツ	障害者スポーツ（パラスポーツ）	その他の野外活動	特になし
令和6年度 全体			3,000	9.2	6.4	6.0	4.1	3.8	3.1	2.8	1.3	0.6	0.2	0.0	3.4	72.1
令和4年度 全体			3,000	10.0	7.3	7.8	3.9	5.4	3.3	2.8	1.4	0.6	0.1	0.1	4.7	69.0
平成27年度 全体			1,268	13.2	9.4	8.4	3.4	6.0	6.0	5.8	2.1	1.3	0.1	—	2.7	52.9
性別	令和6年度	男性	1,500	11.1	10.5	8.7	6.0	5.4	5.7	3.5	2.0	0.8	0.3	0.1	4.5	61.6
		女性	1,500	7.3	2.4	3.4	2.3	2.2	0.5	2.1	0.7	0.5	0.1	0.0	2.3	82.5
	令和4年度	男性	1,500	12.1	11.9	10.0	4.9	7.4	5.8	3.9	1.8	0.7	0.1	0.1	7.1	58.4
		女性	1,500	8.0	2.7	5.5	2.9	3.3	0.9	1.7	1.0	0.4	0.1	0.1	2.3	79.6
	平成27年度	男性	611	13.9	16.7	11.0	4.3	8.8	11.3	7.4	3.6	1.8	0.0	—	4.4	40.4
		女性	657	12.6	2.6	5.9	2.6	3.3	1.1	4.3	0.8	0.8	0.2	—	1.1	64.5
年代別	令和6年度	18～19歳	62	6.5	3.2	6.5	1.6	3.2	4.8	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	1.6	75.8
		20代	389	6.2	5.4	4.9	4.1	7.7	0.8	3.6	1.3	2.1	0.8	0.0	1.6	73.3
		30代	401	7.2	5.5	5.5	4.5	4.7	3.2	3.7	1.7	0.5	0.5	0.0	2.2	74.1
		40代	521	9.6	5.2	9.0	6.9	3.8	4.2	4.2	1.2	0.4	0.2	0.0	1.9	70.1
		50代	557	9.5	6.3	5.9	4.3	3.9	4.8	1.4	1.4	0.2	0.0	0.0	2.0	72.0
		60代	384	11.5	7.3	4.4	4.7	3.1	3.1	2.6	2.3	0.3	0.0	0.3	4.7	70.6
		70代以上	686	10.5	8.5	5.7	1.6	1.3	1.7	2.0	0.7	0.4	0.0	0.0	6.7	72.3
	令和4年度	20代	387	7.0	5.4	9.6	8.0	13.4	3.4	3.6	1.8	2.3	0.3	0.3	2.6	64.9
		30代	422	10.4	6.9	9.5	7.6	5.7	3.8	3.6	2.6	0.9	0.2	0.0	3.3	64.2
		40代	564	10.3	4.8	8.2	5.5	5.1	3.4	4.3	2.0	0.4	0.0	0.0	3.9	69.0
		50代	534	8.6	7.9	8.1	1.5	4.1	4.3	2.4	0.7	0.2	0.0	0.0	5.1	71.0
		60代	401	9.5	9.2	5.0	1.7	3.2	2.5	1.5	1.7	0.0	0.2	0.0	5.0	71.8
		70代以上	692	12.7	9.1	6.8	1.2	3.0	2.7	1.6	0.3	0.1	0.0	0.1	6.8	71.1
	平成27年度	20代	73	13.7	9.6	9.6	2.7	21.9	8.2	13.7	5.5	2.7	0.0	—	2.7	43.8
		30代	157	12.1	8.9	9.6	8.9	10.8	5.7	17.8	5.1	3.8	0.0	—	3.8	43.3
		40代	236	15.3	7.2	9.7	3.8	8.1	6.8	7.6	3.4	1.3	0.0	—	2.1	48.3
		50代	237	14.3	10.1	9.3	4.6	4.2	8.0	4.2	0.8	2.1	0.0	—	1.7	52.7
		60代	294	14.3	13.3	7.5	1.0	2.7	5.1	1.4	1.4	0.0	0.3	—	2.7	55.1
		70代以上	271	10.0	6.6	6.3	1.5	2.2	4.1	1.1	0.4	0.0	0.0	—	3.3	62.7

ウ 競技として行っているスポーツ

この1年間で1日あたり30分※以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※ 1日あたり30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

問3（3） 競技として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。（ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください）

ア 陸上競技	シ バasketボール
イ マラソン	ス ラグビー
ウ 水泳競技	セ その他の球技スポーツ (種目名)
エ 柔道、剣道、相撲、空手	ソ アーバンスポーツ※ (種目名)
オ ボクシング、レスリング	タ その他のスポーツ (種目名)
カ 弓道、アーチェリー	チ 障害者スポーツ (パラスポーツ) (種目名)
キ セーリング	ツ 特になし
ク 野球、ソフトボール	
ケ サッカー、フットサル	
コ バレーボール	
サ テニス、卓球、バドミントン	

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、プレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

注) 「キ セーリング」、「ス ラグビー」、「チ 障害者スポーツ (パラスポーツ)」は令和4年度調査から追加、「ソ アーバンスポーツ」は令和6年度調査から追加、「ツ 特になし」平成27年度調査では「していない」

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツのうち【競技として行っているスポーツ】の実施状況についてたずねた（3つまで回答可）ところ「特になし」87.5%が最も高く、令和4年度の84.8%から2.7ポイント上昇した。

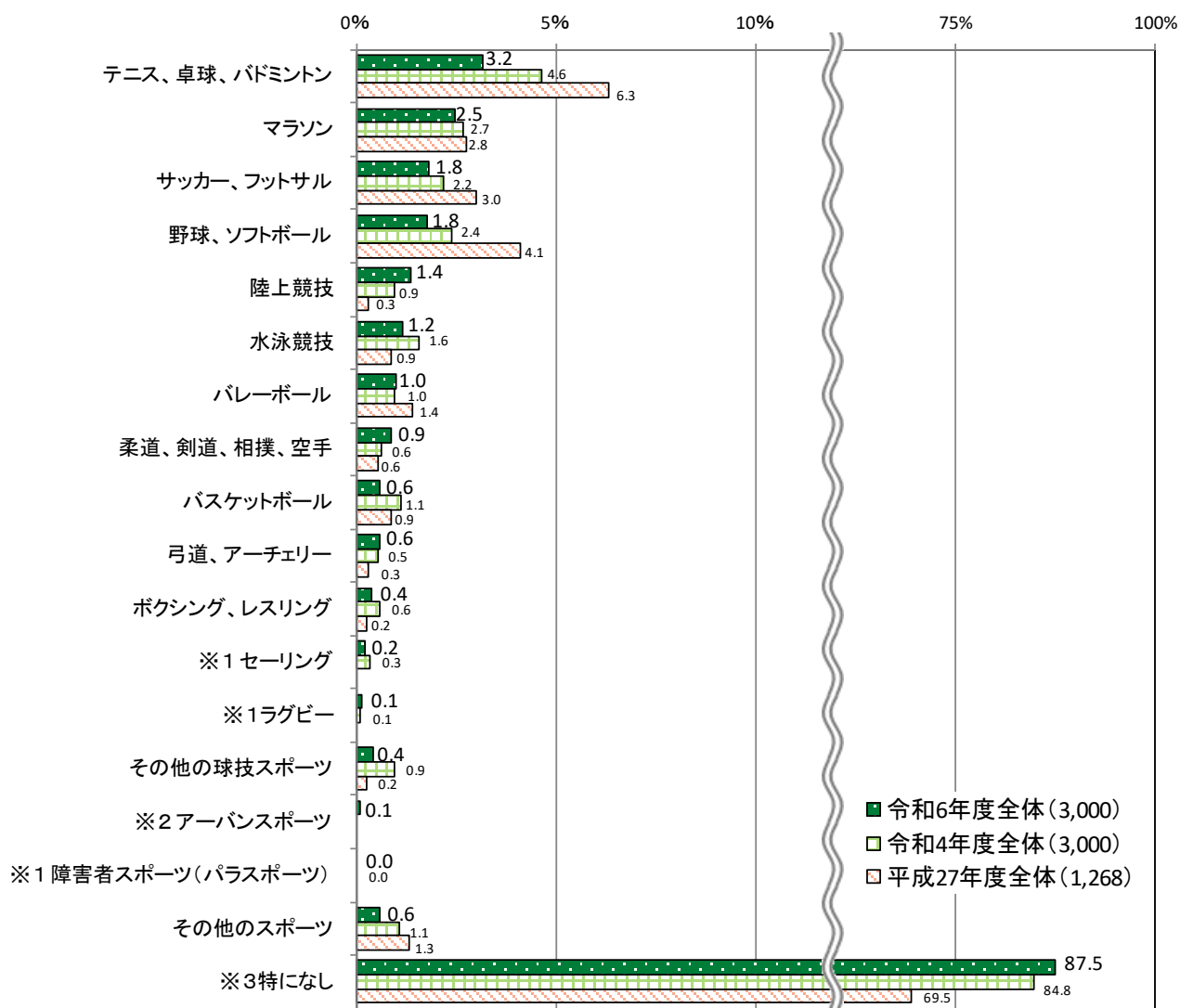
また、「弓道、アーチェリー」3.2%は、令和4年度の0.5%から2.7ポイント上昇した。

性別でみると、「野球・ソフトボール」の男性3.1%は、令和4年度の4.3%と比較すると1.2ポイント低下した。

年代別でみると、「サッカー、フットサル」の20代3.3%は、令和4年度の5.2%と比較すると1.9ポイント低下した。「バスケットボール」の20代1.3%は、令和4年度の3.6%と比較すると2.3ポイント低下した。

図表、25, 26ページ参照

【図表 2－3①：《競技として行っているスポーツ》の実施（令和 6 年度・令和 4 年度・平成 27 年度比較）／複数回答（3 つまで）】



※1 セーリング、ラグビー、障害者スポーツ（パラスポーツ）は令和 4 年度調査から追加
 ※2 アーバンスポーツは令和 6 年度調査から追加
 ※3 「特になし」平成 27 年度調査では「していない」と表記

令和 6 年度・令和 4 年度・平成 27 年度比較図表、次ページ参照

■ 令和6年度 全体 □ 令和4年度 全体 □ 平成27年度 全体

削減対策の取組	令和6年度 全体 (%)	令和4年度 全体 (%)	平成27年度 全体 (%)
1. 省エネルギー対策	3.2	4.6	6.3
2. 環境配慮型製品の開発・販売	2.5	2.7	2.8
3. 環境配慮型製品の調達	1.8	2.2	3.0
4. 環境配慮型製品の廃棄物の処理	1.8	2.4	4.1
5. 環境配慮型製品の廃棄物の削減	1.4	0.9	0.3
6. 環境配慮型製品の廃棄物の再利用	1.2	1.6	0.9
7. 環境配慮型製品の廃棄物のリサイクル	1.0	1.0	1.4
8. 環境配慮型製品の廃棄物の燃焼	0.9	0.6	0.6
9. 環境配慮型製品の廃棄物の埋却	0.6	0.6	1.1
10. その他	0.9	0.6	0.3
削減対策の取組	0.6	0.4	0.6
削減対策の取組	0.2	0.2	0.3
削減対策の取組	0.1	0.1	0.1
削減対策の取組	0.4	0.9	0.2
削減対策の取組	0.1	0.1	0.1
削減対策の取組	0.0	0.0	0.0
削減対策の取組	0.6	1.1	1.3
削減対策の取組	87.5	84.8	69.5

26

(2) 1年間に行った運動・スポーツの日数

問3 (4) この1年間で1日に30分*以上運動・スポーツをどの程度行いましたか。

1つだけ選んでください。

※ 1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

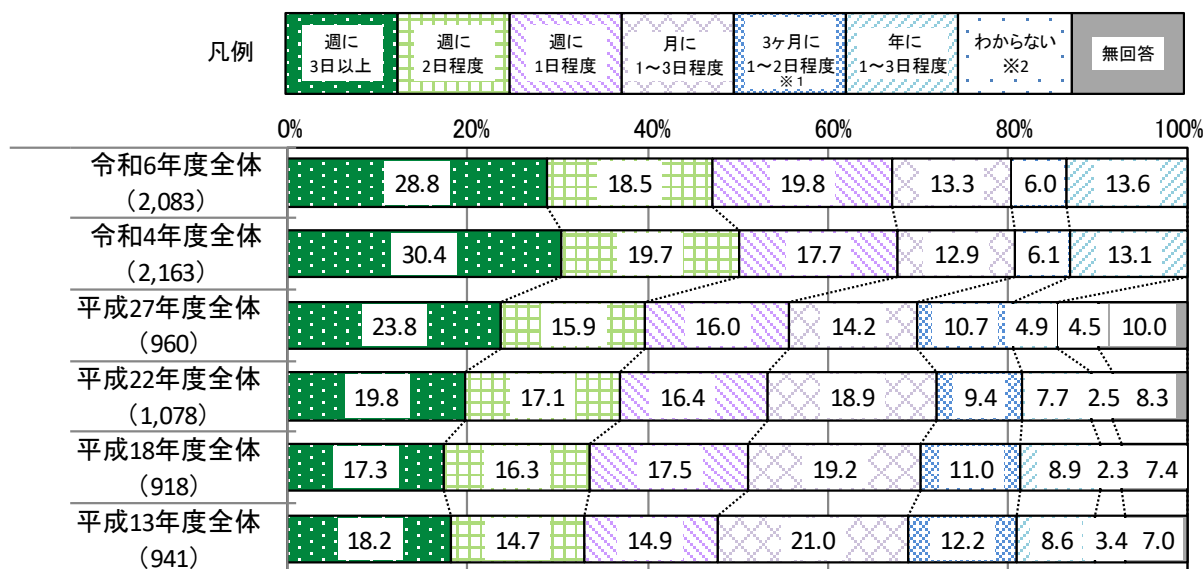
- | | |
|----------------------|----------------------|
| ア 週に3日以上 (151日以上) | エ 月に1～3日程度 (12日～50日) |
| イ 週に2日程度 (101日～150日) | オ 3ヶ月に1～2日程度 (4～11日) |
| ウ 週に1日程度 (51日～100日) | カ 年に1～3日程度 |

注) 「オ 3ヶ月に1～2日程度」は平成27年度までは「3ヶ月に1～3日程度」、「わからない」は令和4年度調査から削除

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行ったと答えた人(2,083人)に、この1年間で30分以上運動した日数をたずねたところ、「週に3日以上(151日以上)」が28.8%で令和4年度の30.4%から1.6ポイント低下した。

また、「週1日以上」運動やスポーツを行った人の割合は67.1%で、令和4年度の67.8%から大きな差はなかった。

【図表2-4：1年間に行った運動・スポーツの日数（全体比較）／単一回答】



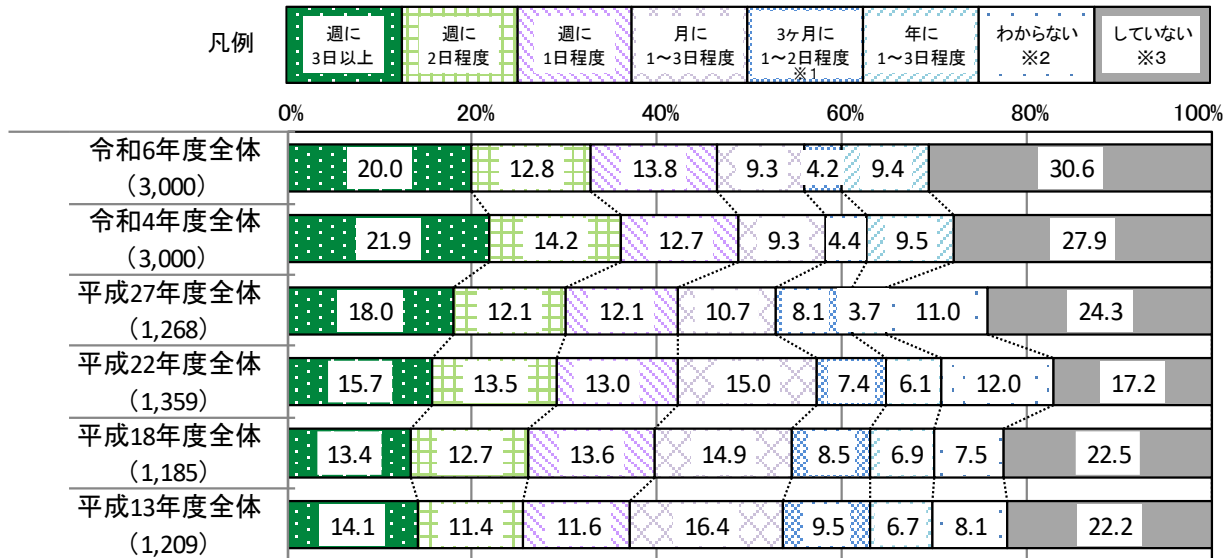
※1 平成27年度調査までは「3ヶ月に1～3日程度」

※2 令和4年度調査から削除

【参考図表 1：1年間に行った運動・スポーツの日数（「スポーツを行わなかった層」を含む）
（全体比較）／単一回答】

この1年間に行った運動・スポーツの日数をたずねたところ、「していない」30.6%が最も高く、次いで「週に3日以上（151日以上）」20.0%が高かった。

《週1日以上》運動やスポーツを行った人の割合は46.6%で、令和4年度の48.8%から2.2ポイント低下した。一方で「していない」人の割合は、令和4年度の27.9%から2.7ポイント上昇した。



※1 平成27年度調査までは「3ヶ月に1～3日程度」

※2 「わからない」は、無回答者を含んだ数値で、令和4年度調査から削除

※3 問3（1）（2）（3）で「特になし」と答えた人を「していない」と置き換えた

（３）運動・スポーツを行った理由

問３（５） この１年間で運動・スポーツを行った理由を選んでください。３つまで選んでください。

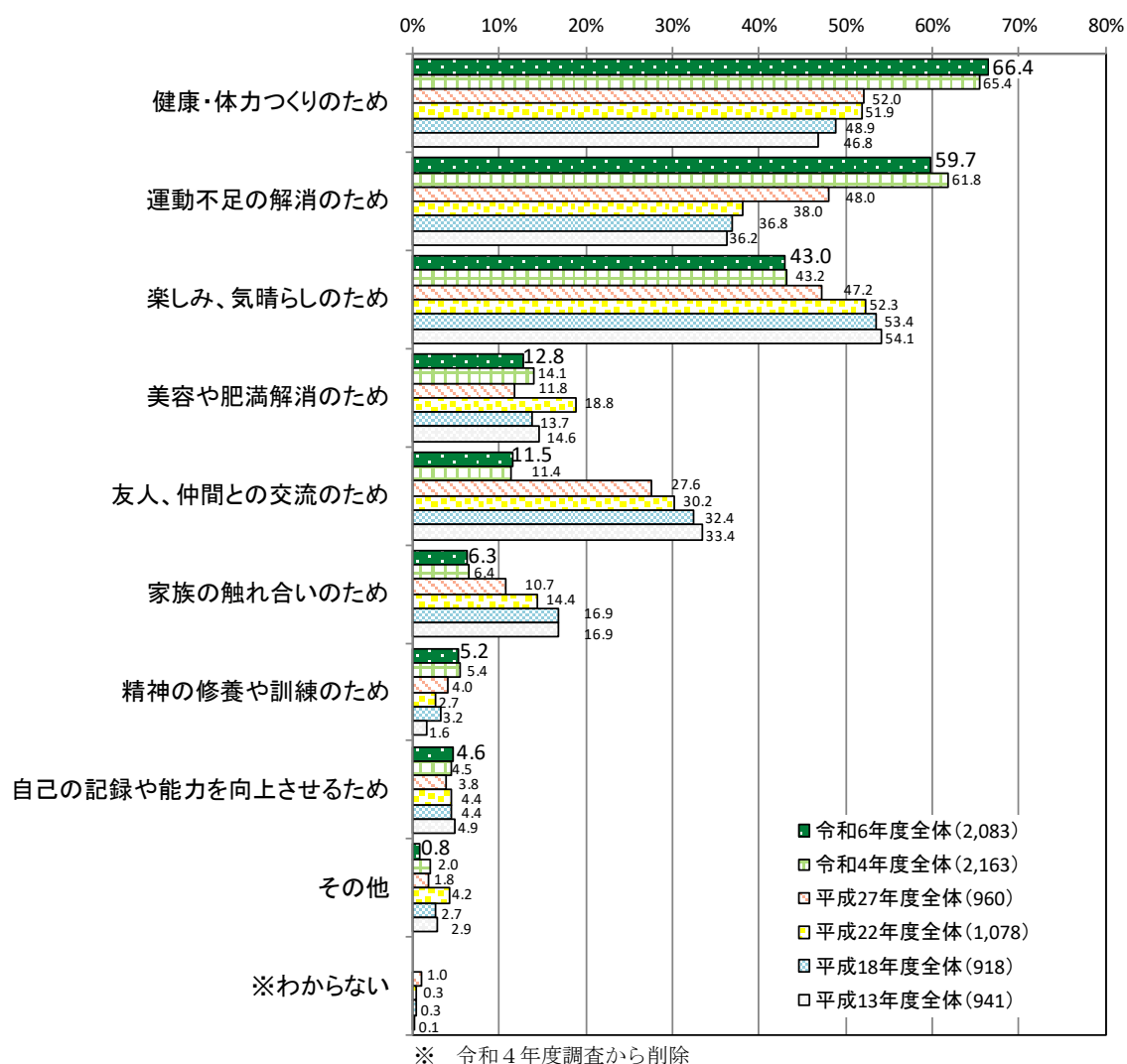
- | | |
|--------------------|----------------|
| ア 健康・体力づくりのため | カ 家族の触れ合いのため |
| イ 楽しみ、気晴らしのため | キ 友人、仲間との交流のため |
| ウ 運動不足の解消のため | ク 美容や肥満解消のため |
| エ 精神の修養や訓練のため | ケ その他（ ） |
| オ 自己の記録や能力を向上させるため | |

注）「わからない」は令和４年度調査から削除

[問３（１）（２）（３）]で、いずれかの運動・スポーツを行ったと答えた人（２,０８３人）に、この１年間で運動やスポーツを行った理由をたずねた（３つまで回答可）ところ、「健康・体力づくりのため」６６.４％が最も高く、次いで「運動不足の解消のため」５９.７％となった。

「楽しみ、気晴らしのため」４３.０％は低下が続いており、「健康・体力づくりのため」６６.４％は令和４年度の６５.４％から１.０ポイント上昇した。

【図表２－５：運動・スポーツを行った理由（全体比較）／複数回答（３つまで）】



(4) 運動・スポーツを行った効果

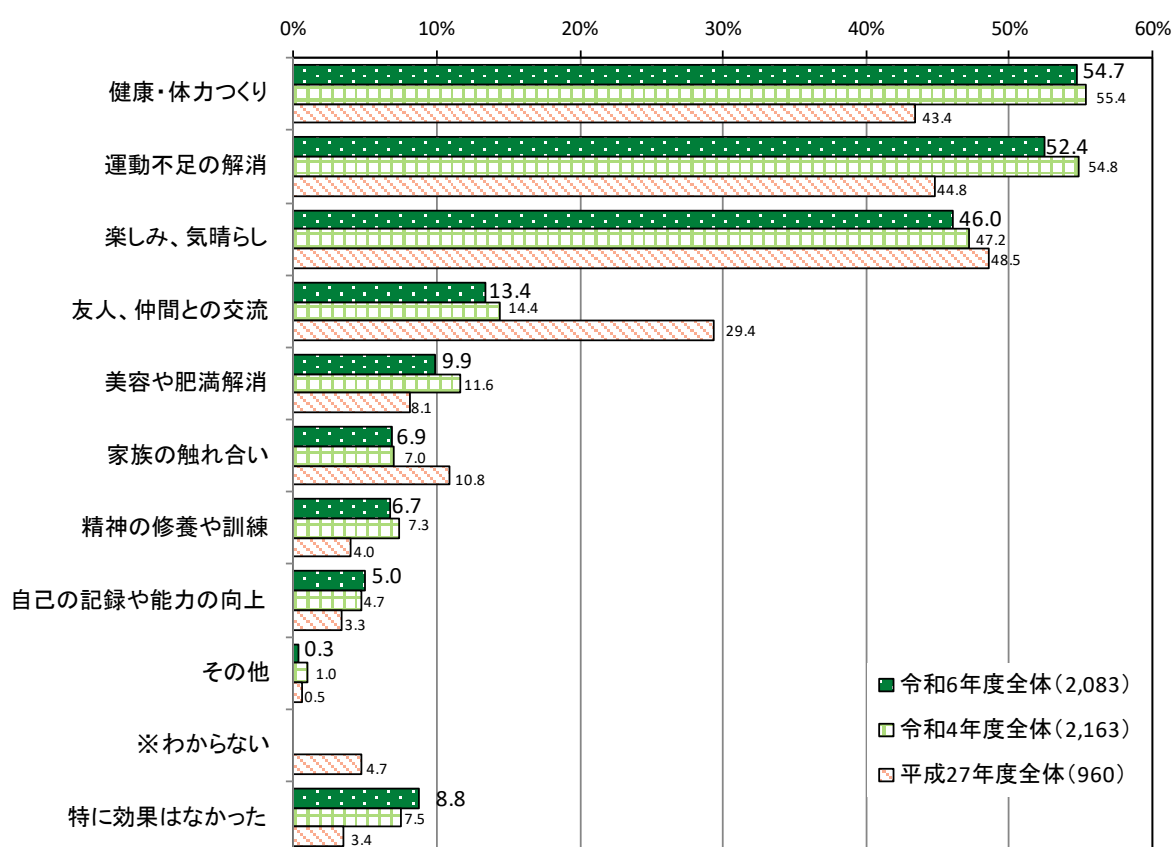
問3 (6) 運動・スポーツを行ってどんな効果がありましたか。3つまで選んでください。

- | | |
|---------------|-------------|
| ア 健康・体力づくり | カ 家族の触れ合い |
| イ 楽しみ、気晴らし | キ 友人、仲間との交流 |
| ウ 運動不足の解消 | ク 美容や肥満解消 |
| エ 精神の修養や訓練 | ケ その他 () |
| オ 自己の記録や能力の向上 | コ 特に効果はなかった |

注) 「問3 (6) 運動・スポーツをした効果」に関する設問は、平成27年度調査から新設、「わからない」は令和4年度調査から削除

[問3 (1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行ったと答えた人(2,083人)に、この1年間で運動やスポーツをした効果をたずねた(3つまで回答可)ところ、「健康・体力づくり」54.7%が最も高かった。次いで高い「運動不足の解消」52.4%は、令和4年度の54.8%から2.4ポイント低下した。

【図表2-6：運動・スポーツを行った効果(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※ 令和4年度調査から削除

（５）運動・スポーツを行わなかった理由

問３（７） この１年間で運動やスポーツを行わなかった理由を選んでください。３つまで選んでください。

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| ア 仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから | キ 指導者がいないから |
| イ 体調が整わなかったから | ク 補助者・介助者がいないから |
| ウ 年をとったから | ケ 費用がかかるから |
| エ 場所や施設がないから | コ 運動・スポーツは嫌いだから |
| オ 施設が利用しづらいから | サ 機会がなかったから |
| カ 仲間がいないから | シ その他（ ） |
| | ス わからない |

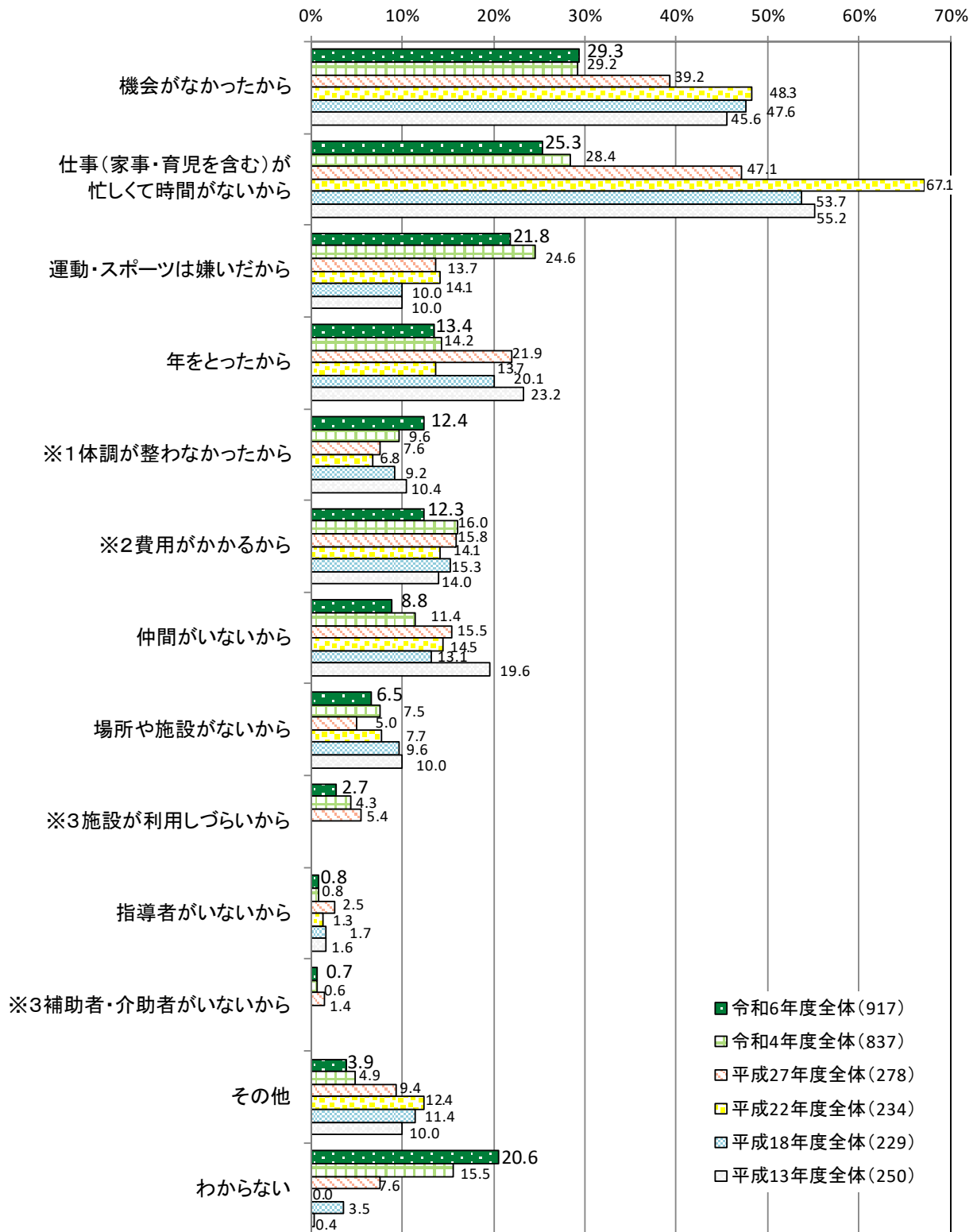
注）「イ 体調が整わなかったから」は平成27年度調査までは「体が弱いから」、「オ 施設が利用しづらいから」「ク 補助者・介助者がいないから」は平成27年度調査から追加、「ケ 費用がかかるから」は平成27年度調査までは「金がかかるから」

〔問３（１）（２）（３）〕で、すべてに「（運動・スポーツを）していない」と答えた人（917人）に、この１年間で運動やスポーツをしなかった理由をたずねた（３つまで回答可）ところ、「機会がなかったから」29.3%が最も高く、次いで「仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから」25.3%となった。

令和４年度と比較したところ「仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから」25.3%は3.1ポイント、「運動・スポーツは嫌いだから」21.8%は2.8ポイント、令和４年度から低下した。

図表、次ページ参照

【図表２－７：運動・スポーツを行わなかった理由（全体比較）／複数回答（３つまで）】



※1 平成27年度調査までは「体が弱いから」

※2 平成27年度調査までは「金がかかるから」

※3 平成27年度調査から追加

（６）運動・スポーツ活動の満足度

問４ 運動・スポーツを行うことについて、どのようにお考えですか。1つだけ選んでください。

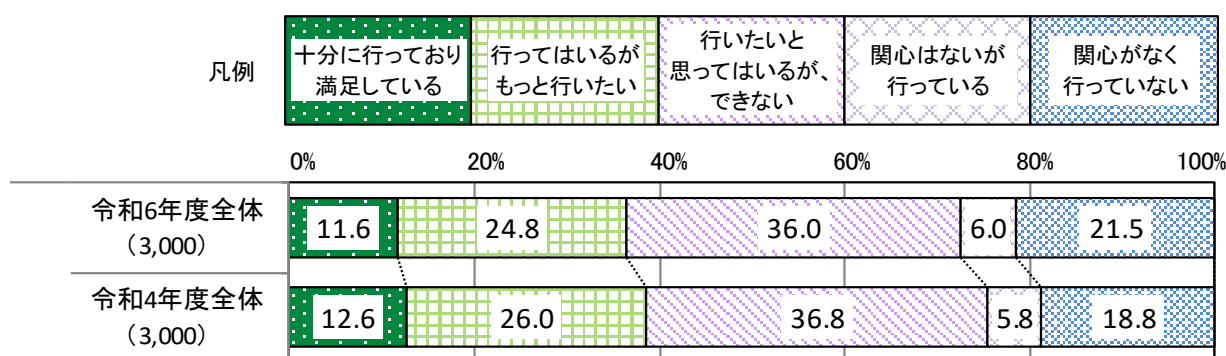
- ア 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- イ 運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい
- ウ 運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない
- エ 運動・スポーツに関心はないが、行っている
- オ 運動・スポーツに関心がなく、行っていない

注）「エ 運動・スポーツに関心はないが、行っている」と「オ 運動・スポーツに関心がなく、行っていない」は令和４年度調査から追加、「関心がない」は令和４年度調査から削除

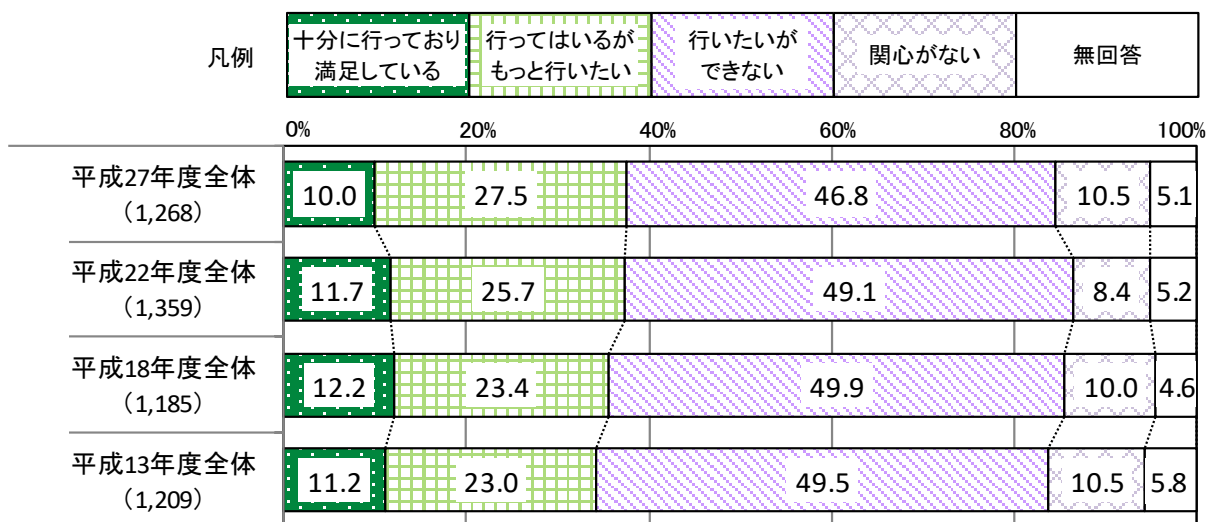
全員に、運動・スポーツ活動の満足度をたずねたところ、「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」が36.0％であり、「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」は24.8％であった。

《行いたい群（「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」＋「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」）》は60.8％で、令和４年度の62.8％から2.0ポイント低下した。

【図表２－８：運動・スポーツ活動の満足度（全体比較）／単一回答】



※ 令和４年度調査から選択肢を変更



（７）今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツ

ア 気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ

今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

問５（１） 気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツはありますか。３つまで選んでください。（ア～コの選択数とサ～スの種目名の合計が３つまでになるようにしてください。）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ア 軽い球技（キャッチボールなど | コ 室内運動器具 |
| イ 体操（縄跳びを含む） | （ダンベル、チューブなど） |
| ウ 軽いエアロビックダンス、ヨガ | を使ってする軽い運動 |
| エ ウォーキング（散歩などを含む） | サ アーバンスポーツ※ |
| オ フォークダンス | （種目名 |
| （社交ダンス、民踊、車いすダンス | シ 障害者スポーツ（パラスポーツ） |
| などを含む） | （種目名 |
| カ ボウリング | ス その他の運動やスポーツ |
| キ ゲートボール、グラウンド・ゴルフ | （種目名 |
| ク ジョギング | セ 特になし |
| ケ 軽い水泳 | |
| （水中ウォーキングなどを含む） | |

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、プレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

注）「サ アーバンスポーツ」は令和6年度調査から追加、「シ 障害者スポーツ」は令和4年度調査から追加、「セ 特になし」は「比較的軽い運動・スポーツには関心がない」に令和4年度調査から変更

全員に、今後（も）【気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ】についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「ウォーキング（散歩などを含む）」54.3%が最も高かった。次いで「軽いエアロビックダンス、ヨガ」17.3%となった。

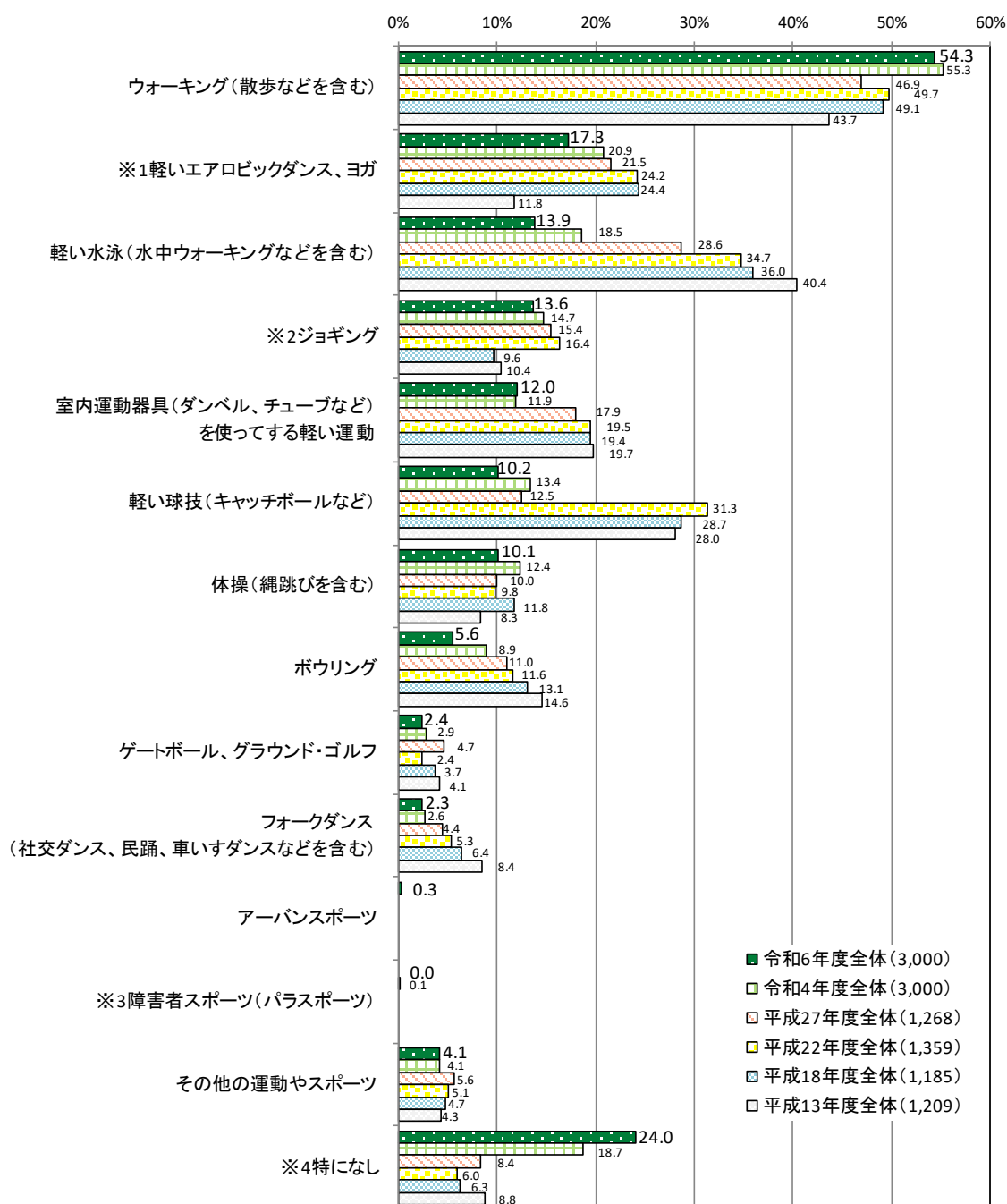
「軽い水泳（水中ウォーキングなどを含む）」13.9%は、平成13年以降低下が続いている。

性別でみると、「軽いエアロビックダンス、ヨガ」の女性29.6%は、令和4年度の35.0%と比較すると5.4ポイント低下した。

年代別でみると、「ジョギング」の20代15.4%は、令和4年度の20.4%と比較すると5.0ポイント低下した。

図表、35, 36ページ参照

【図表 2－9①：《気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ》の実施意向（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成13年度調査では「エアロビクダンス(エアロビクス体操)」
平成18～27年度調査では「エアロビクダンス、ヨガ」

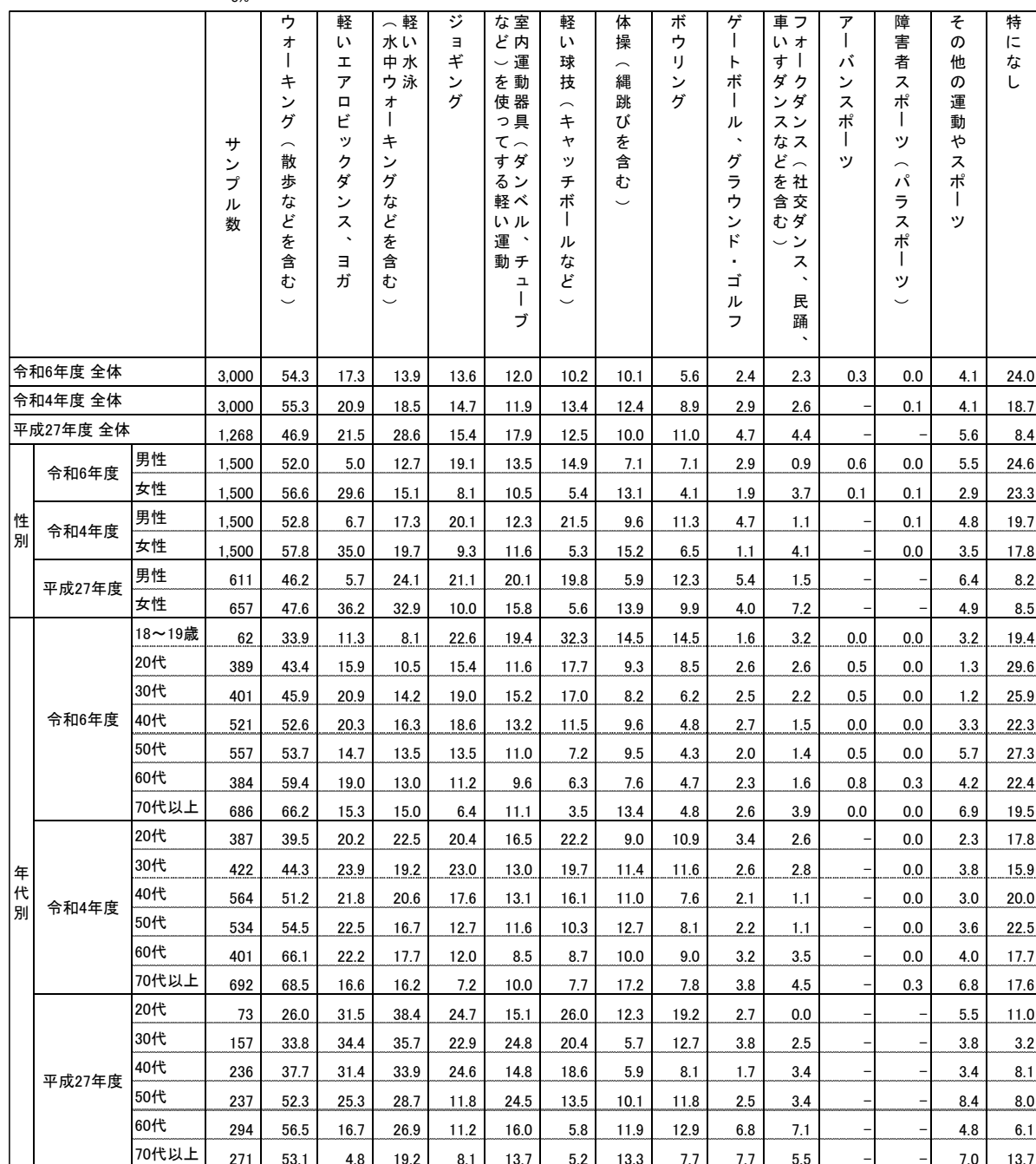
※2 平成22年度調査までは「ランニング(ジョギング)」

※3 令和6年度調査から追加

※4 令和4年度調査から追加

※5 平成22年度調査までの「わからない」と「ない」のデータを合算
平成27年度調査では「比較的軽い運動・スポーツには関心がない」

(%)



イ 野外活動として行いたいスポーツ

問5(2) 野外活動として今後(も)行いたい(行ってみたい)スポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～コの選択数とサ、シの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

ア スキー、スノーボード	ク ハンググライダーなどのスカイスports
イ 海水浴(遊泳)	ケ サイクリング
ウ スケート	コ 釣り
エ 登山、ハイキング	サ 障害者スポーツ(パラスports)
オ キャンプ	(種目名)
カ ヨット、サーフィンなどの マリンスports	シ その他の野外活動
キ ゴルフ	(種目名)
	ス 特になし

注) 「エ 登山、ハイキング」は平成22年度調査までは別の選択肢、「オリエンテーリング」は平成22年度調査から削除
「サ 障害者スポーツ」は令和4年度調査から追加、「ス 特になし」は「比較的軽い運動・スポーツには関心がない」に
令和4年度調査から変更

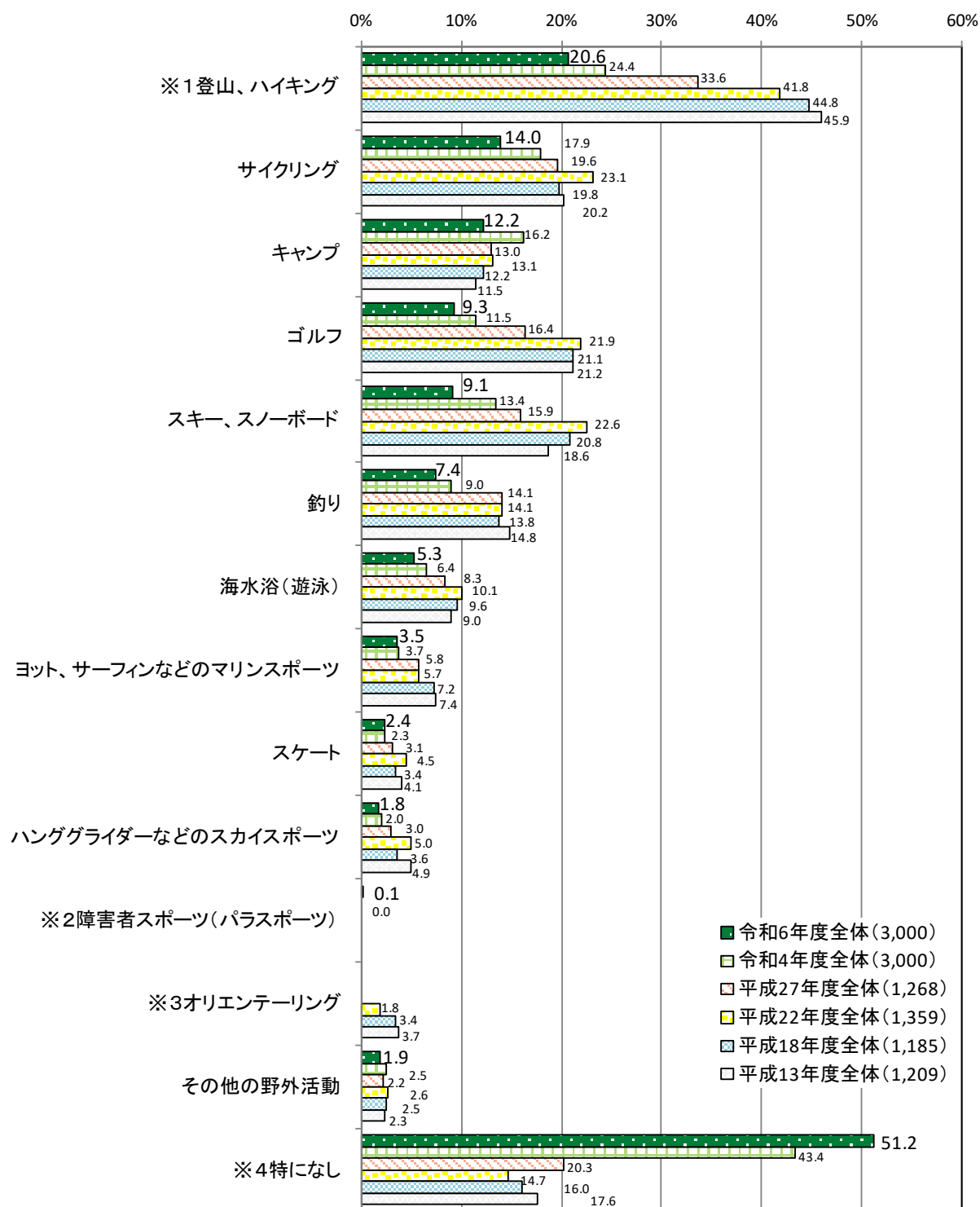
全員に、今後(も)【野外活動として行いたいスポーツ】についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「特になし」は全体の51.2%で、令和4年度の43.4%から7.8ポイント上昇した。次いで「登山、ハイキング」20.6%となっているが、平成13年度以降低下が続いている。

性別でみると、「登山、ハイキング」の男性21.7%は、令和4年度の26.3%と比較すると4.6ポイント低下した。

年代別でみると、「キャンプ」の20代13.6%は、令和4年度の24.3%と比較すると10.7ポイント低下した。

図表、38、39ページ参照

【図表 2-10①：「野外活動として行いたいスポーツ」の実施意向（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成22年度調査までは「ハイキング」と「登山」を合算

※2 令和4年度調査から追加

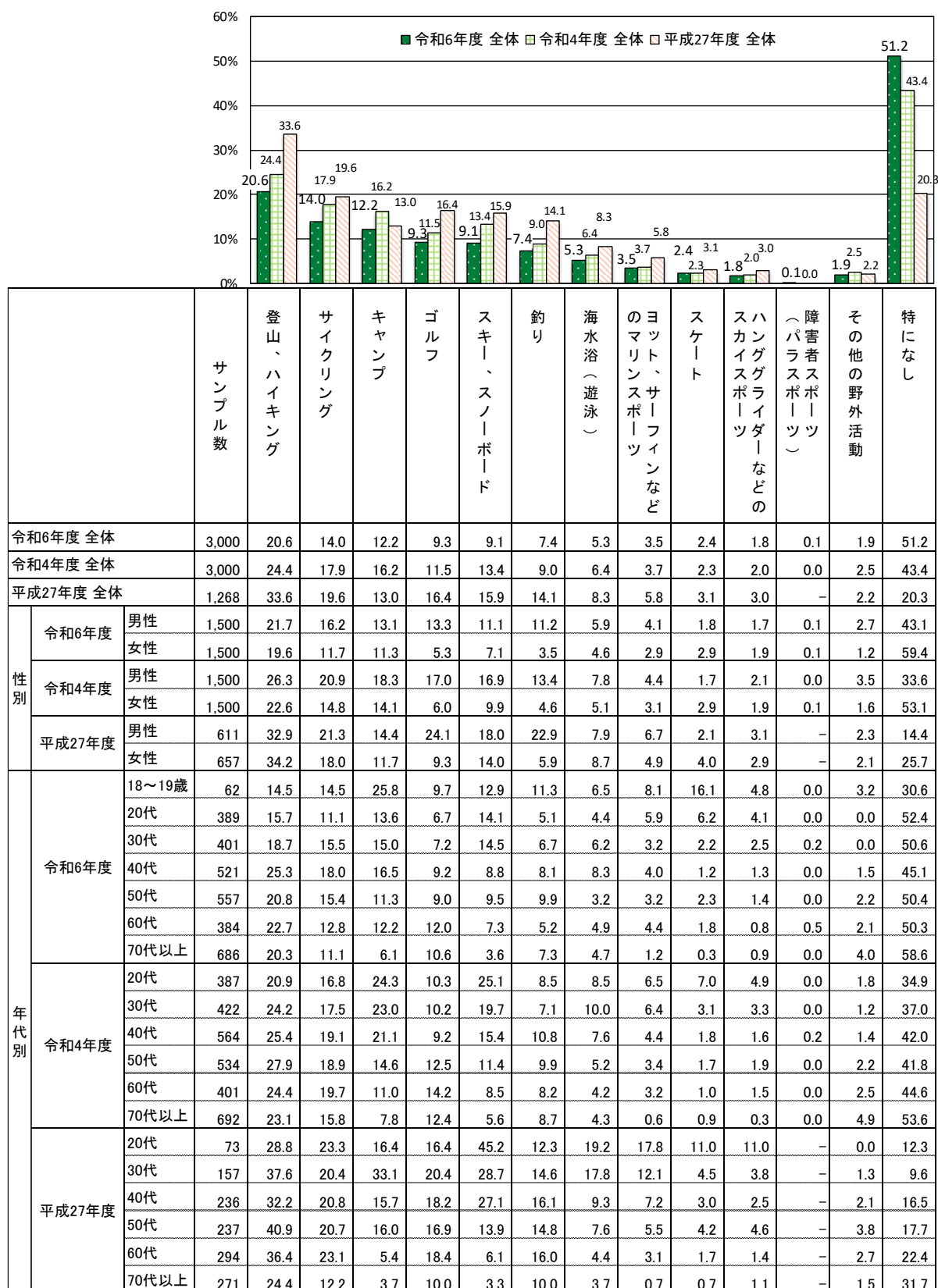
※3 平成27年度調査から削除

※4 平成22年度調査までの「わからない」と「ない」のデータを合算

令和6年度・令和4年度・平成27年度比較図表、次ページ参照

【図表 2-10②】：《野外活動として行いたいスポーツ》の実施意向（令和6年度・令和4年度・平成27年度属性別比較）／複数回答（3つまで）】

(%)



ウ 競技として行いたいスポーツ

問5 (3) 競技として今後（も）行いたい（行ってみたい）スポーツはありますか。3つまで選んでください。（ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください）

ア 陸上競技	ス ラグビー
イ マラソン	セ その他の球技スポーツ (種目名)
ウ 水泳競技	ソ アーバンスポーツ※ (種目名)
エ 柔道、剣道、相撲、空手	タ 障害者スポーツ (パラスポーツ) (種目名)
オ ボクシング、レスリング	チ その他のスポーツ (種目名)
カ 弓道、アーチェリー	ツ 特になし
キ セーリング	
ク 野球、ソフトボール	
ケ サッカー、フットサル	
コ バレーボール	
サ テニス、卓球、バドミントン	
シ バスケットボール	

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

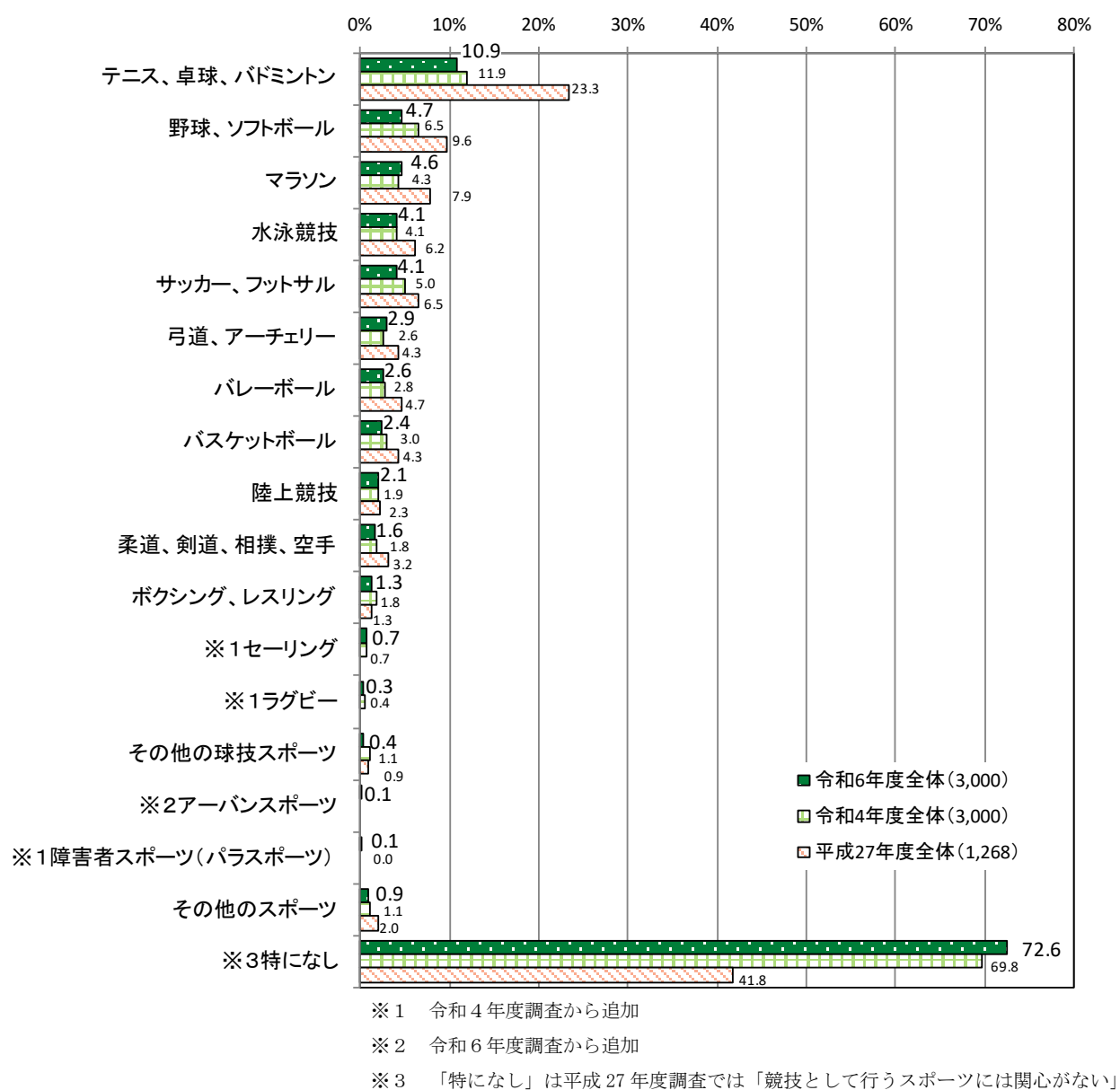
注) 「キ セーリング」、「ス ラグビー」「タ 障害者スポーツ (パラスポーツ)」は令和4年度調査から追加、「ソ アーバンスポーツ」は令和6年度調査から追加、「チ 特になし」は「競技として行うスポーツには関心がない」に令和4年度調査から変更

全員に、今後（も）【競技として行いたいスポーツ】についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「特になし」72.6%が最も高く、令和4年度の69.8%から2.8ポイント上昇した。一方で、上位の「テニス、卓球、バドミントン」10.9%は、令和4年度の11.9%と比較すると1.0ポイント低下し、「野球、ソフトボール」4.7%は令和4年度の6.5%と比較すると1.8ポイント低下した。

性別でみると、「野球・ソフトボール」の男性8.5%は、令和4年度の11.4%と比較すると2.9ポイント低下した。年代別でみると、「テニス、卓球、バドミントン」の20代12.6%は、令和4年度の18.6%と比較すると6.0ポイント低下した。

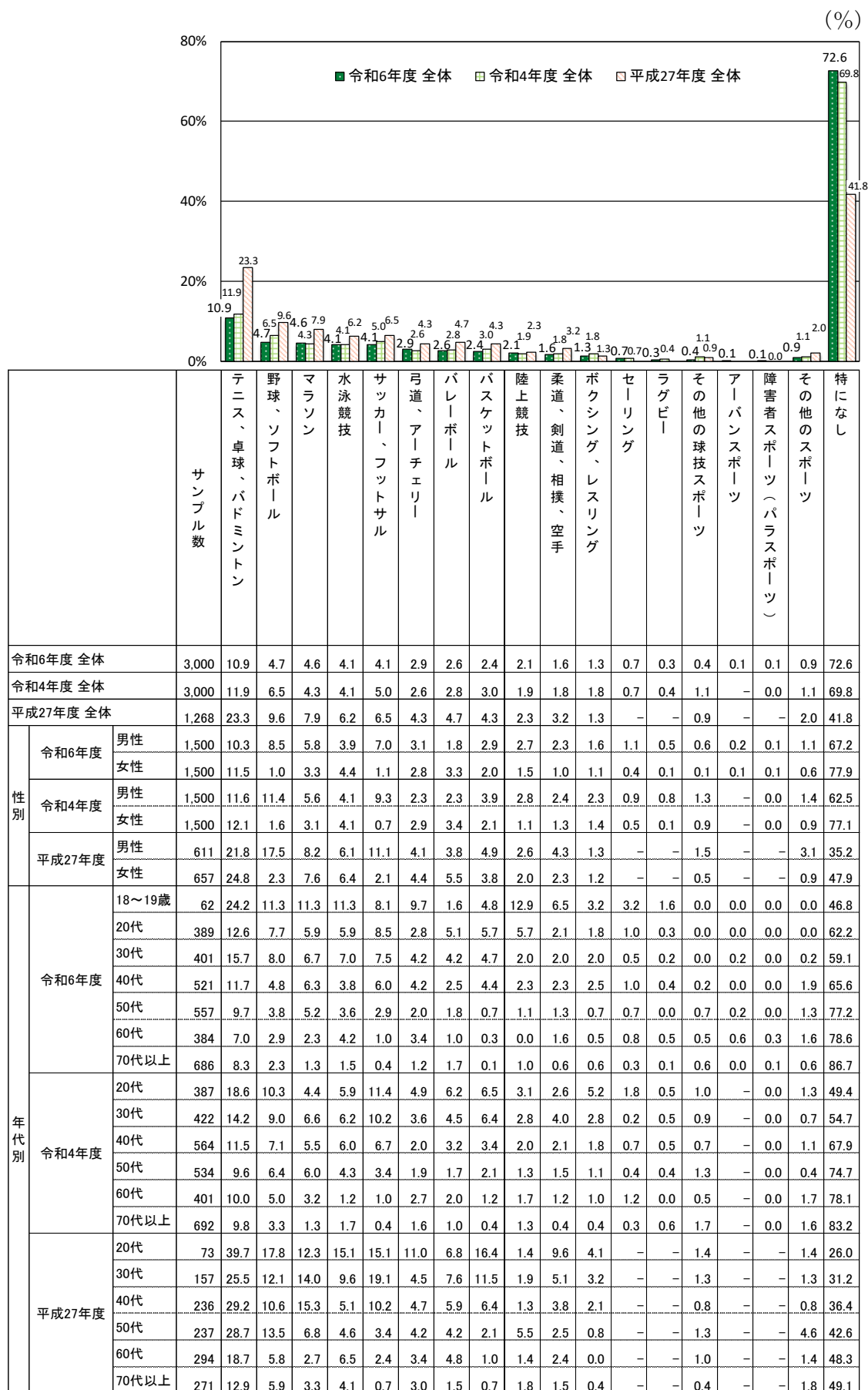
図表、41，42ページ参照

【図表 2-11①：「競技として行いたいスポーツ」の実施意向（全体比較）／複数回答（3つまで）】



令和6年度・令和4年度・平成27年度比較図表、次ページ参照

【図表 2-11②：《競技として行いたいスポーツ》の実施意向（令和6年度・令和4年度・平成27年度属性別比較）／複数回答（3つまで）】



3 スポーツ施設

(1) 公立スポーツ施設設置状況

問6 (1) 公立スポーツ施設（体育館、グラウンド、プール、テニスコートなど）の設置状況を教えてください。1つだけ選んでください。

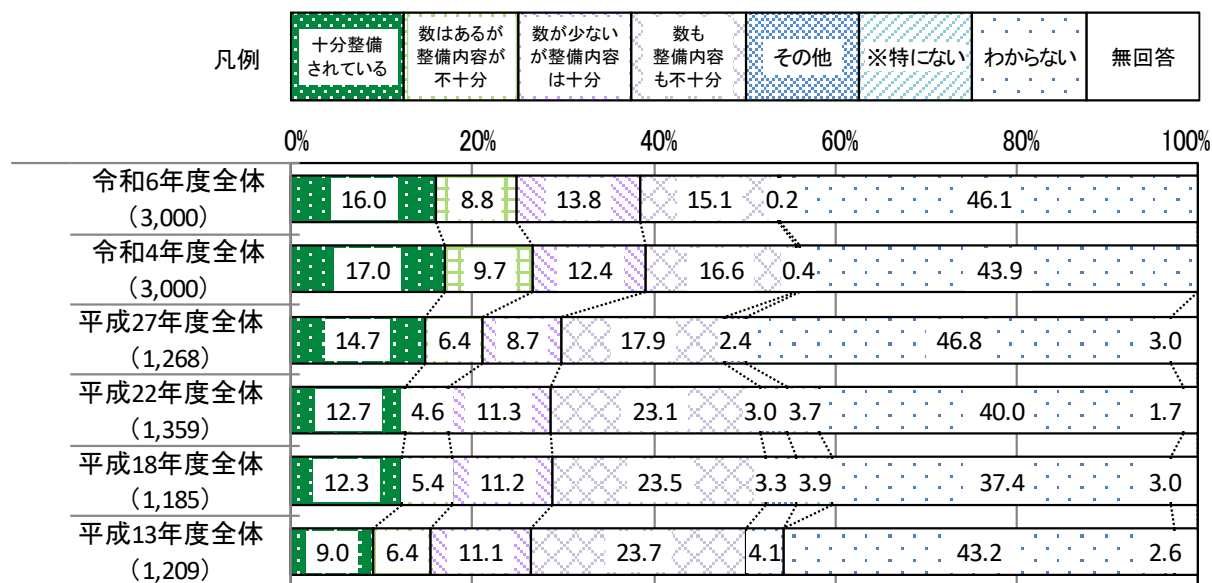
- ア 十分整備されている
- イ 施設の数はあるが、整備内容が不十分
- ウ 施設の数が少ないが、整備内容は十分
- エ 施設の数も整備内容も不十分
- オ その他（ ）
- カ わからない

注) 「特にない」は平成27年度調査から削除

全員に、公立スポーツ施設の設置状況についてたずねたところ、「十分整備されている」は16.0%、「数も整備も不十分」は15.1%であった。

「数も整備内容も不十分」は、令和4年度の16.6%から1.5ポイント低下した。

【図表3-1：公立スポーツ施設設置状況（全体比較）／単一回答】



※ 「特にない」は平成27年度調査から削除

(2) 公立スポーツ施設への要望

問6 (2) 公立スポーツ施設(体育館、グラウンド、プール、テニスコートなど)に対しての要望などを教えてください。3つまで選んでください。

- ア 施設数の増加
イ 指導者の配置
ウ 専門的なスタッフの配置
エ 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実
オ 利用手続き、料金支払い方法の簡略化
カ 利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）
キ 利用案内など広報の充実
ク 運動やスポーツ後に利用する施設（レストランなど）の充実
ケ 高齢者や障害のある方が利用しやすい施設・設備の整備
コ 健康やスポーツに関する情報の充実
サ 託児施設の充実
シ 駐車場の整備
ス その他（ ）
セ わからない

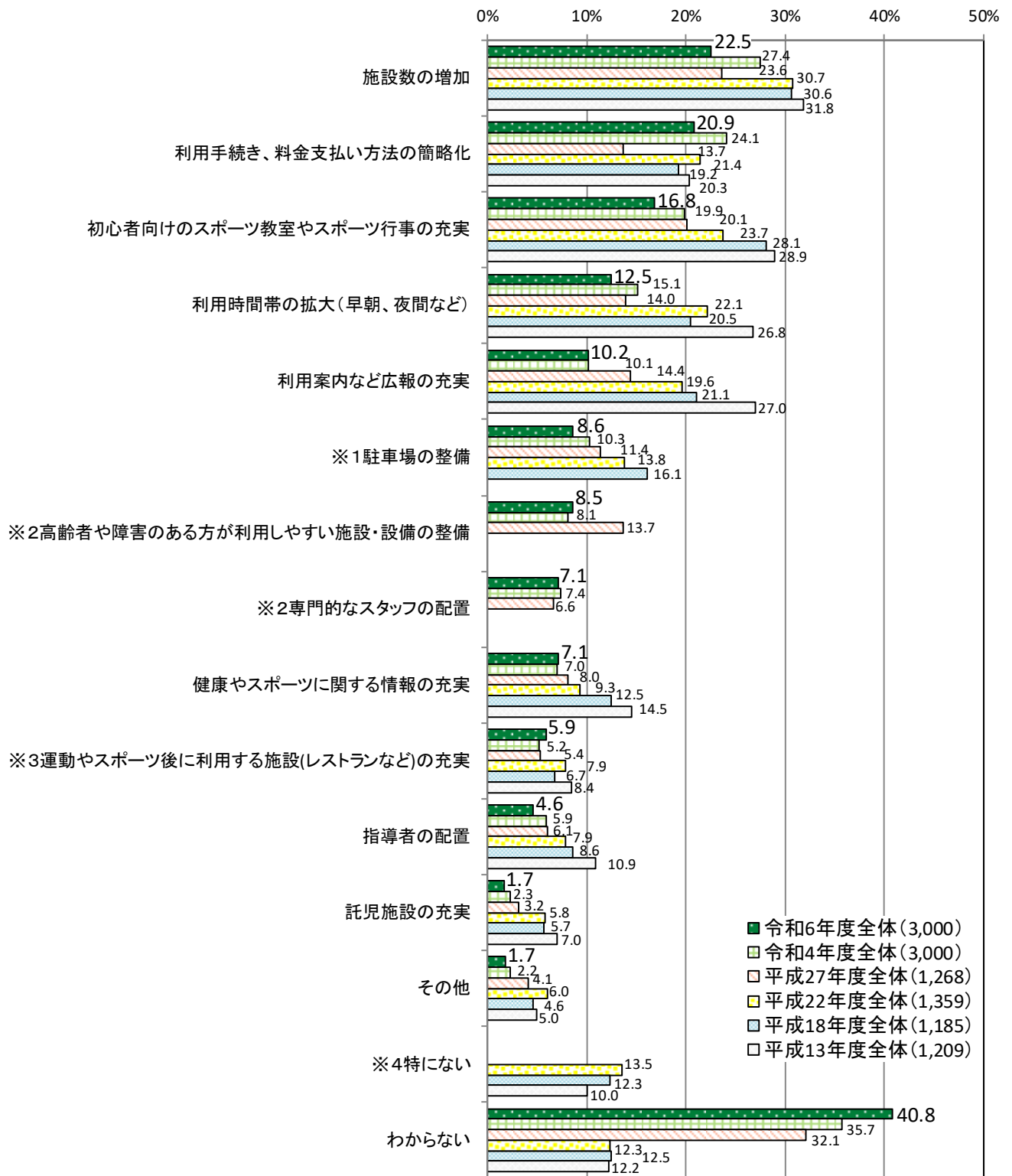
注) 「ウ 専門的なスタッフの配置」「ケ 高齢者や障害者が利用しやすい施設・設備の整備」は平成27年度調査から追加
「特にない」は平成27年度調査から削除

全員に、公立スポーツ施設への要望をたずねた（3つまで回答可）ところ、「施設数の増加」22.5%が最も高いものの、令和4年度の27.4%から4.9ポイント低下した。

また、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」16.8%は平成13年度から低下が続いている。

図表、次ページ参照

【図表 3－2：公共スポーツ施設への要望（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成18年度調査から追加

※2 平成27年度調査から追加

※3 令和4年度調査までは「アフタースポーツのための施設(レストランなど)がないから」、平成22年度調査までは「スポーツをした後のいこいの場がないから」

※4 平成27年度調査から削除

（３）学校の体育施設利用状況

問６（３） この１年間で学校の体育施設（運動場、体育館、プールなど）を、運動やスポーツの目的のために利用しましたか。（学校主催による運動会など学校行事への参加は除きます）

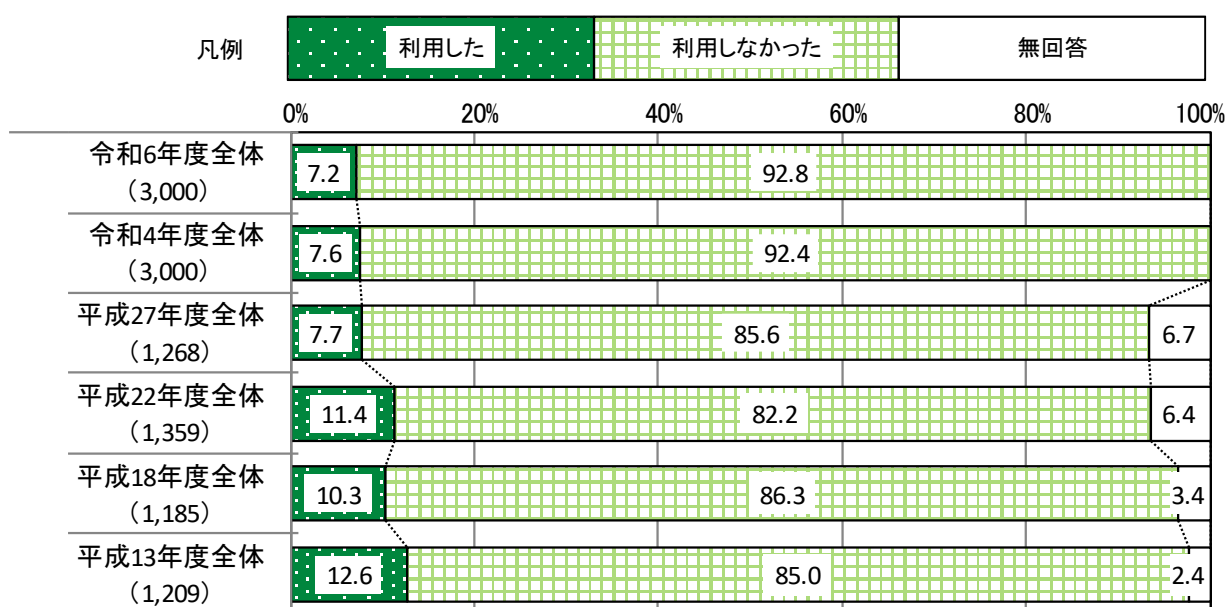
ア 利用した → 問６（５）へ進む

イ 利用しなかった

全員に、この１年間の学校の体育施設利用状況をたずねたところ、「利用した」は7.2%、「利用しなかった」は92.8%であった。

「利用した」7.2%は、令和４年度の7.6%から0.4ポイント低下した。

【図表３－３：学校の体育施設利用状況（全体比較）／単一回答】



（４）学校の体育施設を利用しなかった理由

問６（４） この１年間で学校の体育施設（運動場、体育館、プールなど）を、運動やスポーツの目的のために利用しなかった理由を教えてください。３つまで選んでください。
（学校主催による運動会など学校行事への参加は除きます）

- ア 運動やスポーツに関心がないから
- イ 近くの学校体育施設は一般には開放していないから
- ウ 利用できることを知らなかったから
- エ 施設・設備が良くないから
- オ 多目的トイレや更衣室などの必要な施設・設備がないから
- カ 個人単位では、利用ができないから
- キ 時間帯が限られており、利用したいときにできないから
- ク 利用手続きが面倒だから
- ケ 運動やスポーツ後に利用する施設（レストランなど）がないから
- コ 特になし
- サ その他（ ）

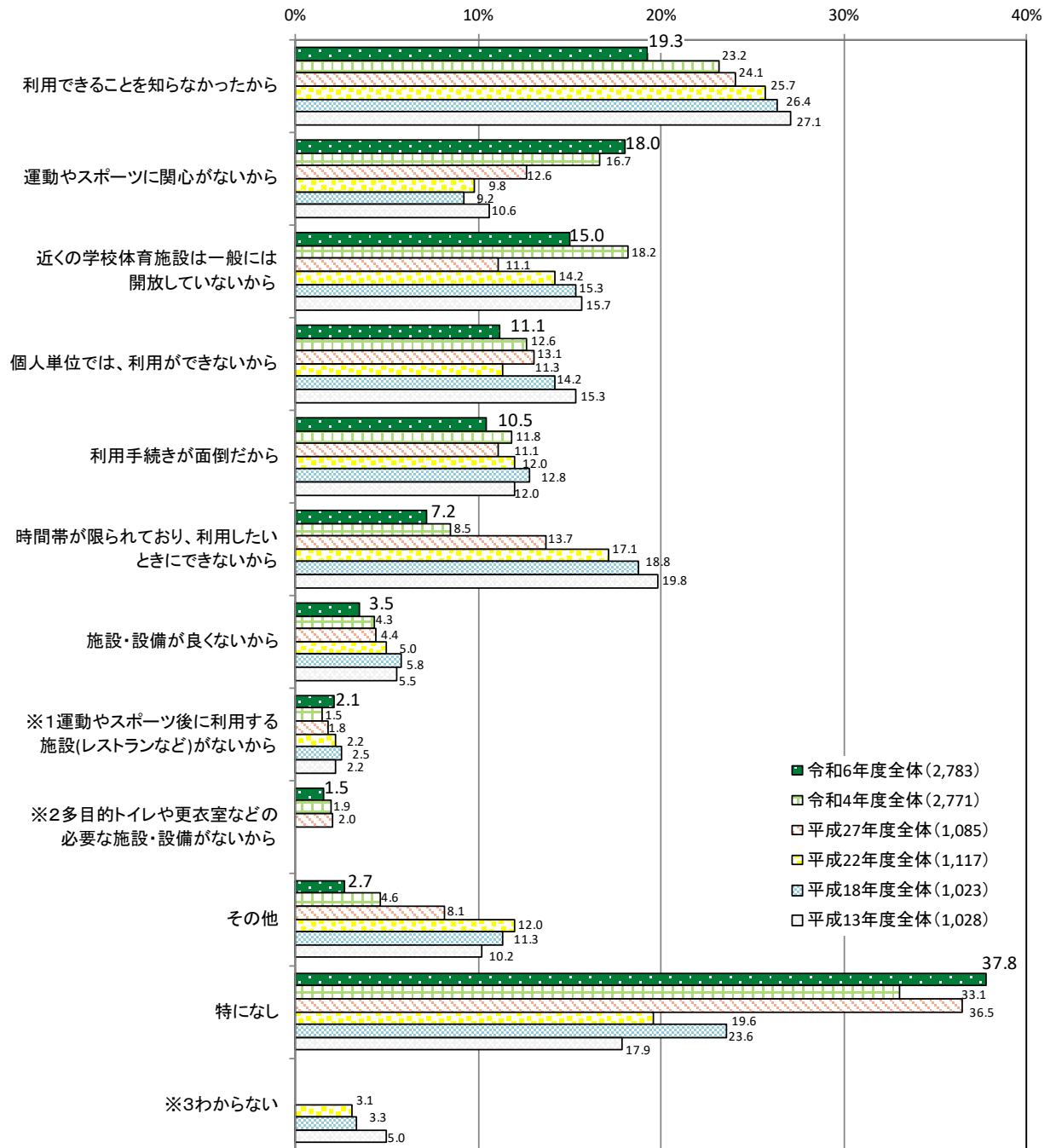
注）「オ 多目的トイレや更衣室など必要な施設・設備がないから」は平成27年度調査から追加、「わからない」は削除
「ケ 運動やスポーツ後に利用する施設（レストランなど）がないから」は令和４年度調査までは「アフタースポーツのための施設（レストランなど）がないから」、さらに平成22年度調査までは「スポーツをした後のいこいの場がないから」

この１年間で学校の体育施設（運動場、体育館、プールなど）を「利用しなかった」と答えた人（2,783人）に、この１年間に学校の体育施設を利用しなかった理由をたずねた（３つまで回答可）ところ、「利用できることを知らなかったから」19.3%が最も高いものの、平成13年度以降、低下が続いている。

「特になし」37.8%は、令和４年度の33.1%から4.7ポイント上昇した。

図表、次ページ参照

【図表 3－4：学校の体育施設を利用しなかった理由（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 令和4年度調査までは「アフタースポーツのための施設（レストランなど）がないから」、平成22年度調査までは「スポーツをした後のいい場がないから」

※2 平成27年度調査から追加

※3 平成27年度調査から削除

(5) 今後設置を希望するスポーツ施設

問6 (5) 今後、設置を希望するスポーツ施設は何ですか。3つまで選んでください。

ア	屋内プール	シ	弓道場
イ	屋外プール	ス	漕艇場・カヌー場
ウ	体育館	セ	射撃場
エ	多目的運動広場	ソ	卓球場
オ	陸上競技場	タ	スケート場
カ	野球場（ソフトボール場）	チ	キャンプ場
キ	テニスコート	ツ	フットサル場
ク	トレーニング場	テ	アーバンスポーツ施設
ケ	サッカー・ラグビー場	ト	その他（ ）
コ	ゴルフ場	ナ	特になし
サ	柔・剣道場		

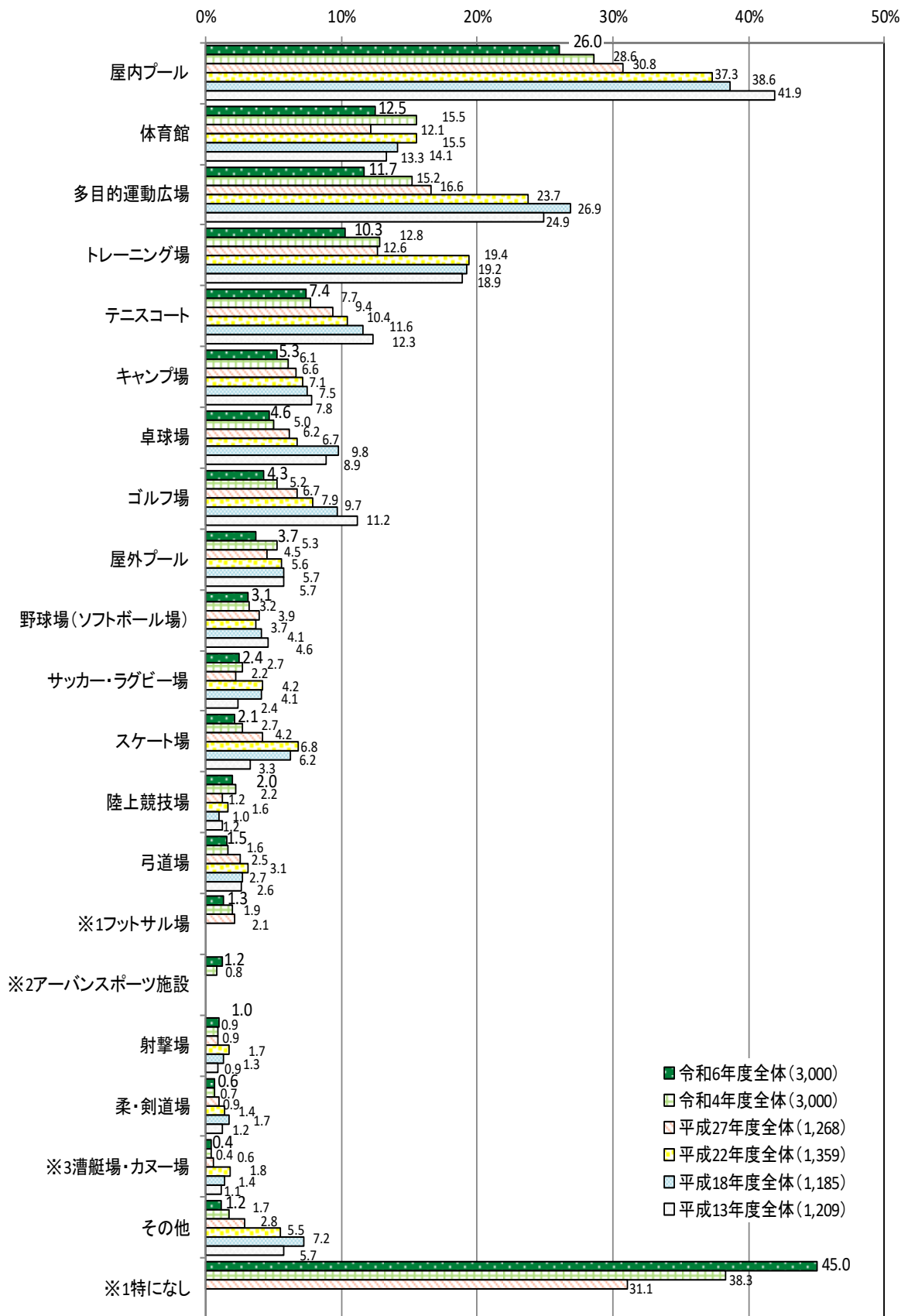
注) 「ス 漕艇場・カヌー場」は平成22年度調査までは別選択肢、「ツ フットサル場」「ナ 特になし」は平成27年度調査から追加、「テ アーバンスポーツ施設」は令和4年度調査までは「スケート場」

全員に、今後、設置を希望するスポーツ施設についてたずねた（３つまで回答可）ところ、「屋内プール」26.0%が最も高く、次いで「体育館」12.5%となった。

これまでの各年度の調査と比較すると、「屋内プール」と「テニスコート」は、低下が続いている。「特になし」は令和４年度から6.7ポイント上昇した。

図表、次ページ参照

【図表３－５：今後設置を希望するスポーツ施設（全体比較）／複数回答（３つまで）】



※1 平成27年度調査から追加

※2 「アーバンスポーツ施設」は令和4年度調査では「スケートボード場」

※3 平成22年度調査までの「漕艇場」と「カヌー場」データを合算

4 県・市町村のスポーツ施策

※ 平成27年度調査から実施（ただし「総合型地域スポーツクラブ」の認知については、平成22年度から実施）

（１）「総合型地域スポーツクラブ」の認知

問 7（１） 「総合型地域スポーツクラブ」※について知っていますか。1つだけ選んでください。

※ 「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が主体となって運営する多種目・多世代・多志向型のスポーツクラブのことを指します。

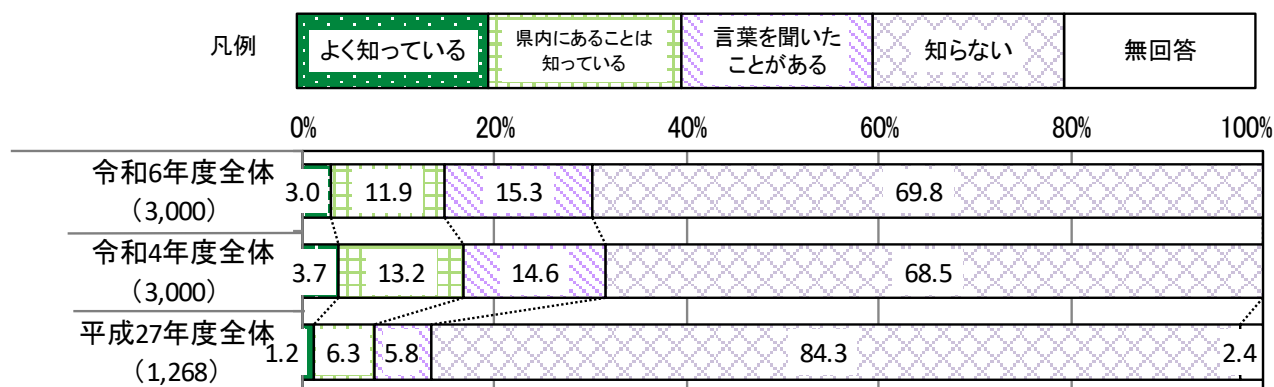
- ア 県内に総合型地域スポーツクラブがあることや仕組みや特徴も含め、よく知っている
- イ 県内に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている
- ウ 総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある
- エ 知らない

注）平成27年度調査から選択肢を変更

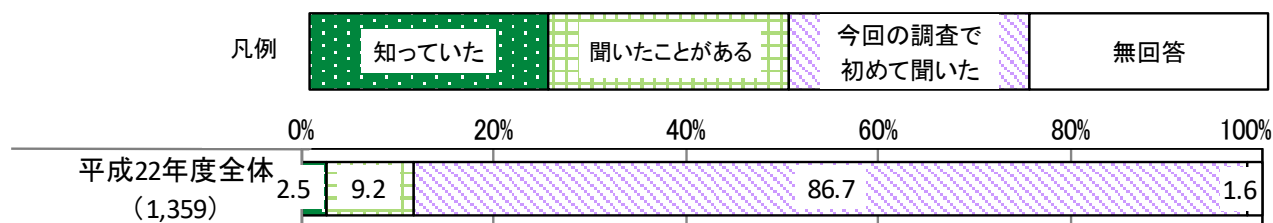
全員に、総合型地域スポーツクラブを知っているかたずねたところ、「知らない」が69.8%で、令和4年度の68.5%から1.3ポイント上昇した。

《認知群（「県内に総合型地域スポーツクラブがあることや仕組みや特徴も含め、よく知っている」＋「県内に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている」＋「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」）》は30.2%であり、令和4年度の31.5%から1.3ポイント低下した。

【図表 4－1：「総合型地域スポーツクラブ」の認知（全体比較）／単一回答】



※ 平成 27 年度調査から選択肢を変更



（２）「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況

問 7（２） 「総合型地域スポーツクラブ」の活動などに参加したことがありますか。

ア 参加したことがある

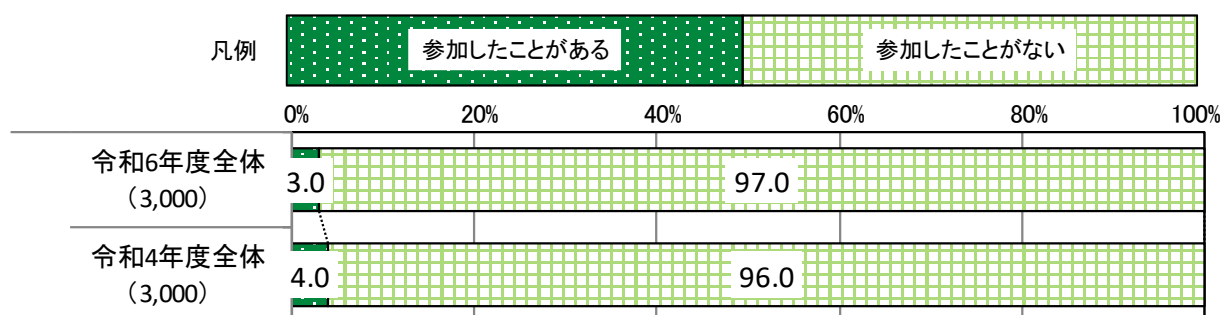
イ 参加したことがない

注）「問 7（２）総合型地域スポーツクラブの参加状況」に関する設問は、令和 4 年度調査から追加

全員に、「総合型地域スポーツクラブ」に参加したことがあるかたずねたところ、「参加したことがない」は97.0%、「参加したことがある」は3.0%であった。

「参加したことがない」は、令和 4 年度の96.0%から1.0ポイント上昇した。

【図表 4－2：「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況／単一回答】



(3) 「3033（サンマルサンサン）運動」の認知

問8 (1) 「3033（サンマルサンサン）運動」※について知っていますか。1つだけ選んでください。

※ 1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化することを、「3033（サンマルサンサン）運動」といいます。

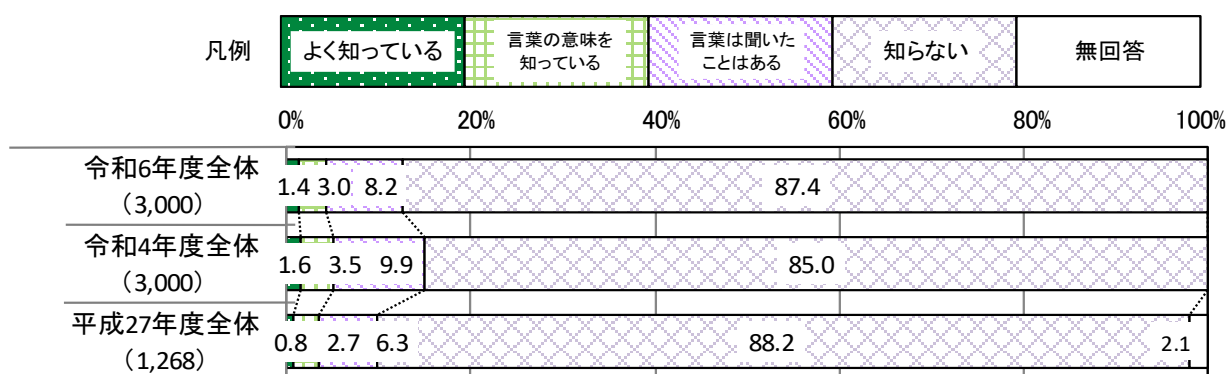
- ア 「3033運動」という言葉の意味、内容、効果について、よく知っている
 イ 「3033運動」という言葉の意味を知っている
 ウ 「3033運動」という言葉は聞いたことはある
 エ 知らない

問9へ進む

全員に、「3033運動」を知っているかたずねたところ、「知らない」が87.4%で、令和4年度の85.0%から2.4ポイント上昇した。

《認知群（「3033運動」という言葉の意味、内容、効果について、よく知っている」＋「3033運動」という言葉の意味を知っている」＋「3033運動」という言葉は聞いたことはある）》は12.6%であり、令和4年度の15.0%から2.4ポイント低下した。

【図表4-3：「3033（サンマルサンサン）運動」の認知（全体比較）／単一回答】



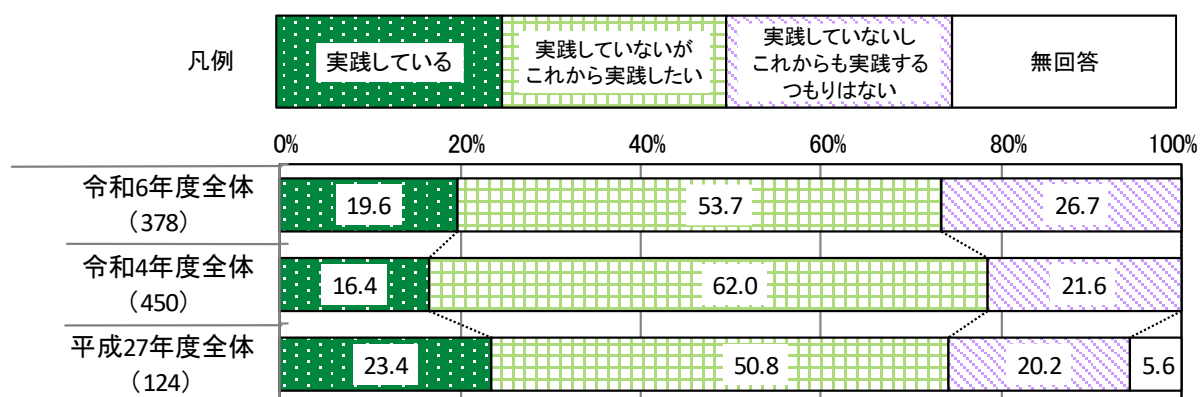
（４）「3033（サンマルサンサン）運動」の実践

問８（２）「3033（サンマルサンサン）運動」を実践していますか。 1つだけ選んでください。

- ア 実践している
- イ 実践していないが、これから実践したい
- ウ 実践していないし、これからも実践するつもりはない

〔問８（１）〕でアまたはイまたはウと答えた人（378人）に、「3033運動」を実践しているかたずねたところ、「実践していないが、これから実践したい」53.7%は、令和４年度の62.0%から8.3ポイント低下し、「実践している」19.6%は、令和４年度の16.4%から3.2ポイント上昇した。

【図表４－４：「3033（サンマルサンサン）運動」の実践（全体比較）／単一回答】



（５）「県民スポーツ月間」の認知

問 9 「県民スポーツ月間」※について知っていますか。1つだけ選んでください。

※ スポーツの日がある10月を「県民スポーツ月間」として設定し、スポーツに親しむきっかけづくりとして全県的に定着・充実・発展するよう様々な取組をしています。

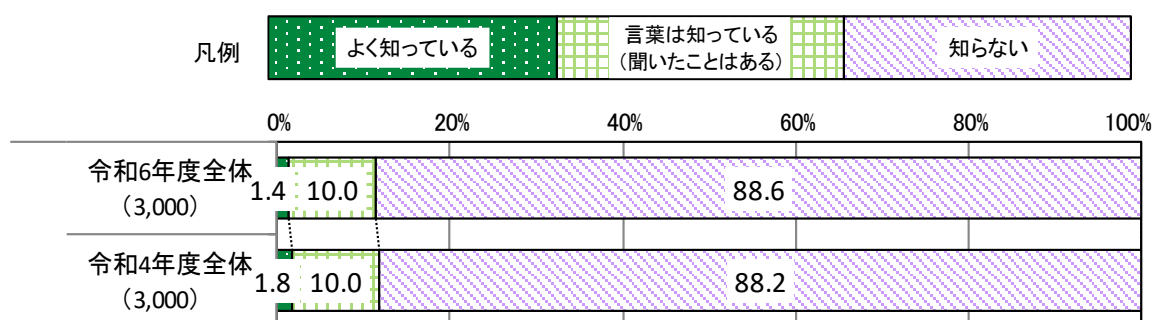
- ア 「県民スポーツ月間」という言葉、時期、内容について、よく知っている
- イ 「県民スポーツ月間」という言葉は知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

全員に「県民スポーツ月間」を知っているかたずねたところ、「知らない」が88.6%であった。

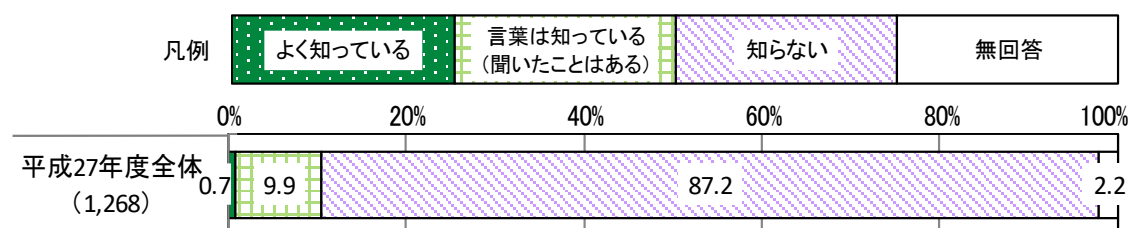
《認知群（「県民スポーツ月間」という言葉、時期、内容について、よく知っている＋「県民スポーツ月間」という言葉は知っている（聞いたことはある）」》は、11.4%であり、令和4年度の11.8%と比較すると、《認知群》で0.4ポイント低下した。

注）平成27年度は「県民スポーツ週間の認知」についてたずねる設問であったが、令和4年度調査からは「県民スポーツ月間の認知」についてたずねる設問へ変更している。

【図表４－５（１）：「県民スポーツ月間」の認知（全体）／単一回答】



【図表４－５（２）：「県民スポーツ週間」の認知（全体）／単一回答】



※ 平成27年度調査では「県民スポーツ週間」の認知をたずねている

（６）運動・スポーツ行事・教室について

ア 県・市町村主催のスポーツ行事参加状況

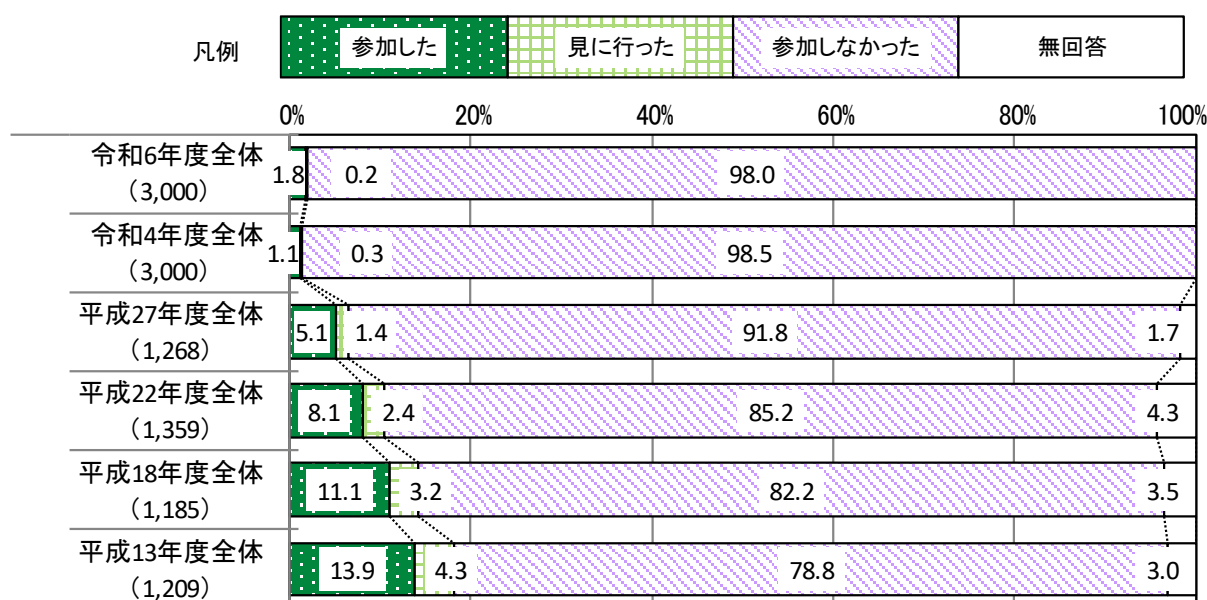
問10（１） この１年間に県や市町村が主催するスポーツ行事に参加したことがありますか。
1つだけ選んでください。（行事名または内容を記入してください）

- ア 参加した （参加した行事名または内容_____）
 イ 見に行った （見に行った行事名または内容_____）
 ウ 参加しなかった

全員に、この１年間の県や市町村が主催するスポーツ行事への参加状況をたずねたところ、「参加しなかった」98.0%が最も高く、次いで「参加した」1.8%、「見に行った」0.2%となった。

「参加した」は令和４年度の1.1%と比較すると、0.7ポイント上昇した。

【図表４－６：県・市町村主催のスポーツ行事参加状況（全体比較）／単一回答】



イ 県・市町村主催のスポーツ教室参加状況

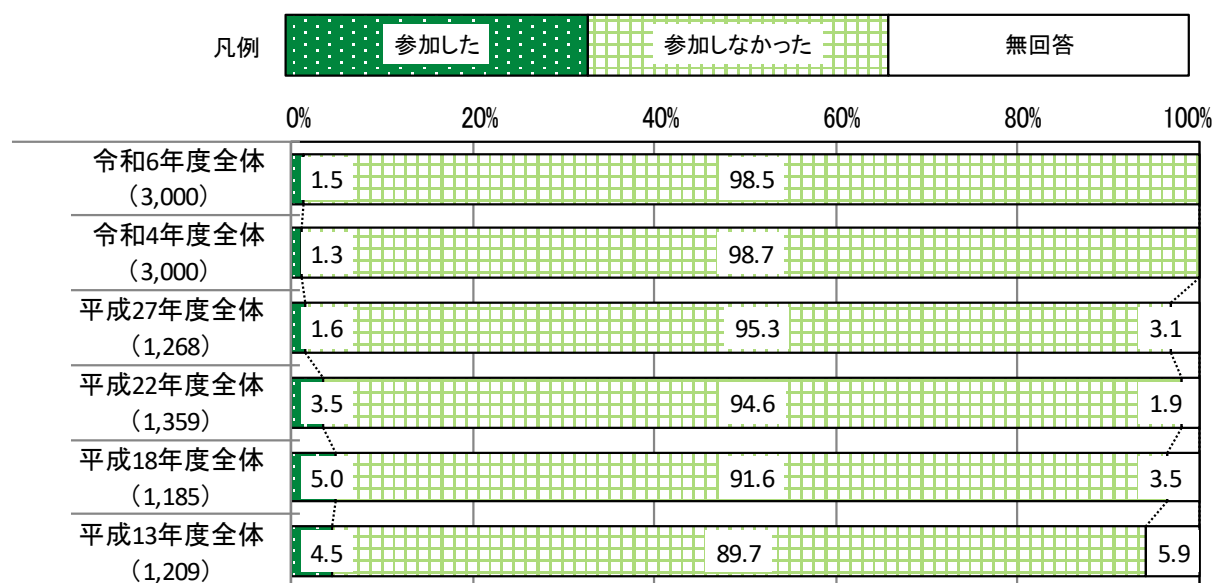
問10（2） この1年間に県や市町村が主催するスポーツ教室に参加したことがありますか。
(参加したスポーツ種目を記入してください)

- ア 参加した (参加した種目)
イ 参加しなかった

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ教室への参加状況をたずねたところ、「参加しなかった」が98.5%、「参加した」が1.5%であった。

「参加した」は令和4年度の1.3%と比較すると、0.2ポイント上昇した。

【図表4-7：県・市町村主催のスポーツ教室参加状況（全体比較）／単一回答】



ウ 県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向

問10(3) スポーツ行事やスポーツ教室に参加したいと思いますか。1つだけ選んでください。
(ア、イを選んだ場合はどのようなスポーツ行事や教室に参加したいか記入してください)

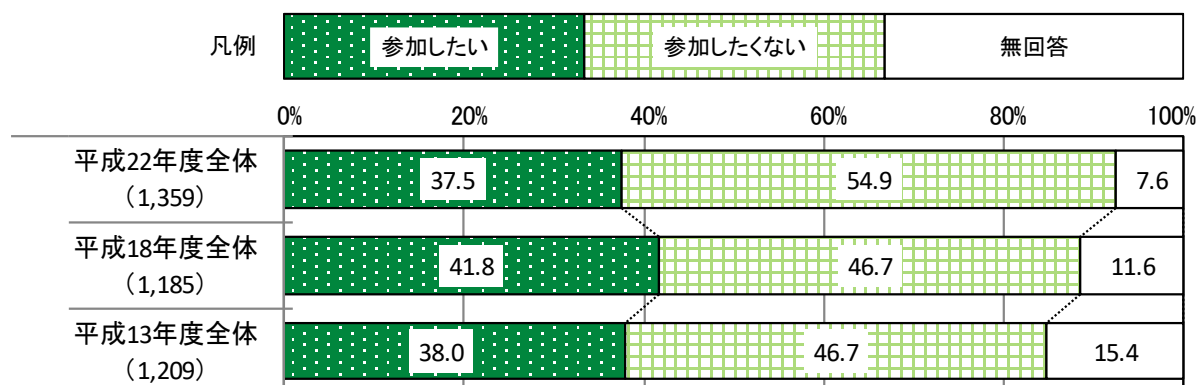
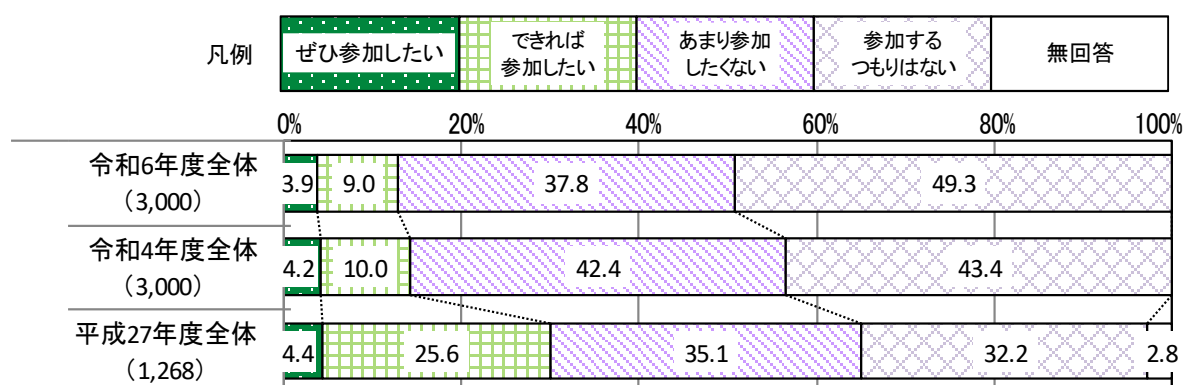
- ア ぜひ参加したい → 参加したいスポーツ行事や教室 ()
 イ できれば参加したい
 ウ あまり参加したくない
 エ 参加するつもりはない

注) 平成22年度調査までは「参加したい」「参加したくない」の2つの選択肢であったが、平成27年度から4つの選択肢とした。

全員に、今後の県や市町村が主催するスポーツ教室への参加意向をたずねたところ、《参加したい群(「ぜひ参加したい」+「できれば参加したい」)》が12.9%で令和4年度の14.2%から1.3ポイント低下した。

《参加したくない群(「あまり参加したくない」+「参加するつもりはない」)》が87.1%であった。

【図表4-8：県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向（全体比較）／単一回答】



（７）神奈川県スポーツ推進にかかる取組について

ア 「神奈川県スポーツ推進条例」の認知

問11（１） 「神奈川県スポーツ推進条例」について知っていますか。 1つだけ選んでください。

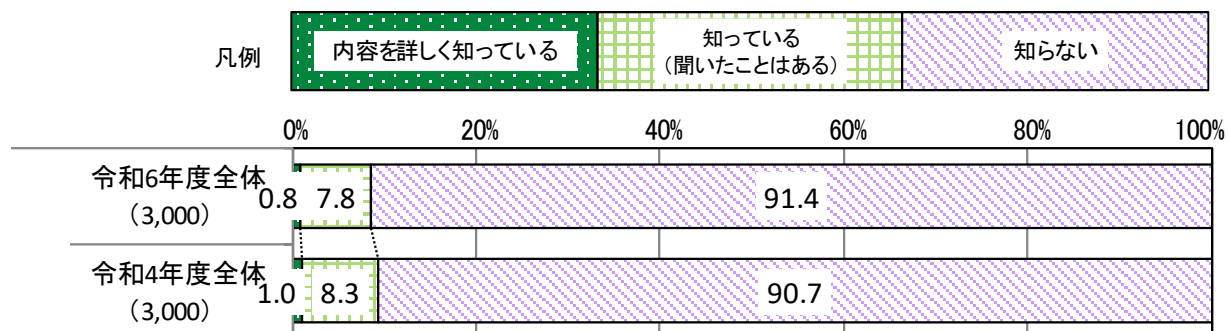
- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

注）「問11（１）神奈川県スポーツ推進条例の認知状況」に関する設問は、令和４年度調査から追加

全員に、「神奈川県スポーツ推進条例」について知っているかたずねたところ、「内容を詳しく知っている」が0.8%、「知らない」が91.4%であった。

《知っている群（「内容を詳しく知っている」＋「知っている（聞いたことはある）」）》が8.6%、で令和４年度の9.3%から0.7ポイント低下した。

【図表４－９：「神奈川県スポーツ推進条例」の認知／単一回答】



イ 「神奈川県スポーツ推進計画」の認知

問11（2） 「神奈川県スポーツ推進計画」について知っていますか。 1つだけ選んでください。

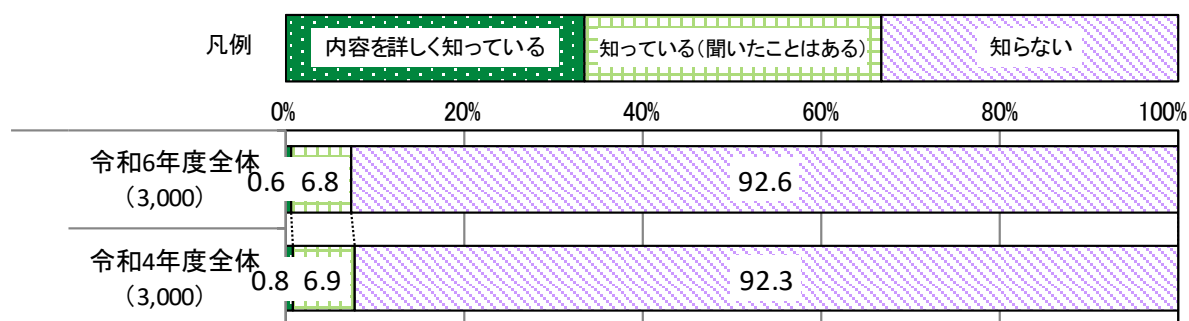
- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

注）「問11（2）神奈川県スポーツ推進計画の認知状況」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、「神奈川県スポーツ推進計画」について知っているかたずねたところ、「内容を詳しく知っている」が0.6%、「知らない」が92.6%であった。

《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が7.4%、で令和4年度の7.7%から0.3ポイント低下した。

【図表4-10：「神奈川県スポーツ推進計画」の認知／単一回答】



ウ 「かながわパラスポーツ」の認知

問11（3） 「かながわパラスポーツ」について知っていますか。 1つだけ選んでください。

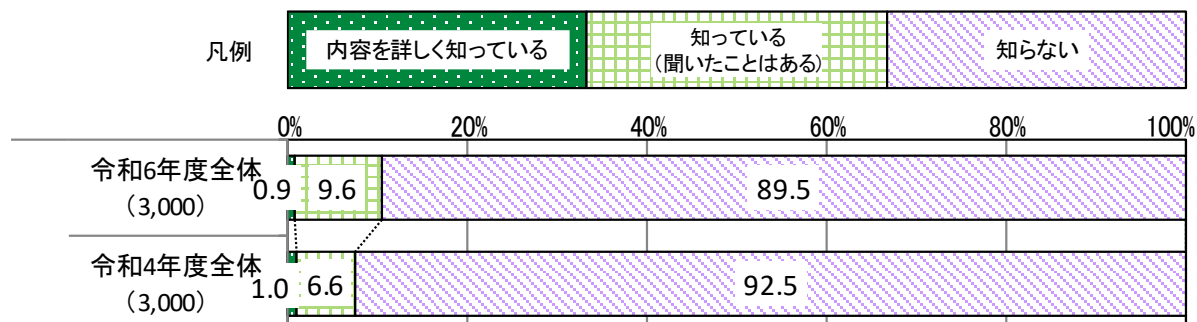
- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

注）「問11（3）かながわパラスポーツの認知状況」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、「かながわパラスポーツ」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が10.5%、「知らない」が89.5%であった。

「知らない」は、令和4年度の92.5%から3.0ポイント低下した。

【図表4-11：「かながわパラスポーツ」の認知／単一回答】



5 スポーツ全般についての意見

(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ

問12 運動やスポーツに関してどのような情報が欲しいですか。 3つまで選んでください。

- ア スポーツ行事やスポーツイベントの情報
- イ 自分が参加できるスポーツ競技会の情報
- ウ 高齢者や障害のある方が参加しやすいイベントや教室の情報
- エ 各種スポーツ教室の案内
- オ スポーツ施設の案内
- カ 各種スポーツ指導者の紹介
- キ 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報
- ク クラブ・同好会などの活動案内
- ケ 健康・体力づくり情報
- コ スポーツに関する医学的・科学的情報
- サ その他（ ）
- シ 特になし

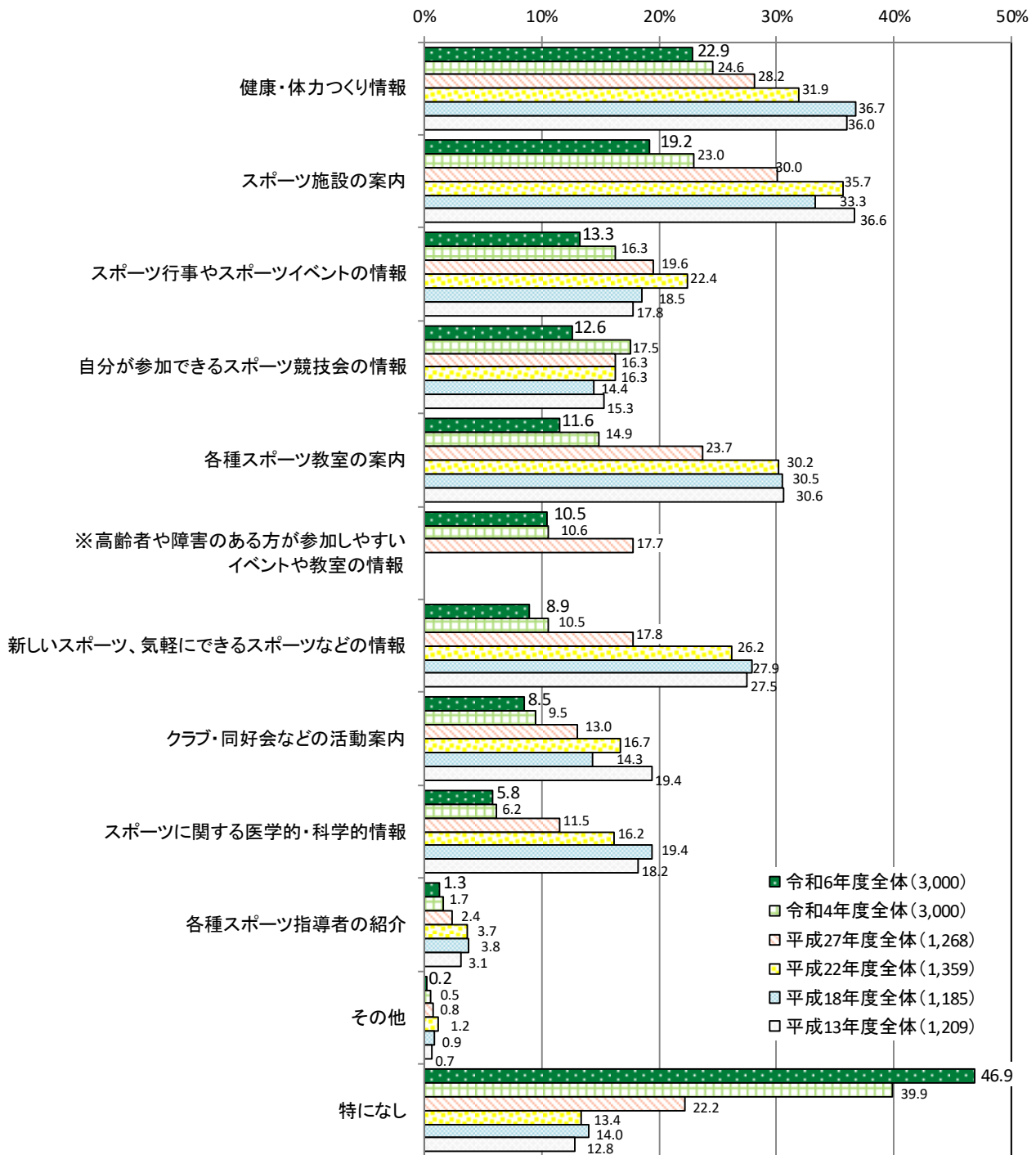
注) 「ウ 高齢者や障害のある方が参加しやすいイベントや教室の情報」は平成27年度調査から追加

全員に、運動やスポーツに関する欲しい情報についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力づくり情報」22.9%が最も高く、次いで「スポーツ施設の案内」19.2%となっているが、いずれも低下が続いている。

「特になし」は46.9%となっており、過去調査の中で最も高かった。

図表、次ページ参照

【図表５－１：運動・スポーツ関連情報ニーズ／複数回答（３つまで）】



※ 平成 27 年度調査から追加

（２）運動やスポーツのクラブ・同好会・サークルなどについて

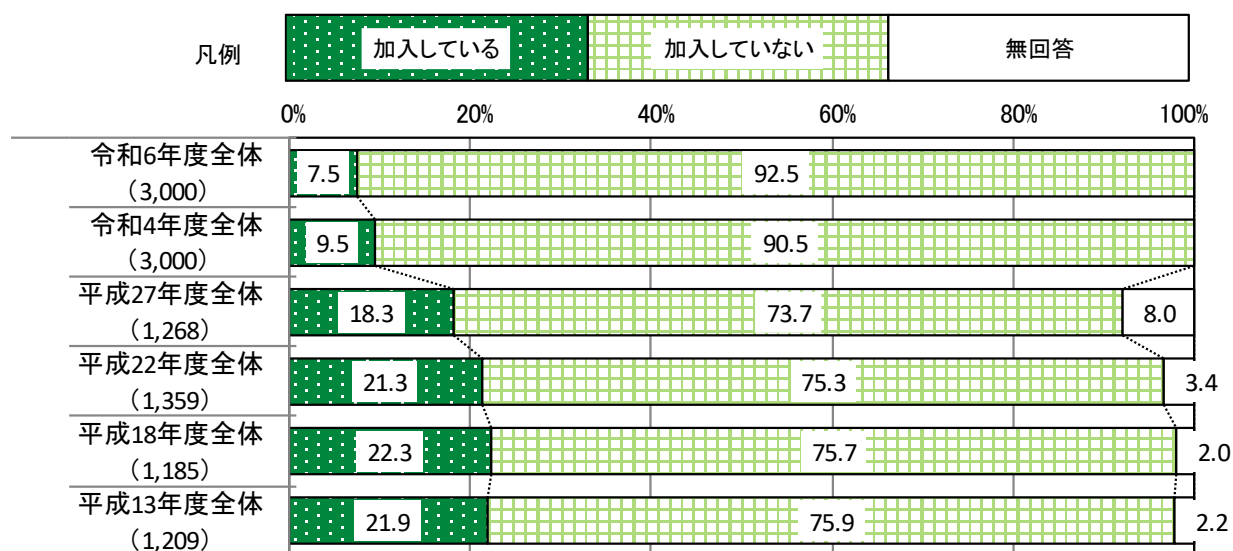
ア クラブなどへの加入状況

問13（１） クラブなどに加入していますか。

ア 加入している イ 加入していない → 問13（５）へ進む

全員に、クラブなどへの加入状況をたずねたところ、「加入していない」が92.5%であった。「加入している」は7.5%で、令和４年度の9.5%から2.0ポイント低下し、平成18年度以降低下し続けている。

【図表５－２：クラブなどへの加入状況（全体比較）／単一回答】



イ 加入しているクラブなどの種類

問13（2） 加入しているクラブなどは、どのようなものですか。当てはまるものすべて選んでください。

- ア 職場のクラブ・同好会
- イ 学校のクラブ・同好会
- ウ 仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）
- エ 県内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- オ 市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- カ 総合型地域スポーツクラブ
- キ 民間スポーツ施設の会員制のクラブ
- ク その他

注）「ウ 仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）」は平成27年度調査から追加、

「カ 総合型地域スポーツクラブ」は平成22年度調査から追加、

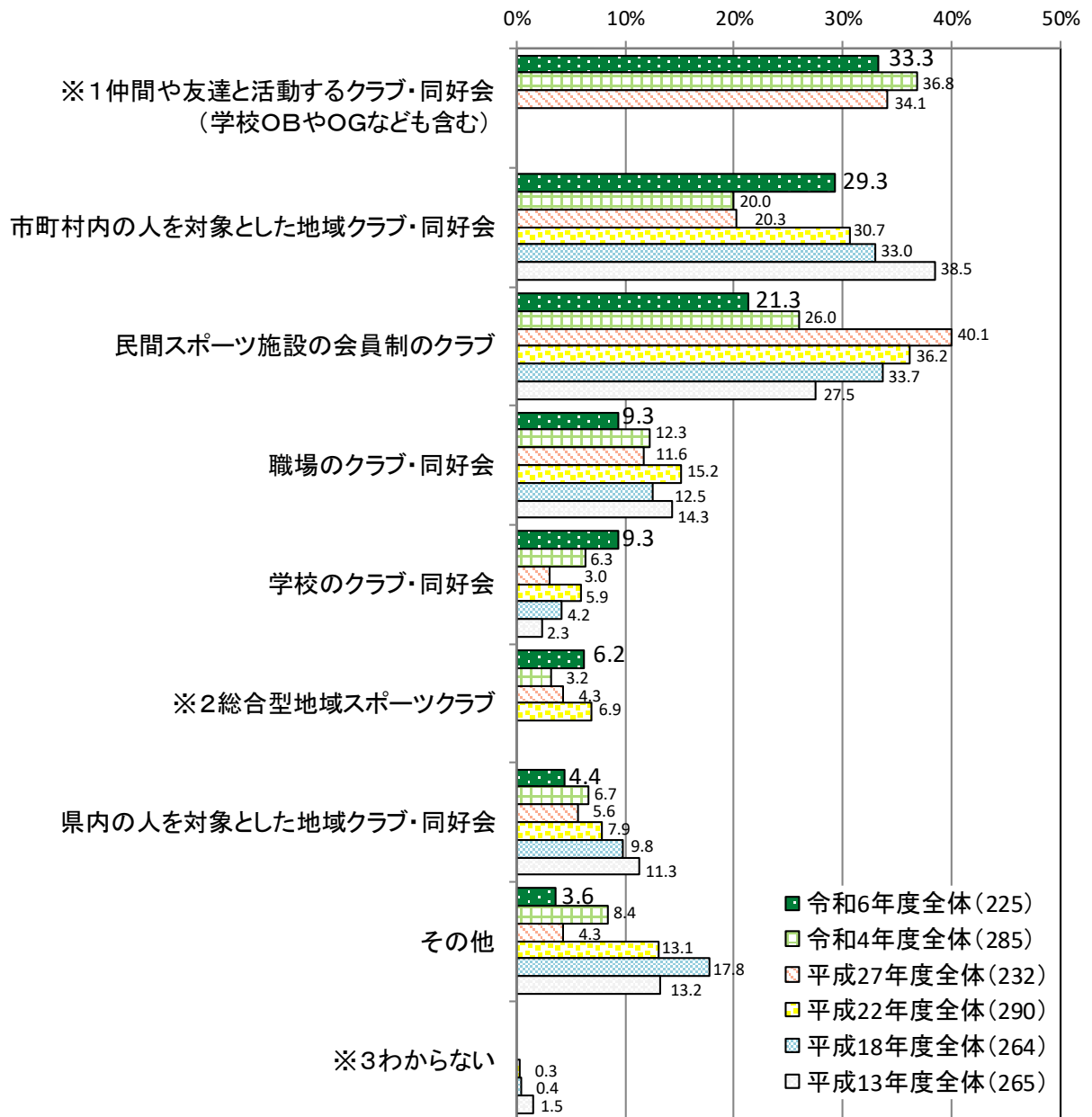
「わからない」は平成27年度調査から削除

クラブなどに「加入している」と答えた人（225人）に、加入しているクラブなどについてたずねた（複数回答可）ところ、「仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）」33.3%が最も高く、次いで「市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会」29.3%となった。

「市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会」は、令和4年度の20.0%から9.3ポイント上昇した。

図表、次ページ参照

【図表 5－3：加入しているクラブなどの種類（全体比較）／複数回答】



※1 平成 27 年度調査から追加

※2 平成 22 年度調査から追加

※3 平成 27 年度調査から削除

ウ クラブなどが行っているスポーツ（種目）

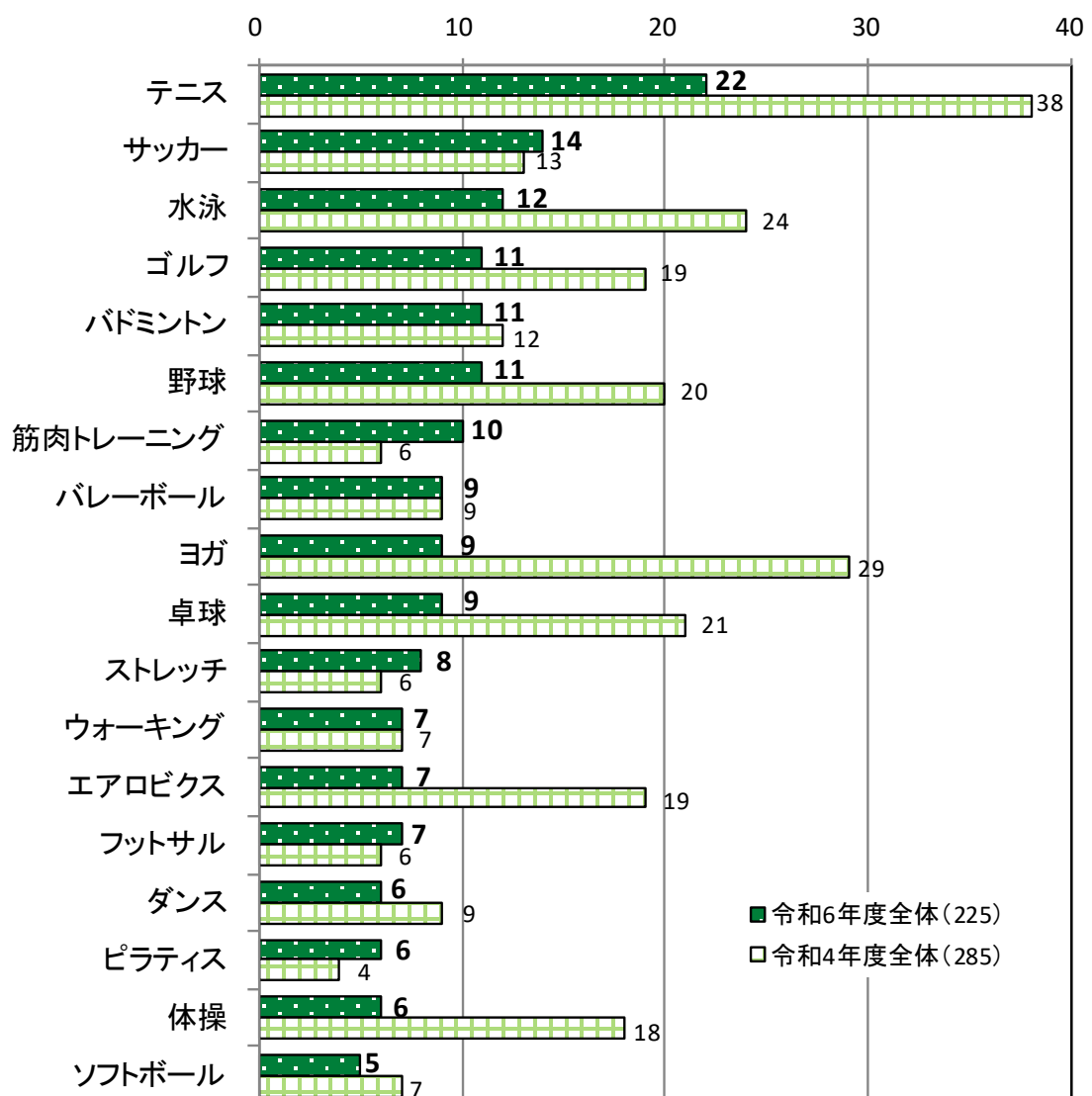
問13（3） 加入しているクラブなどには、どのようなスポーツ（種目）がありますか。（3つまで記入してください）

注）「問13（3）クラブなどが行っているスポーツ（種目）」に関する設問は、令和4年度調査から追加
回答件数が4件以上あった種目を示した。なお、自由記述による回答件数は399件であった。

クラブなどに「加入している」と答えた人（225人）にクラブなどが行っているスポーツ（種目）についてたずねた（3つまで回答可）ところ、テニス（22件）が最も多く、次いでサッカー（14件）、水泳（12件）となった。

テニスは、令和4年度の38件から16件低下し、ヨガは、令和4年度の29件から9件と大幅に低下した。

【参考図表】



エ クラブなどへの加入動機及び目的

問13（４） クラブなどに加入した動機や目的は何ですか。 3つまで選んでください。

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| ア 継続してできるから | カ 健康・体力づくりのため |
| イ 場所が優先的に利用できるから | キ スポーツが好きだから |
| ウ 施設用具などが完備しているから | ク 技術を習得できるから |
| エ 指導者がいるから | ケ その他（ ） |
| オ 親睦のため（仲間との交流） | |

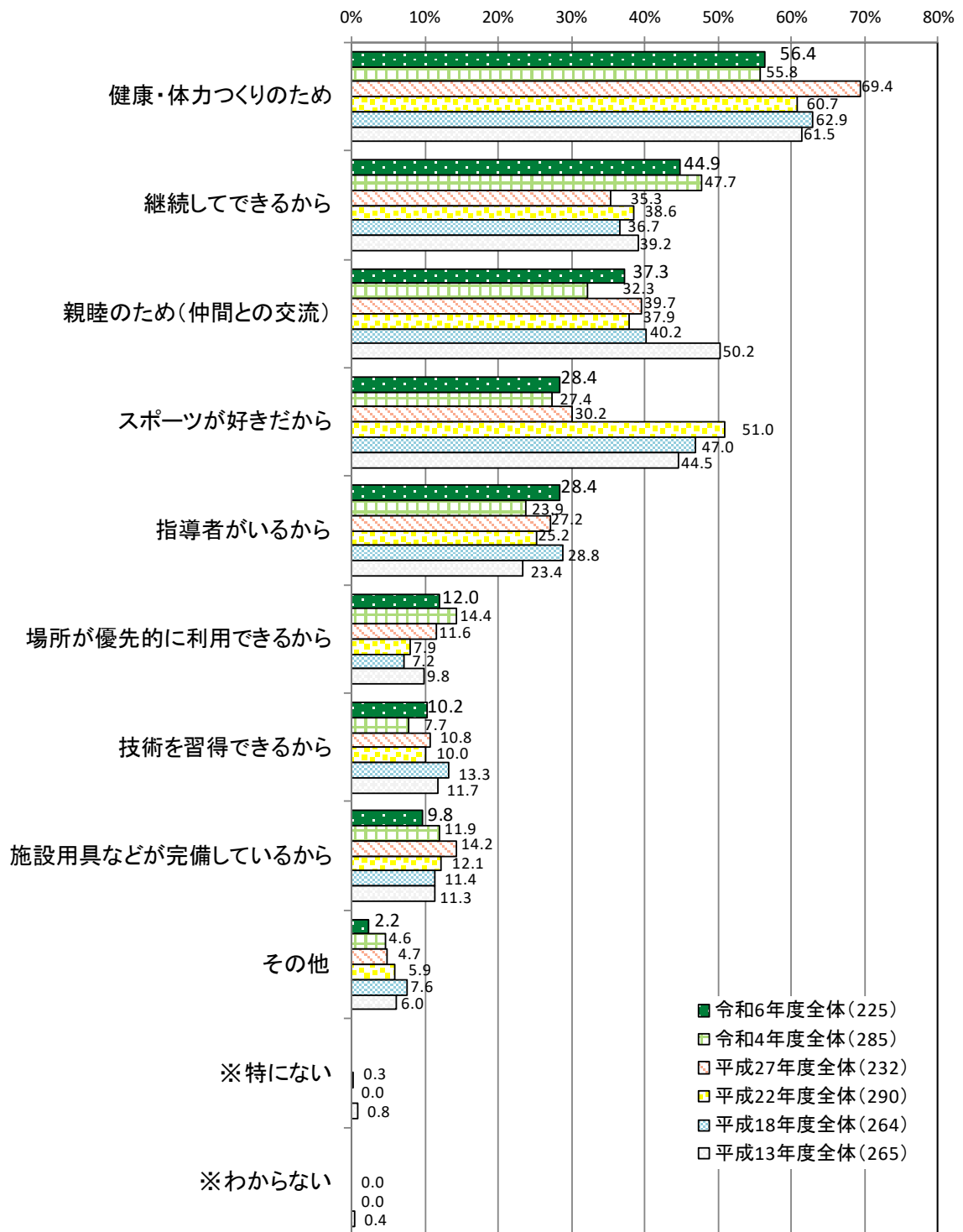
注）「特にない」「わからない」は平成27年度調査から削除

クラブなどに「加入している」と答えた人（225人）に、そのクラブなどに加入した動機や目的についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力づくりのため」56.4%が最も高く、次いで「継続してできるから」44.9%となった。

「親睦のため（仲間との交流）」37.3%は、令和4年度の32.3%から5.0ポイント上昇した。

図表、次ページ参照

【図表 5－4：クラブなどへの加入動機及び目的（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※ 平成 27 年度調査から削除

オ 現非加入者の今後の加入意向

問13（5）好きなクラブなどがあれば加入したいと思いますか。1つだけ選んでください。

- ア ぜひ加入したい
- イ できれば加入したい
- ウ あまり加入したくない
- エ 加入するつもりはない

問14（1）へ進む

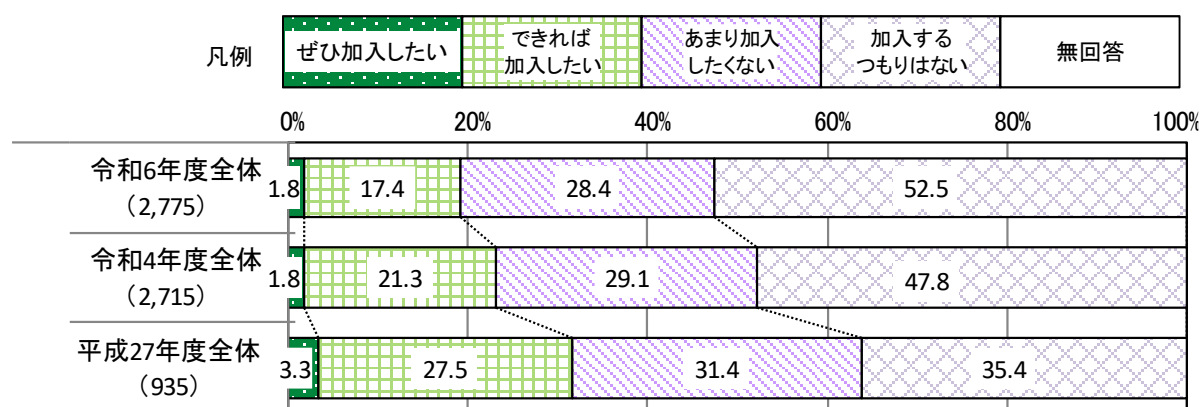
注）平成22年度調査までは「加入したい」「加入したくない」「わからない」の3つの選択肢であったが、平成27年度調査から4つの選択肢とした。

クラブなどに「加入していない」と答えた人2,775人に、好きな運動やスポーツのクラブなどへの加入意向をたずねたところ、《加入したい群（「ぜひ加入したい」＋「できれば加入したい」）》が19.2%で、令和4年度の23.1%から3.9ポイント低下した。

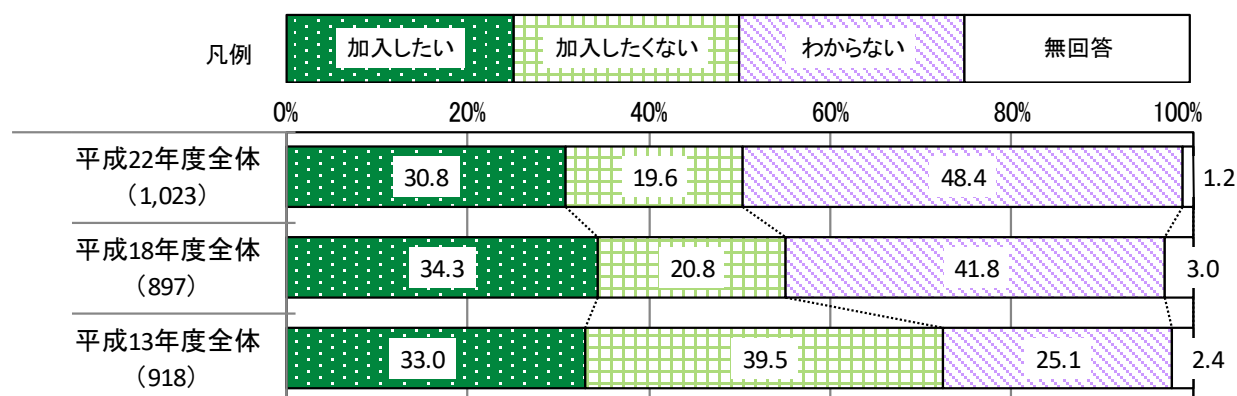
《加入したくない群（「あまり加入したくない」＋「加入するつもりはない」）》は、80.9%であった。

「加入するつもりはない」は52.5%で、令和4年度の47.8%から4.7ポイント上昇した。

【図表5－5：現非加入者の今後の加入意向（全体比較）／単一回答】



※ 平成27年度調査から選択肢を変更



カ 加入したいクラブなど

問13（6） 加入したいクラブなどとは、どのようなものですか。3つまで選んでください。

- ア 職場のクラブ・同好会
- イ 学校のクラブ・同好会
- ウ 仲間や友達と活動するクラブ（学校OBやOGなども含む）
- エ 県内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- オ 市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- カ 総合型地域スポーツクラブ
- キ 民間スポーツ施設の会員制のクラブ
- ク その他（ ）

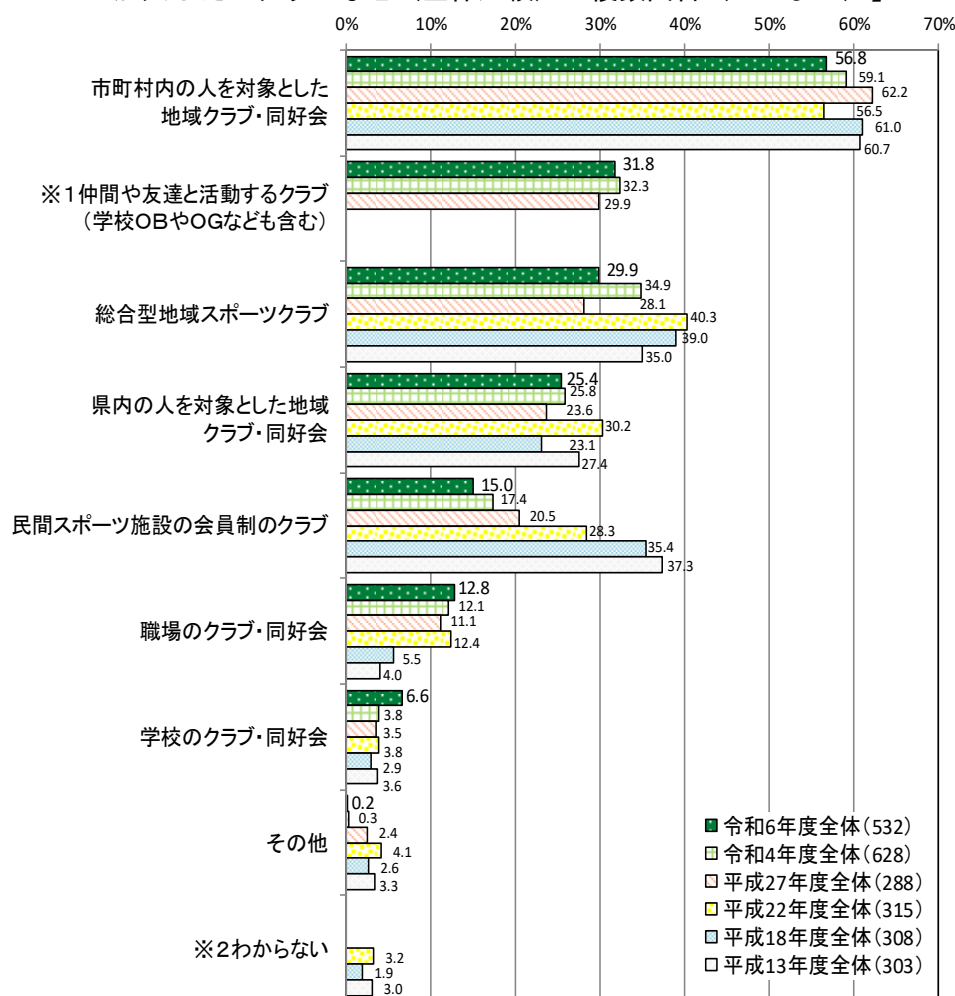
注）「ウ 仲間や友達と活動するクラブ（学校OBやOGなども含む）」は平成27年度調査から追加

「わからない」は平成27年度調査から削除

好きなクラブなどがあれば「ぜひ加入したい」または「できれば加入したい」と答えた人（532人）に、加入したいクラブなどについてたずねた（3つまで回答可）ところ、「市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会」56.8%が最も高かったが、令和4年度の59.1%から2.3ポイント低下した。

また、「総合型地域スポーツクラブ」29.9%は、令和4年度の34.9%から5.0ポイント低下した。

【図表5-6：加入したいクラブなど（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成27年度調査から追加

※2 平成27年度調査から削除

（３）スポーツ観戦について

ア スポーツ観戦への関心

問14（１） スポーツ観戦について関心がありますか。

ア ある

イ ない

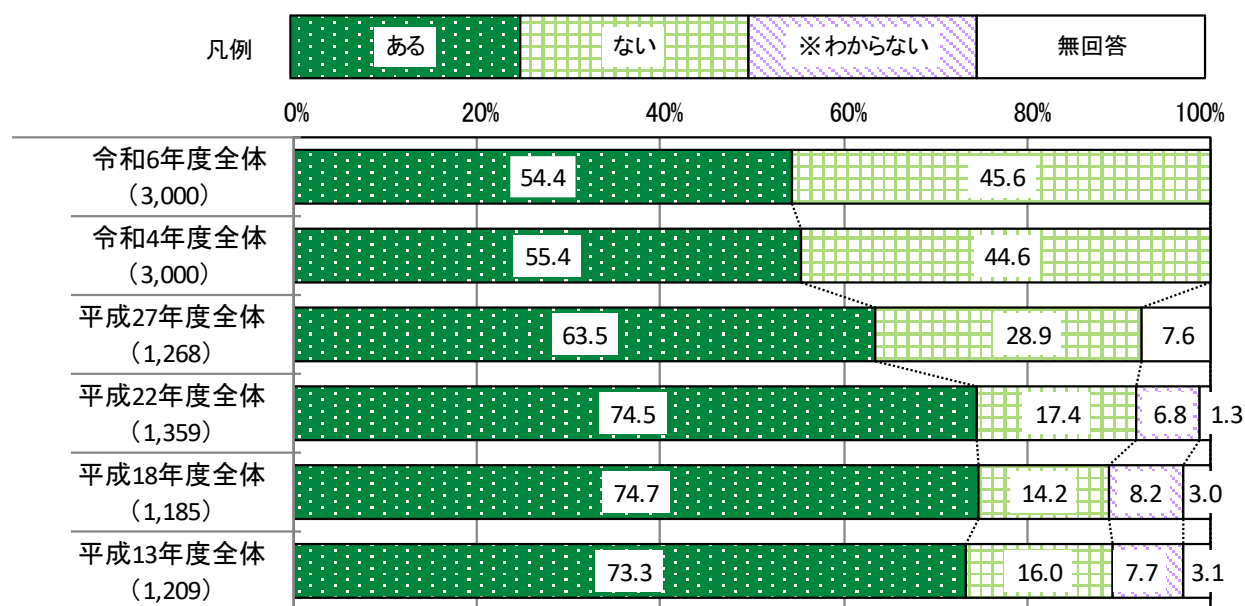


問14（４）へ進む

注）「わからない」は平成27年度調査から削除

全員に、スポーツ観戦への関心についてたずねたところ、「ある」が54.4%、「ない」は45.6%であった。

「ある」は、令和４年度の55.4%から1.0ポイント低下し、平成18年度以降低下が続いている。



※ 平成27年度調査から削除

イ スポーツ観戦経験

問14（２） この１年間で直接会場へ行ってスポーツ観戦をしましたか。

ア した

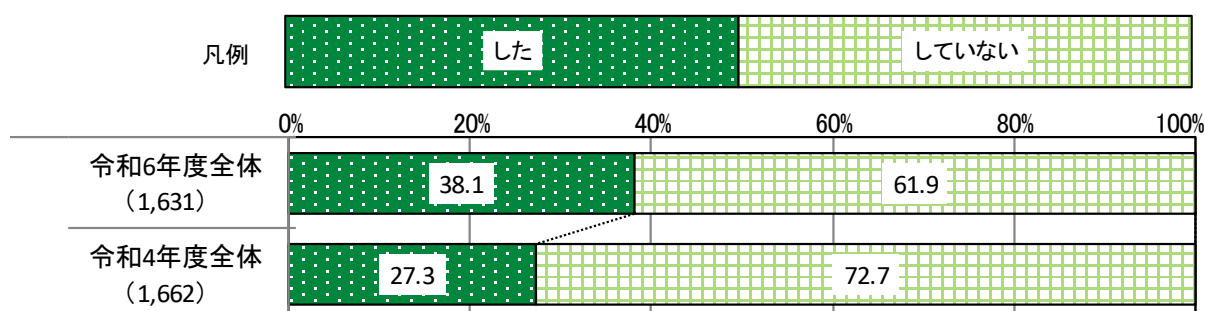
イ していない

注）「わからない」は令和４年度調査から削除

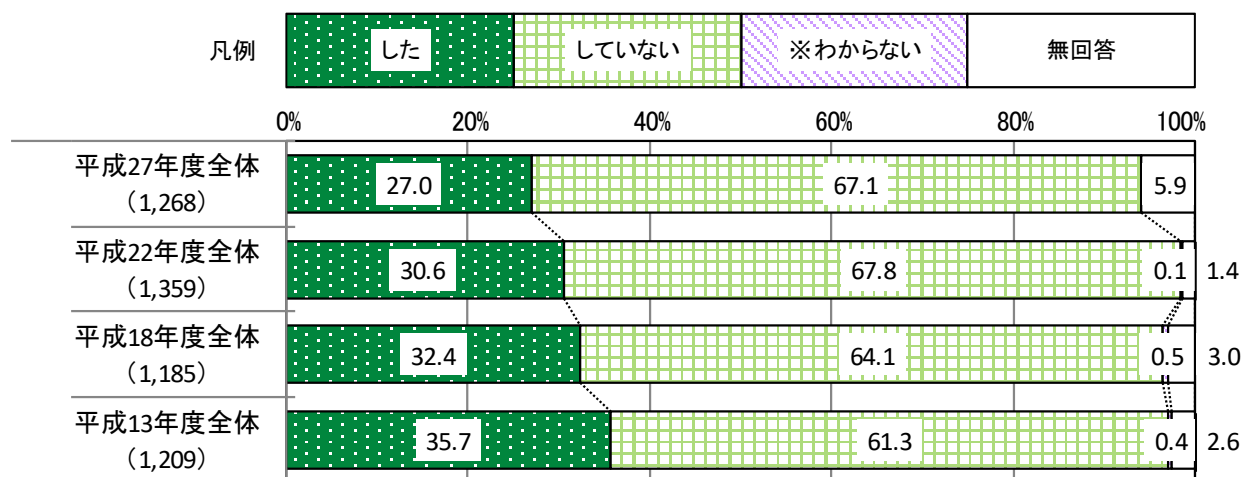
スポーツ観戦について関心が「ある」と答えた人（1,631人）に、この１年間で直接会場へ行ってスポーツ観戦をしたかどうかたずねたところ、「した」が38.1%、「していない」が61.9%であった。

「した」は、令和４年度の27.3%から10.8ポイントと大幅に上昇した。

【図表５－８：スポーツ観戦経験（全体比較）／単一回答】



※ 令和４年度調査から選択肢を変更



※ 平成 27 年度調査から削除

ウ 会場で直接観戦をしたいスポーツの規模

問14（3） 直接会場へ行ってスポーツ観戦をするとしたら、どのような規模のスポーツ観戦をしたいですか。2つまで選んでください。

- ア オリンピックやパラリンピックなど国際大会
- イ 国内のプロスポーツ
- ウ 全国レベルの大会
- エ 県レベルの大会
- オ その他（ ）
- カ 特になし

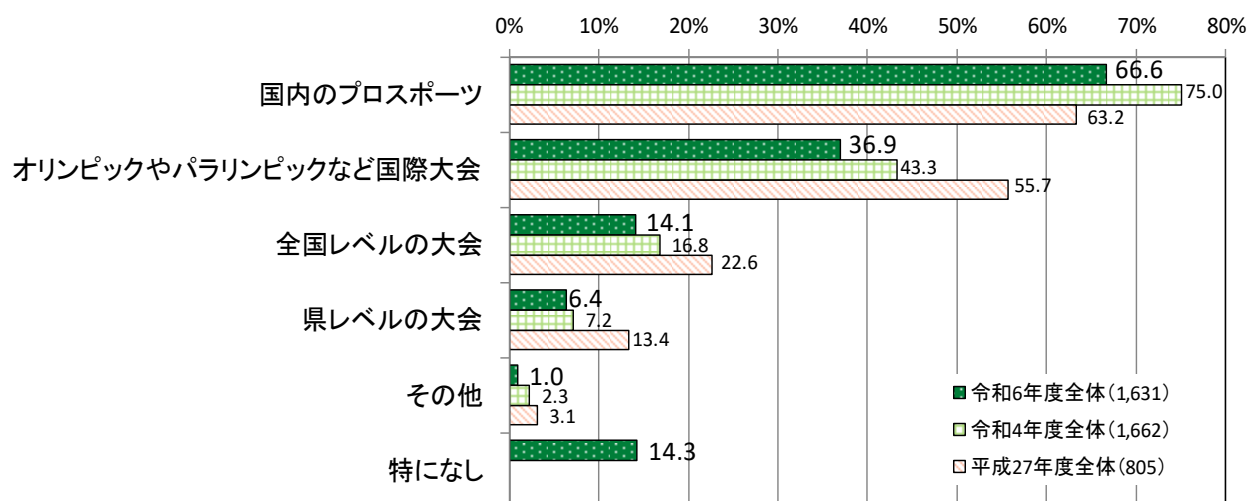
注）「問14（3）希望するスポーツ観戦規模」に関する設問は、平成27年度調査から、問14（1）で関心が「ある」と回答した方のみに設定

スポーツ観戦について関心が「ある」と答えた人1,631人に、会場で直接観戦をしたいスポーツの規模についてたずねた（2つまで回答可）ところ、「国内のプロスポーツ」66.6%が最も高く、次いで「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」36.9%となった。

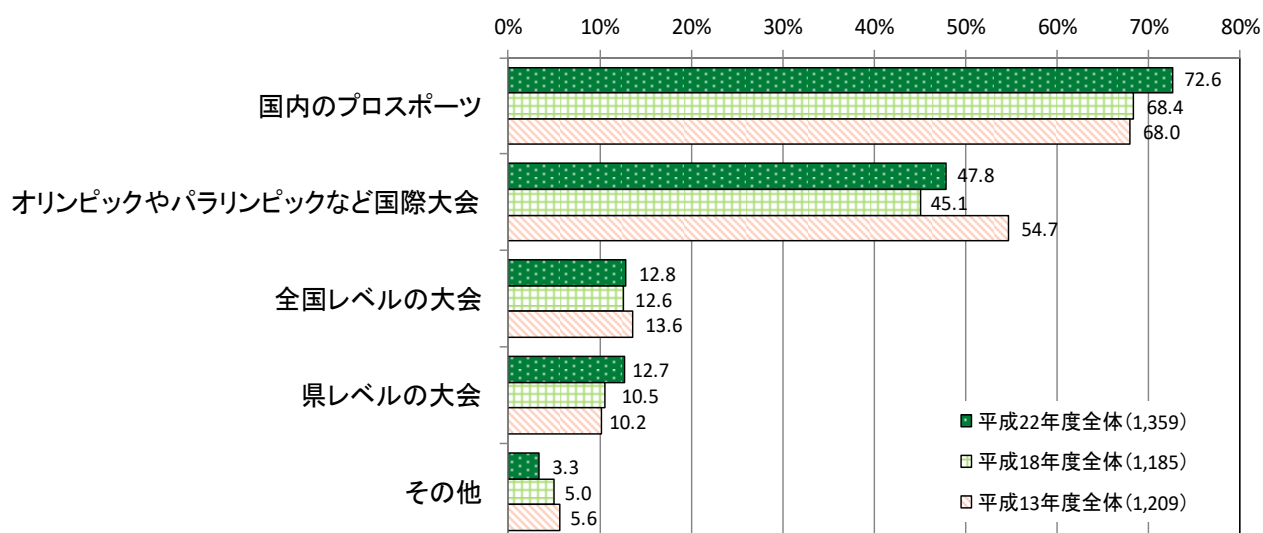
「国内のプロスポーツ」は、令和4年度の75.0%と比較すると、8.4ポイント低下した。

図表、次ページ参照

【図表 5－9：会場で直接観戦をしたいスポーツの規模（全体比較）／複数回答（２つまで）】



※ 平成 27 年度調査から該当者を変更



※ 平成 22 年度調査までは、全員に回答を求めている

エ 会場で直接観戦をしたいスポーツの競技

問14（４） 直接会場へ行ってスポーツ観戦をするとしたら、どのような競技を観戦したいですか。3つまで選んでください。（ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください）

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| ア 陸上競技 | ス ラグビー |
| イ マラソン | セ その他の球技スポーツ
(種目名) |
| ウ 水泳競技 | ソ アーバンスポーツ※
(種目名) |
| エ 柔道、剣道、相撲、空手 | タ 障害者スポーツ (パラスポーツ)
(種目名) |
| オ ボクシング、レスリング | チ その他のスポーツ
(種目名) |
| カ 弓道、アーチェリー | ツ 特になし |
| キ セーリング | |
| ク 野球、ソフトボール | |
| ケ サッカー、フットサル | |
| コ バレーボール | |
| サ テニス、卓球、バドミントン | |
| シ バスケットボール | |

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

注) 平成27年度調査は対象者を問14（１）で関心が「ある」と回答した方のみに限定し、令和４年度から全員に変更

「問14（４）希望するスポーツ観戦競技」に関する設問は、平成27年度調査から追加

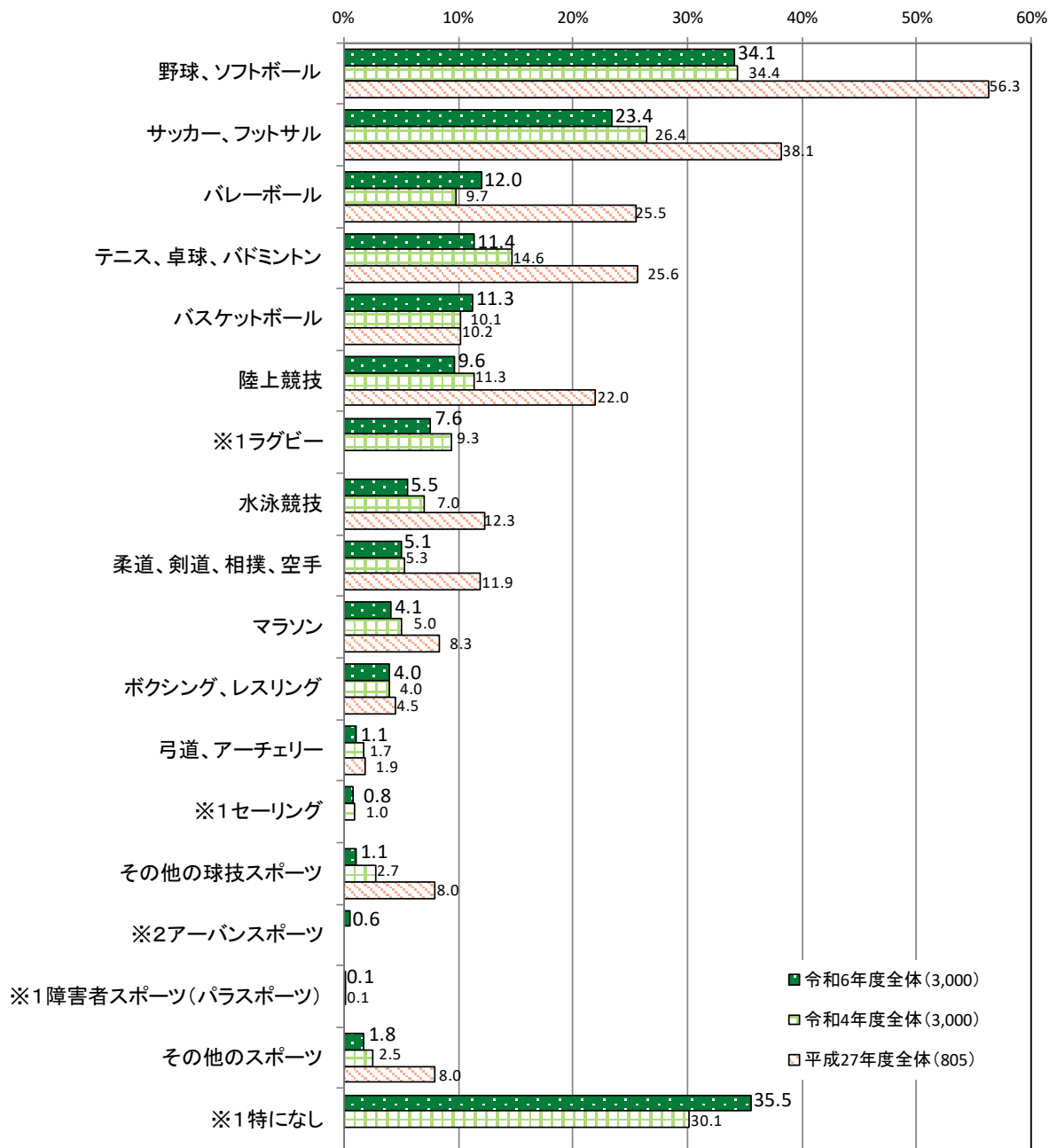
「キ セーリング」、「ス ラグビー」、「タ 障害者スポーツ (パラスポーツ)」、「ツ 特になし」は令和４年度調査から追加

「ソ アーバンスポーツ」は令和６年度調査から追加

全員に、会場で直接観戦をしたいスポーツの競技についてたずねた（３つまで回答可）ところ、「野球、ソフトボール」38.7%が最も高く、次いで「サッカー、フットサル」28.9%、「陸上競技」15.7%となった。令和４年度と比較すると、「野球、ソフトボール」34.4%が4.3ポイント、「サッカー、フットサル」26.4%が2.5ポイント、「陸上競技」11.3%が4.4ポイント上昇した。

図表、次ページ参照

【図表 5－10：会場で直接観戦をしたいスポーツの競技（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 令和4年度調査から追加

※2 令和6年度調査から追加

オ テレビやインターネットなどでのスポーツ観戦経験

問14（5） この1年間でテレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしましたか。

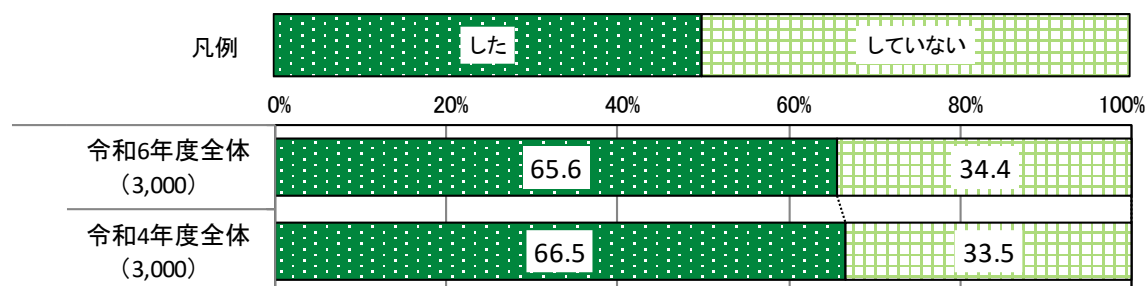
ア した

イ していない

注）「問14（5）テレビやインターネットなどでのスポーツ観戦経験」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、この1年間でテレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしたかどうかたずねたところ、「した」が65.6%、「していない」が34.4%となった。

「した」は、令和4年度の66.5%から1.1ポイント低下した。



カ テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模

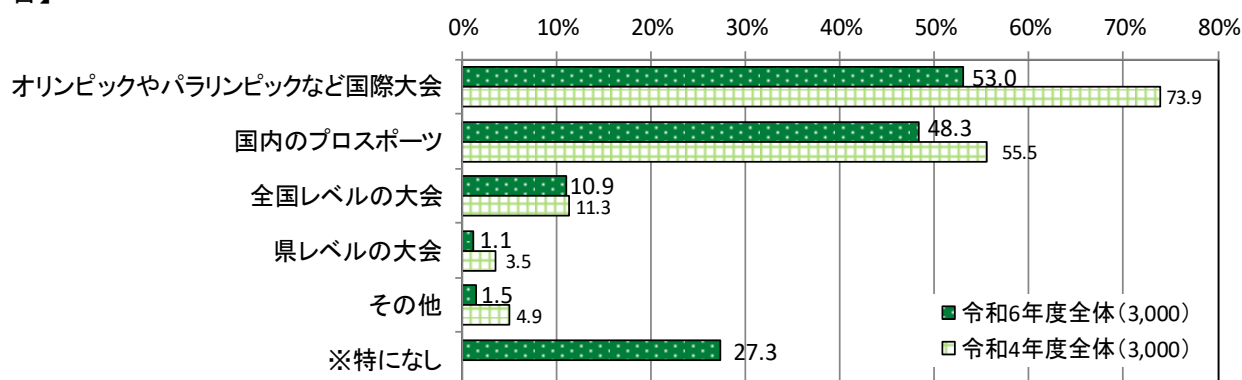
問14（6） テレビやインターネットなどでスポーツ観戦をするとしたら、どのような規模のスポーツ観戦をしたいですか。2つまで選んでください。

- ア オリンピックやパラリンピックなど国際大会
- イ 国内のプロスポーツ
- ウ 全国レベルの大会
- エ 県レベルの大会
- オ その他（ ）
- カ 特になし

注）「問14（6）テレビやインターネットなどでの希望するスポーツ観戦規模」に関する設問は、令和4年度調査から追加
「特になし」は令和6年度調査から追加

全員に、テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模についてたずねた（2つまで回答可）ところ、「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」が53.0%で、令和4年度の73.9%から20.9ポイントと大幅に低下した。

【図表5-12：テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模（全体）／単一回答】



※ 「特になし」は令和6年度調査から追加

キ テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技

問14（7） テレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしたら、どのような競技を観戦したいですか。3つまで選んでください。（ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください）

ア 陸上競技	シ バasketボール
イ マラソン	ス ラグビー
ウ 水泳競技	セ その他の球技スポーツ (種目名)
エ 柔道、剣道、相撲、空手	ソ アーバンスポーツ※ (種目名)
オ ボクシング、レスリング	タ 障害者スポーツ (パラスポーツ) (種目名)
カ 弓道、アーチェリー	チ その他のスポーツ (種目名)
キ セーリング	ツ 特になし
ク 野球、ソフトボール	
ケ サッカー、フットサル	
コ バレーボール	
サ テニス、卓球、バドミントン	

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

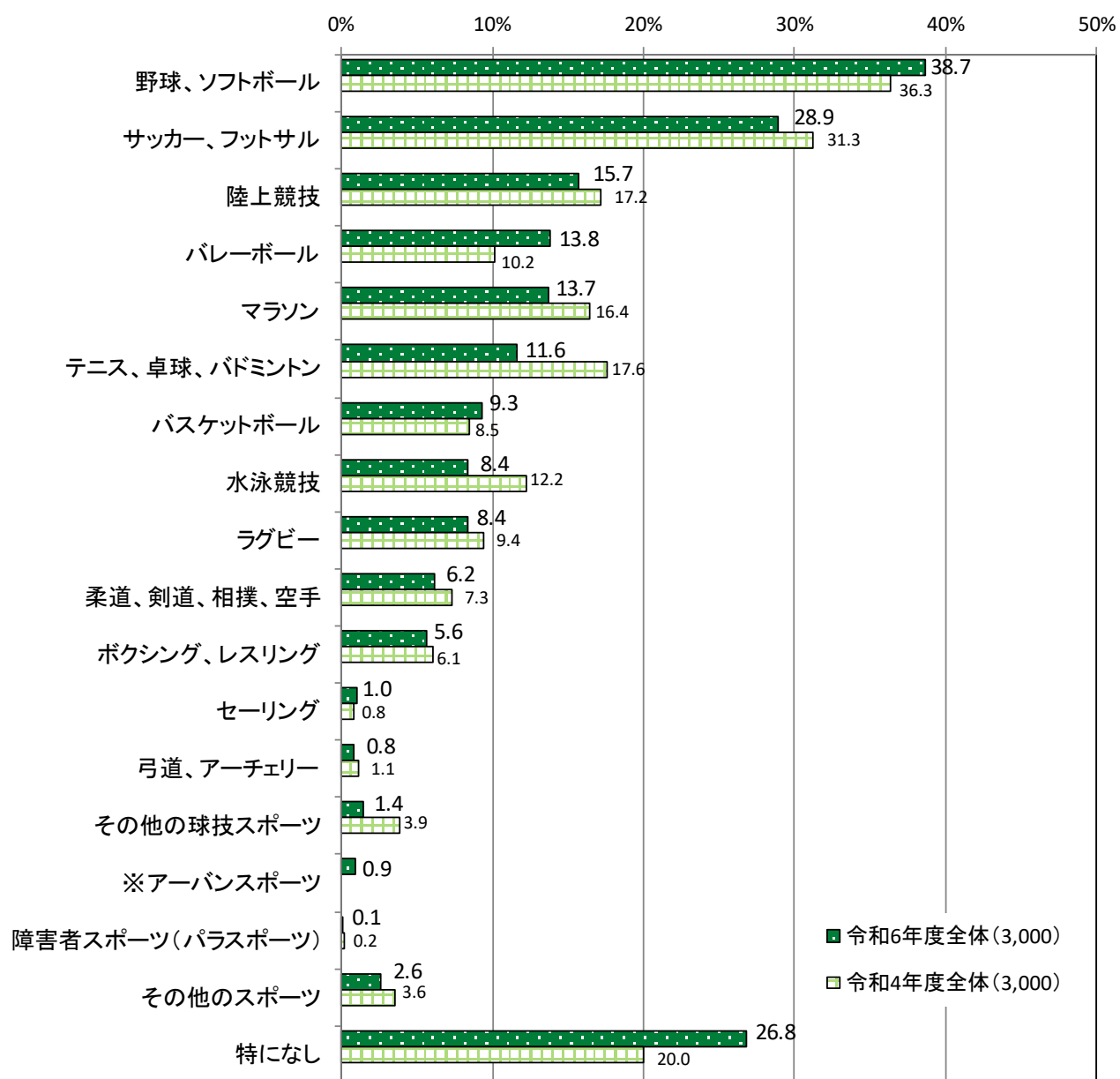
注) 「問14（7）テレビやインターネットなどでの希望するスポーツ観戦競技」に関する設問は、令和4年度調査から追加
「ソ アーバンスポーツ」は令和6年度調査から追加

全員に、テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「野球、ソフトボール」38.7%が最も高く、次いで「サッカー、フットサル」28.9%、「陸上競技」15.7%となった。

「テニス、卓球、バドミントン」11.6%は、令和4年度の17.6%から6.0ポイント低下した。

図表、次ページ参照

【図表5-13：テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技／複数回答（3つまで）】



※ 令和6年度調査から追加

(4) スポーツに関するボランティア活動について

※ (4)スポーツに関するボランティア活動に関する設問は、平成18年度調査から実施

ア スポーツに関するボランティア活動への関心

問15 (1) スポーツの指導や、イベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動について関心がありますか。

ア 関心がある

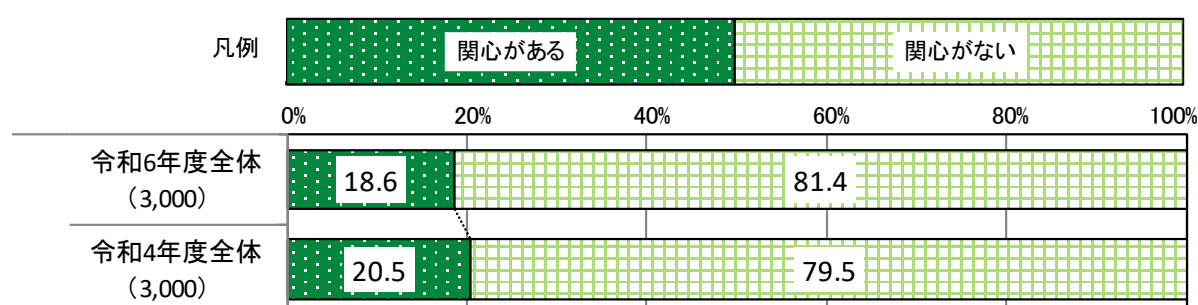
イ 関心がない

注) 「問15 (1) スポーツに関するボランティア活動への関心」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、スポーツに関するボランティア活動について関心をたずねたところ、「関心がある」が18.6%、「関心がない」が81.4%であった。

「関心がある」は、令和4年度の20.5%から1.9ポイント低下した。

【図表5-14：スポーツに関するボランティア活動への関心（全体）／単一回答】



イ スポーツに関するボランティア活動経験

問15 (2) この1年間でスポーツの指導や、イベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。

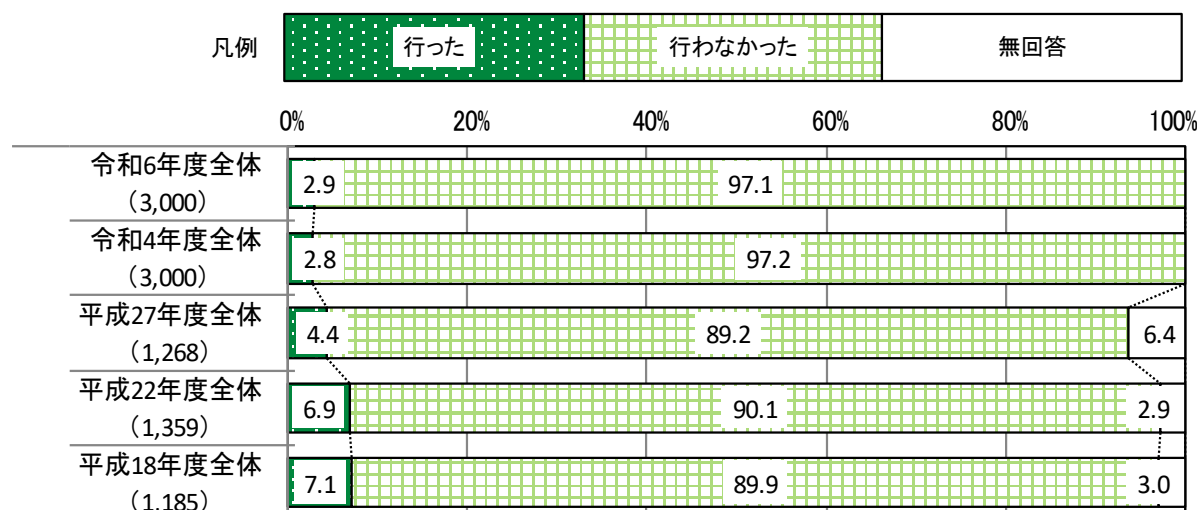
ア 行った

イ 行わなかった

全員に、この1年間のスポーツに関するボランティア活動について経験をたずねたところ、ボランティア活動は「行わなかった」が97.1%であった。なおボランティア活動を「行った」は、2.9%であった。

ボランティア活動を「行った」は、令和4年度の2.8%と比較して、0.1ポイント上昇した。

【図表5-15：スポーツに関するボランティア活動経験（全体比較）／単一回答】



ウ スポーツに関するボランティア活動の内容

問15（3） この1年間で行ったボランティア活動はどのようなものですか。当てはまるものすべてを選んでください。

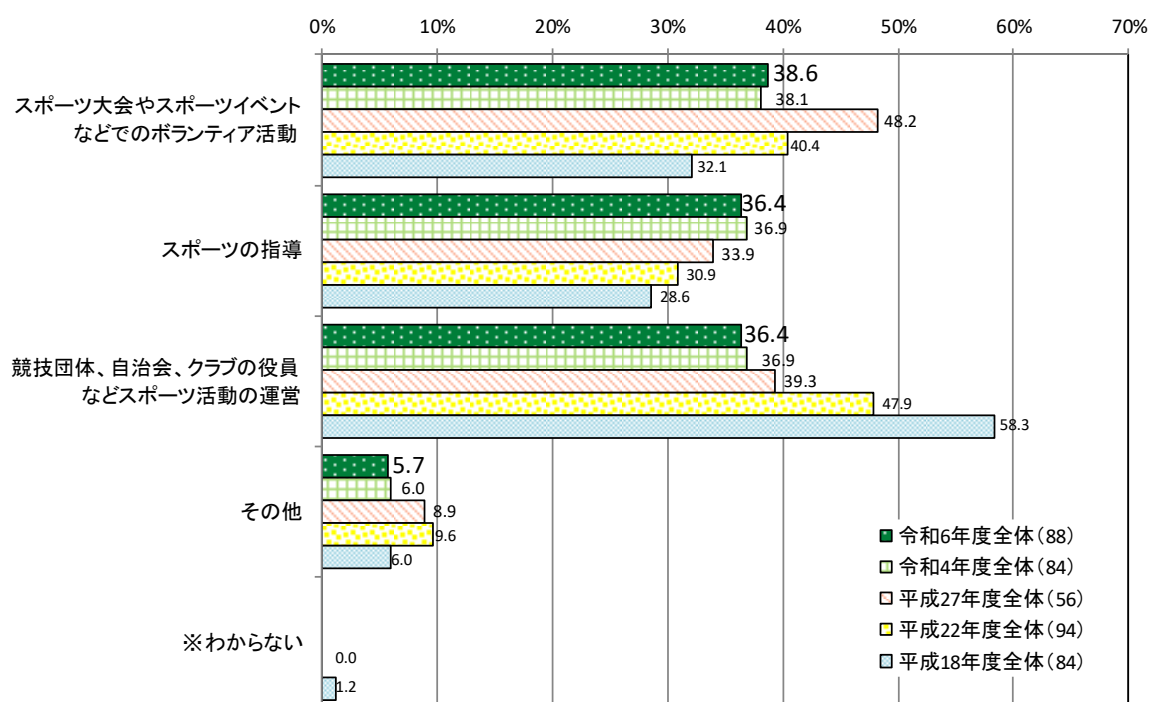
- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア スポーツの指導 | ウ スポーツ大会やスポーツイベント |
| イ 競技団体、自治会、クラブの役員 | などでのボランティア活動 |
| などスポーツ活動の運営 | エ その他（ ） |

注）「わからない」は、平成27年度調査から削除

この1年間でスポーツに関するボランティア活動を「行った」と答えた人88人に、ボランティア活動の内容をたずねた（複数回答可）ところ、「スポーツ大会やスポーツイベントなどでのボランティア活動」38.6%が最も高く、次いで「スポーツの指導」36.4%となった。

「競技団体、自治会、クラブの役員などスポーツ活動の運営」は、平成18年度から低下が続いている。

【図表5-16：スポーツに関するボランティア活動の内容（全体比較）／複数回答】



※ 平成27年度調査から削除

エ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向

問15（4） 今後、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。 1つだけ選んでください。

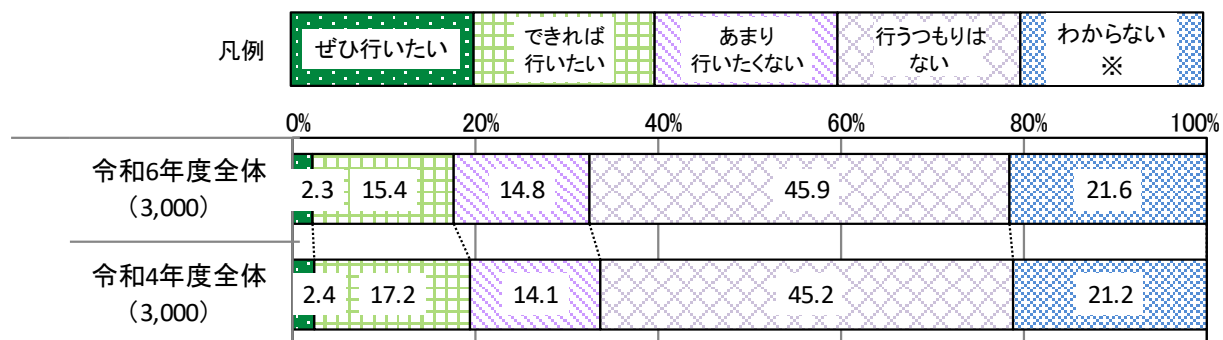
- | | |
|-------------|------------|
| ア ぜひ行いたい | エ 行うつもりはない |
| イ できれば行いたい | オ わからない |
| ウ あまり行いたくない | |

注）平成27年度調査から「行うつもりはない」を追加

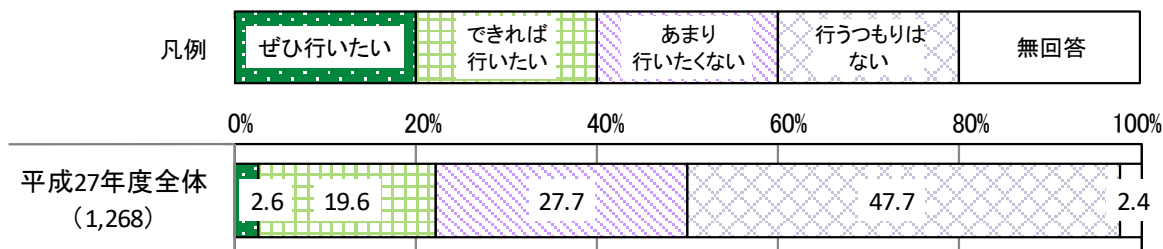
令和4年度調査から「無回答」を「わからない」に修正

全員に、今後のスポーツに関するボランティア活動への参加意向をたずねたところ、《行いたい群（「ぜひ行いたい」＋「できれば行いたい」）》が17.7%で、令和4年度の19.6%より1.9ポイント低下した。

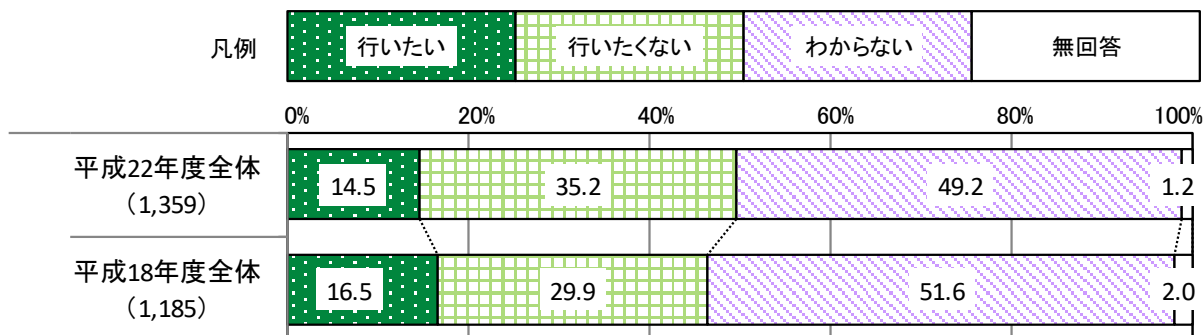
【図表5－17：スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向（全体比較）／単一回答】



※ 令和4年度調査から変更



※ 平成27年度調査から追加



（５）地域のスポーツ振興について

ア 地域のスポーツ振興に期待する効果

問16（１） 自治会や町内会で行う地域のスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。
3つまで選んでください。

- | | |
|----------------|---------------|
| ア 親子や家族の交流 | キ 地域の健康水準の改善 |
| イ 自由時間の有効活用 | ク スポーツ施設の有効利用 |
| ウ 地域のコミュニティの形成 | ケ その他（ ） |
| エ 世代間交流の促進 | コ 特になし |
| オ 青少年の健全育成 | サ わからない |
| カ 生きがいづくり | |

注）「イ 自由時間の有効活用」は、平成22年度調査までは「余暇時間の有効活用」

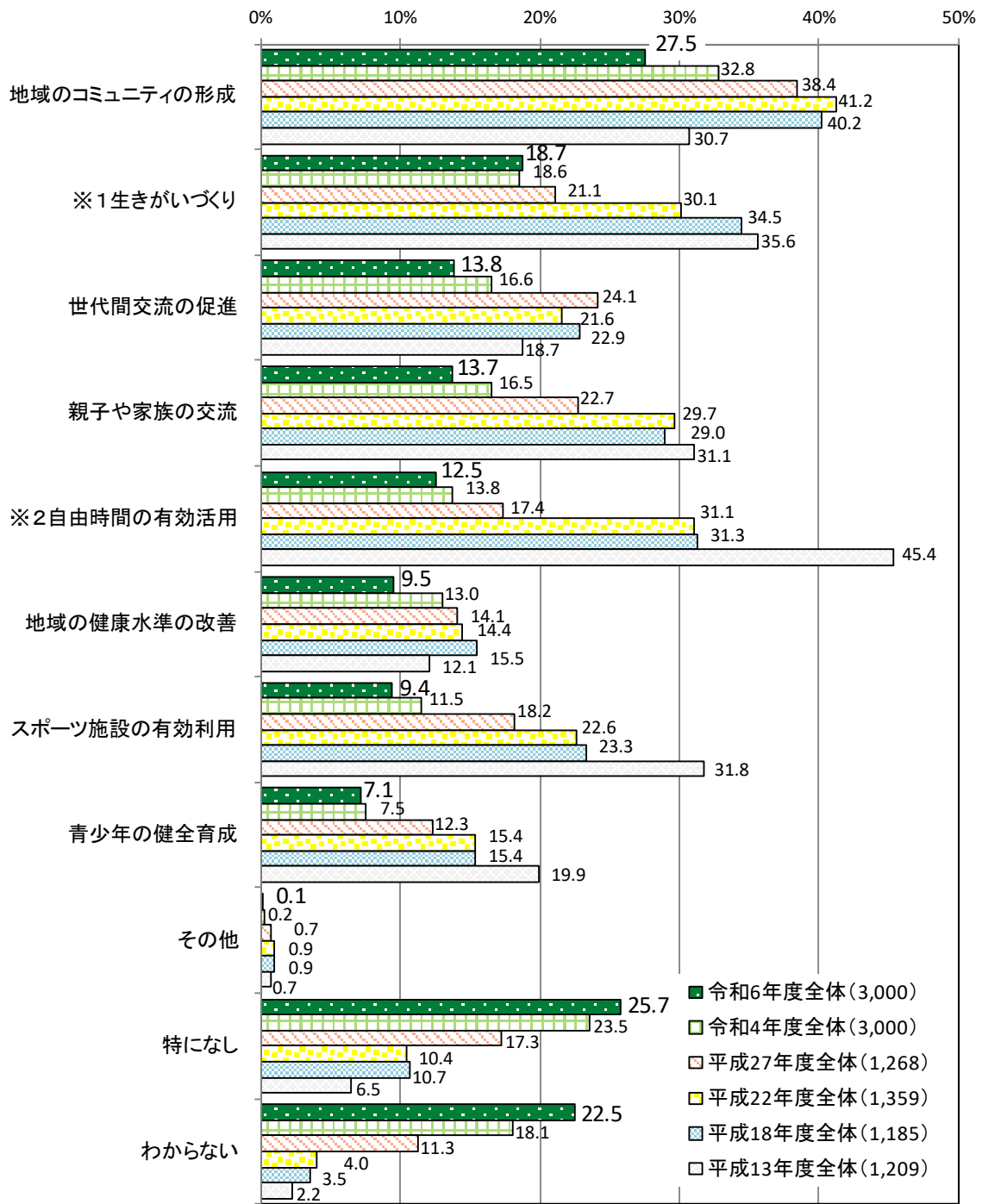
「カ 生きがいづくり」は、平成22年度調査までは「高齢者の生きがいづくり」

全員に、地域のスポーツ振興に期待する効果をたずねた（3つまで回答可）ところ、「地域のコミュニティの形成」27.5%が最も高く、次いで「生きがいづくり」18.7%、「世代間交流の促進」13.8%、「親子や家族の交流」13.7%となった。

「地域のコミュニティの形成」は平成22年度以降低下が続いているが、「特になし」25.7%、「わからない」22.5%は上昇が続いている。

図表、次ページ参照

【図表 5－18：地域のスポーツ振興に期待する効果（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成22年度調査までは「高齢者の生きがいづくり」

※2 平成22年度調査までは「余暇時間の有効活用」

イ 県の取組への要望

問16（2） スポーツ振興を図るために、県は今後どのような取組をすべきだと思いますか。
3つまで選んでください。

- ア 各種スポーツ行事・大会・教室の開催
- イ 地域のクラブやサークルの育成
- ウ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- エ スポーツ指導者の養成
- オ スポーツに関する広報活動
- カ 学校体育施設の開放・整備
- キ 各種スポーツ施設の整備
- ク スポーツボランティアの支援
- ケ 障害の種類や程度に応じたスポーツの普及・推進
- コ 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備
- サ ジョギングなどができる道路整備
- シ 気軽にスポーツができる公園整備
- ス ジュニアアスリートの発掘・育成
- セ トップアスリートの育成
- ソ 子どもの体力向上のための取組
- タ 中高齢者の健康増進のための取組
- チ 未病※を改善するための取組
- ツ その他
- テ 特になし
- ト わからない

※ 人の健康状態は、健康、病気と明確に区分するのではなく、健康と病気の間で連続的に変化しているものであり、その状態を「未病」といいます。

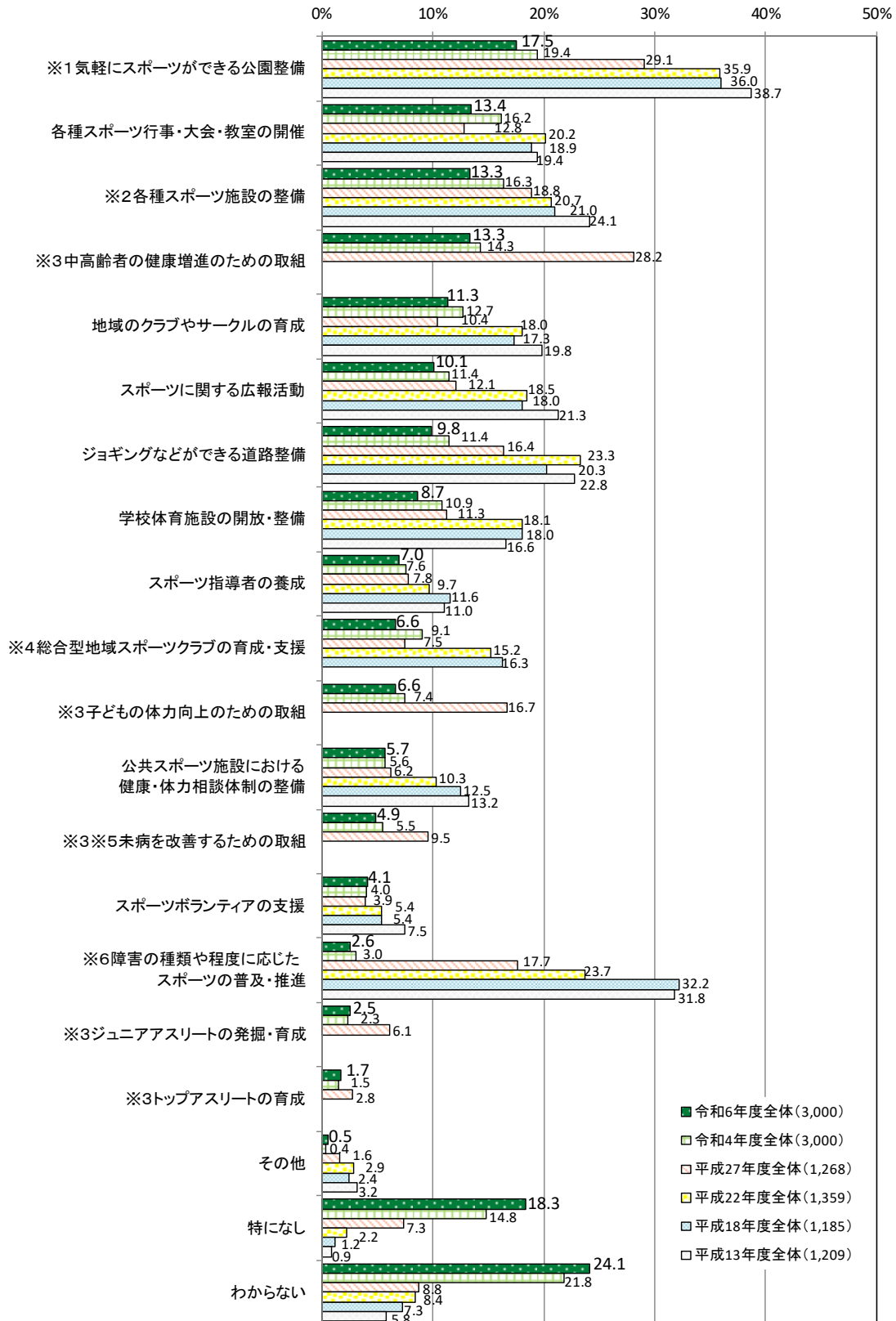
注）「ウ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援」は平成18年度調査から追加、「キ 各種スポーツ施設の整備」は平成22年度調査までは、「野外スポーツ活動施設の整備」「野外を除く各種スポーツ施設の設備」の2つの選択肢、選択肢番号【ス～チ】は平成27年度調査から追加、「ケ 障害の種類や程度に応じたスポーツの普及・推進」は平成27年度までは、「年齢や障害に応じたスポーツの開発・普及」、「シ 気軽にスポーツができる公園整備」平成27年度調査では「手軽にスポーツができる公園整備」、「チ 未病を改善するための取組」は平成27年度までは、「未病を治すための取組」

全員に、スポーツ振興を図るために、県が今後どのような取組みをすべきかをたずねた（3つまで回答可）ところ、「気軽にスポーツができる公園整備」17.5%が最も高く、次いで「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」13.4%、「各種スポーツ施設の整備」13.3%となった。

上位の「気軽にスポーツができる公園整備」17.5%と「各種スポーツ施設の整備」13.3%は平成13年度以降低下が続いている。

図表、次ページ参照

【図表 5－19：県の実施への要望（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成 27 年度調査までは「手軽にスポーツができる公園整備」

※2 平成 22 年度調査までのデータは「野外スポーツ活動施設の整備」と「野外を除く各種スポーツ施設の整備」を合算

※3 平成 27 年度調査から追加

※4 平成 18 年度調査から追加

※5 平成 27 年度調査までは「未病を治すための取組」

※6 平成 27 年度調査までは「年齢や障害に応じたスポーツの開発・普及」

6 スポーツがもたらす価値について

問 17 スポーツの価値についてお答えください。

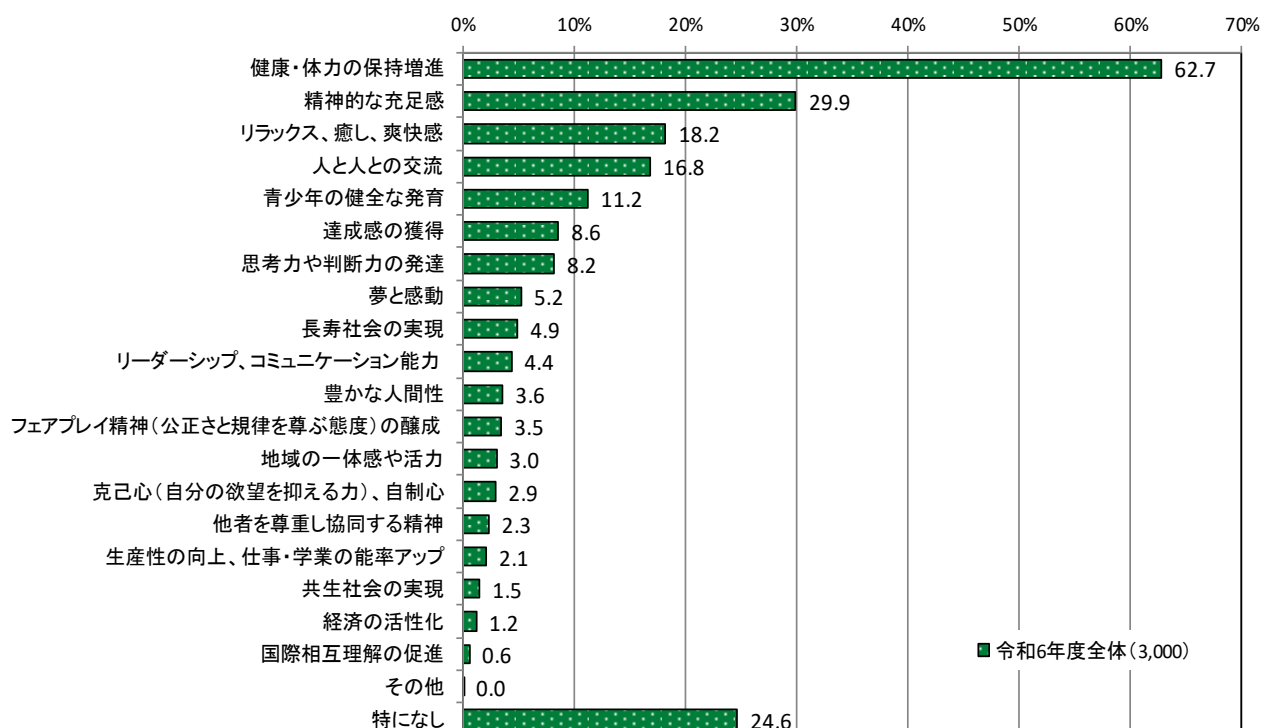
運動・スポーツがもたらす価値について当てはまると思うものはどれですか。3つまで選んでください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| ア 健康・体力の保持増進 | サ 経済の活性化 |
| イ 精神的な充足感 | シ 人と人との交流 |
| ウ 青少年の健全な発育 | ス 地域の一体感や活力 |
| エ 克己心（自分の欲望を抑える力）、
自制心 | セ 国際相互理解の促進 |
| オ 思考力や判断力の発達 | ソ 長寿社会の実現 |
| カ 夢と感動 | タ 共生社会の実現 |
| キ リーダーシップ、コミュニケーション
能力 | チ 他者を尊重し協同する精神 |
| ク リラックス、癒し、爽快感 | ツ フェアプレイ精神（公正さと規律を
尊ぶ態度）の醸成 |
| ケ 達成感の獲得 | テ 豊かな人間性 |
| コ 生産性の向上、仕事・学業の能率
アップ | ト その他
() |
| | ナ 特になし |

注) 「問 17 スポーツの価値」に関する設問は、令和6年度調査から追加

全員に、運動・スポーツがもたらす価値についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力の保持増進」62.7%が最も高く、次いで「精神的な充足感」29.9%、「リラックス、癒し、爽快感」18.2%となった。

【図表6－1：スポーツのもたらす価値（全体比較）／複数回答（3つまで）】



**県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書【時系列比較】**

発 行 神奈川県立スポーツセンター
〒251-0871 藤沢市善行7-1-2
電話 (0466) 81-2570

発 行 日 令和7(2025)年3月



神奈川県

スポーツセンター 電話(0466)81-2570 ファクシミリ(0466)83-4622
藤沢市善行 7-1-2 〒251-0871